

Ⅲ 家族以外の者からの加害行為の状況

第 9 加害行為の全体的な被害状況

1 加害行為を受けた経験の有無

本調査では、次の五つの加害行為を挙げ、家族以外の者から受けた経験の有無等を尋ねた。

- ・「暴力で脅かされて、お金や物を取られた（取られそうになった）こと」（以下、「恐喝」という。）
- ・「たたかれる、つねられる、物を投げつけられるなどの暴力」（「身体的暴力①（軽度）」）
- ・「殴られる、蹴られる、刃物で刺される、首を絞められる、やけどを負わされるなど、血が出たり、あざができたり、息ができなくなるような暴力」（「身体的暴力②（重度）」）
- ・「自分の意志に反して、性的な接触を無理強いされたこと」（「性的暴力①（接触）」）
- ・「自分の意志に反して、性交された（されそうになった）こと」（「性的暴力②（性交）」）

なお、以下の分析では、恐喝、身体的暴力①及び②を併せて「身体的暴力等」、性的暴力①及び②を併せて「性的暴力」とする。

表 1 は、これら 5 種類の加害行為を受けた経験の有無を、男女別に見たものである。男女とも、身体的暴力②（重度）の比率が約70ないし80％と最も高く、次いで、男子は身体的暴力①（軽度）、恐喝、性的暴力①（接触）、同②（性交）の順、女子は性的暴力①、同②、身体的暴力①、恐喝の順となっている。また、身体的暴力①を除き、いずれにおいても男女に有意差が見られ、経験があるとする者は、恐喝及び身体的暴力②は男子で、性的暴力①及び②は女子で有意に多くなっている。

表 1 加害行為を受けた経験の有無

	恐喝	身体的暴力 ①(軽度)	身体的暴力 ②(重度)	性的暴力 ①(接触)	性的暴力 ②(性交)	総数
男子	1,308 (61.9)	1,315 (62.3)	1,730 (81.9)	362 (17.1)	155 (7.3)	2,112
女子	50 (21.8)	134 (58.5)	163 (71.2)	158 (69.0)	157 (68.6)	229
合計	1,358 (58.0)	1,449 (61.9)	1,893 (80.9)	520 (22.2)	312 (13.3)	2,341
検定 結果	$\chi^2(1)=136.370$ p=0.000**	$\chi^2(1)=1.231$ p=0.267	$\chi^2(1)=15.382$ p=0.000**	$\chi^2(1)=321.519$ p=0.000**	$\chi^2(1)=670.317$ p=0.000**	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 重複選択による。
4 表は、各加害行為を受けた経験の有無の集計結果について、経験ありの数値のみを挙げている。
5 ()内は、総数に対する比率である。
6 「検定結果」欄の「**」は、有意水準1%以下で有意差が見られることを示す。

2 被害回数別の状況

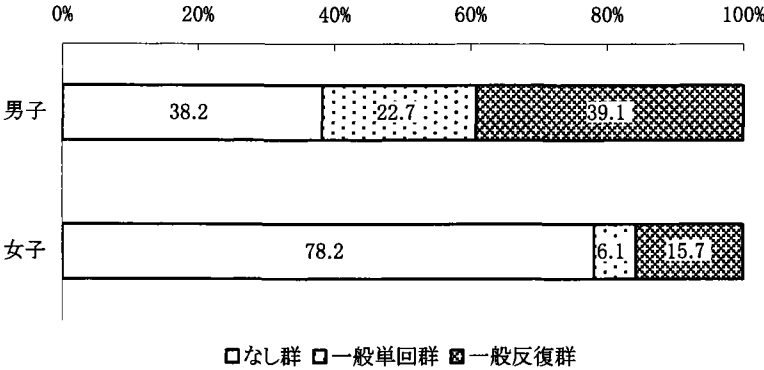
以下においては、家族以外の者から加害行為を受けた経験について、その被害回数が「一度だけだった」場合には「単回被害経験」、「繰り返しだった」場合には「反復被害経験」と呼ぶこととし、それぞれの加害行為について、回答者を「なし群」（全く被害経験のないもの）、「一般単回群」（単回被害経験のあるもの）及び「一般反復群」（反復被害経験のあるもの）の3群に分けることとする。なお、被害回数について「覚えていない」とするものは、「単回被害経験」に含めて分析した。

図1は、各加害行為について、このようにして分けた被害回数別の状況を見たものである。

身体的暴力①（軽度）を除く全ての加害行為で、3群間に男女で有意差が見られ、なし群は、恐喝及び身体的暴力②（重度）において女子で、性的暴力①（接触）及び②（性交）において男子で、それぞれ有意に多くなっている。

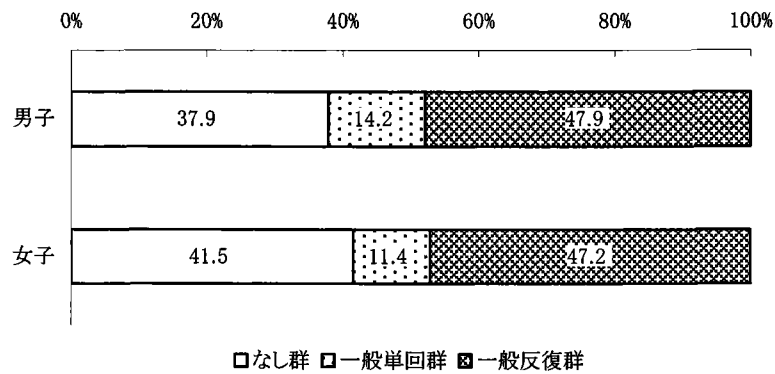
図1 家族以外の者からの加害行為別の被害状況

図1-1 恐喝



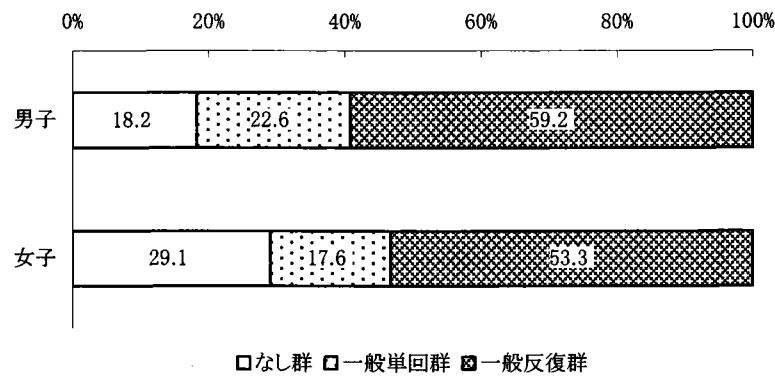
	なし群	一般単回群	一般反復群	合計	検定結果
男子	804 (38.2) ▼[-11.6]	477 (22.7) △[5.8]	824 (39.1) △[7.0]	2,105 (100.0)	$\chi^2(2)=135.984$ p=0.000**
女子	179 (78.2) △[11.6]	14 (6.1) ▼[-5.8]	36 (15.7) ▼[-7.0]	229 (100.0)	
合計	983 (42.1)	491 (21.0)	860 (36.8)	2,334 (100.0)	

図 1-2 身体的暴力①（軽度）



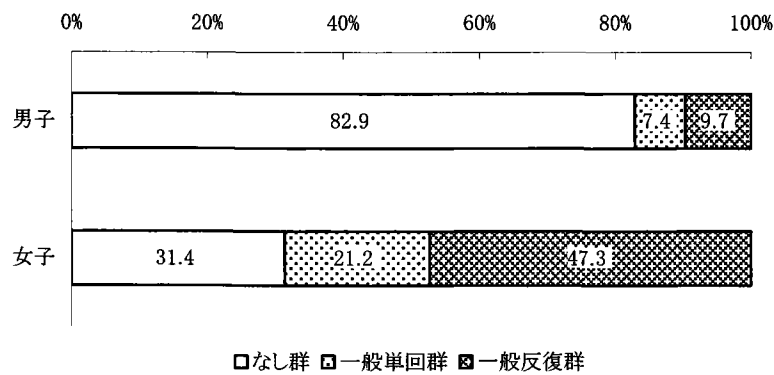
	なし群	一般単回群	一般反復群	合計	検定結果
男子	797 (37.9)	299 (14.2)	1,009 (47.9)	2,105 (100.0)	$\chi^2(2)=1.940$ $p=0.379$
女子	95 (41.5)	26 (11.4)	108 (47.2)	229 (100.0)	
合計	892 (38.2)	325 (13.9)	1,117 (47.9)	2,334 (100.0)	

図 1-3 身体的暴力②（重度）



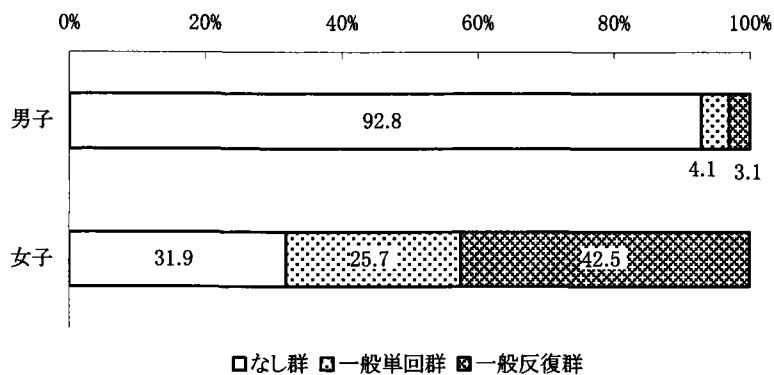
	なし群	一般単回群	一般反復群	合計	検定結果
男子	382 (18.2) ▼[-3.9]	474 (22.6) [1.7]	1,242 (59.2) [1.7]	2,098 (100.0)	$\chi^2(2)=16.059$ $p=0.000^{**}$
女子	66 (29.1) △[3.9]	40 (17.6) [-1.7]	121 (53.3) [-1.7]	227 (100.0)	
合計	448 (19.3)	514 (22.1)	1,363 (58.6)	2,325 (100.0)	

図1-4 性的暴力①（接触）



	なし群	一般単回群	一般反復群	合計	検定結果
男子	1,750 (82.9) △[17.7]	157 (7.4) ▼[-7.0]	205 (9.7) ▼[-15.8]	2,112 (100.0)	$\chi^2(2)=330.472$ $p=0.000^{**}$
女子	71 (31.4) ▼[-17.7]	48 (21.2) △[7.0]	107 (47.3) △[15.8]	226 (100.0)	
合計	1,821 (77.9)	205 (8.8)	312 (13.3)	2,338 (100.0)	

図1-5 性的暴力①（性交）



	なし群	一般単回群	一般反復群	合計	検定結果
男子	1,957 (92.8) △[25.8]	87 (4.1) ▼[-12.8]	65 (3.1) ▼[-22.2]	2,109 (100.0)	$\chi^2(2)=699.188$ $p=0.000^{**}$
女子	72 (31.9) ▼[-25.8]	58 (25.7) △[12.8]	96 (42.5) △[22.2]	226 (100.0)	
合計	2,029 (86.9)	145 (6.2)	161 (6.9)	2,335 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。

2 無回答を除く。

3 []内は、調整済残差であり、△は期待値より有意に多いことを、▼は期待値より有意に少ないことを示す。

4 ()内は、構成比である。

5 表1の注6に同じ。

次に、家族以外の者からのこれら5種類の加害行為をまとめた全体的な被害状況を見るために、対象者を次の三つに分けた。

- ・ 家族以外の者から加害行為を受けた経験の全くない者（「経験なし群」），
- ・ 少なくとも1つ以上の単回被害経験はあるが反復被害経験は全くない者（「単回被害経験のみ群」），
- ・ 少なくとも1つ以上の反復被害経験のある者（「反復被害経験あり群」）

表2は、男女別に群別構成比を見たもので、男女とも、反復被害経験あり群が約80%を占めている。

表 2

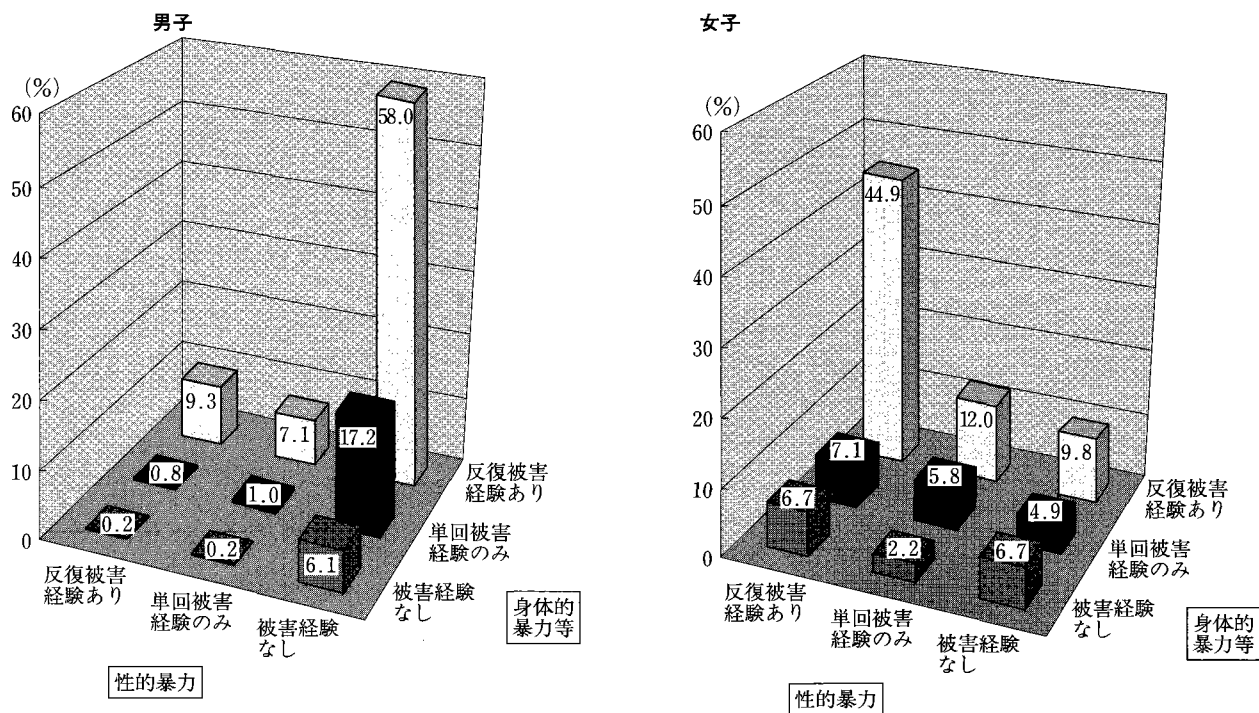
	経験なし群	単回被害経験のみ群	反復被害経験あり群	合計	検定結果
男子	129 (6.1)	386 (18.4)	1,586 (75.5)	2,101 (100.0)	$\chi^2(2)=4.382$ p=0.112
女子	15 (6.6)	29 (12.8)	183 (80.6)	227 (100.0)	
合計	144 (6.2)	415 (17.8)	1,769 (76.0)	2,328 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。

図2は、受けた被害の類型別構成比を見たものである。男子では、「身体的暴力等の反復被害経験があり、性的暴力の被害経験のない者」が最も多く、次いで、「身体的暴力等の単回被害経験のみがあり、性的暴力の被害経験のない者」が多くなっているのに対し、女子では、「身体的暴力及び性的暴力双方の反復被害経験のある者」が最も多く、次いで、「身体的暴力の反復被害経験があり、性的暴力の単回被害経験のみある者」が多くなっている。

また、男女ともに、身体的暴力等と性的暴力の被害状況に有意な関連が見られる。残差分析の結果、男子は身体的暴力等の経験なし群及び単回被害経験のみ群で性的暴力の経験なし群が有意に多いが、身体的暴力等の反復被害経験あり群では、性的暴力の単回被害経験のみ群及び反復被害経験あり群が有意に多くなっている。これに対し、女子は身体的暴力等と性的暴力の被害状況が同じである者（例えば一方が経験なしであれば、他方も経験なしである者）が有意に多くなっている。

図2 類型別被害経験者の比率



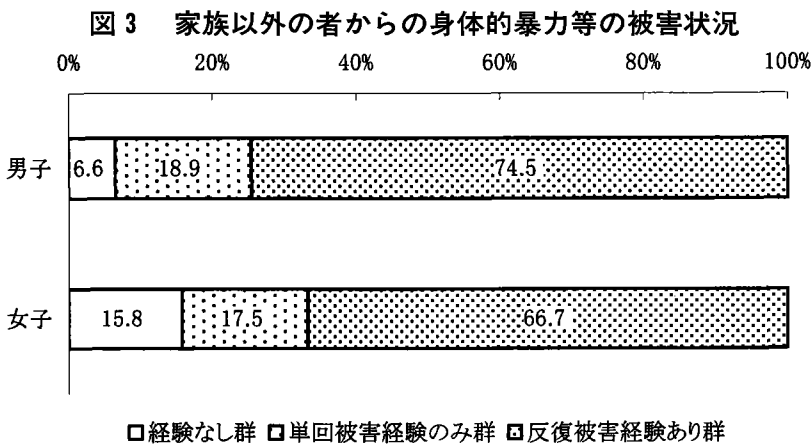
		男子				女子			
		性的暴力				性的暴力			
		経験なし	単回被害 経験のみ	反復被害 経験あり	合計	経験なし	単回被害 経験のみ	反復被害 経験あり	合計
身体的 暴力等	経験なし	129 (6.1) △[3.8]	4 (0.2) ▼[-2.4]	5 (0.2) ▼[-2.7]	138 (6.6)	15 (6.7) △[3.4]	5 (2.2) [-0.9]	15 (6.7) ▼[-2.1]	35 (15.6)
	単回被害 経験のみ	360 (17.2) △[5.2]	22 (1.0) ▼[-2.3]	16 (0.8) ▼[-4.6]	398 (19.0)	11 (4.9) [1.0]	13 (5.8) △[2.2]	16 (7.1) ▼[-2.6]	40 (17.8)
	反復被害 経験あり	1,218 (58.0) ▼[-6.8]	149 (7.1) △[3.4]	196 (9.3) △[5.7]	1,563 (74.5)	22 (9.8) ▼[-3.5]	27 (12.0) [-1.1]	101 (44.9) △[3.7]	150 (66.7)
	合計	1,707 (81.3)	175 (8.3)	217 (10.3)	2,099 (100.0)	48 (21.3)	45 (20.0)	132 (58.7)	225 (100.0)
検定結果		$\chi^2(4)=48.863$ p=0.000**				$\chi^2(4)=21.222$ p=0.000**			

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 表1の注6に同じ。
5 図1の注3に同じ。

第10 家族以外の者からの身体的暴力等

1 全体的な被害状況

図3は、家族以外の者からの身体的暴力等の被害状況を、男女別に見たものである。男女とも約70％に身体的暴力等の反復被害経験があり、男女を比べると、男子で反復被害経験あり群が、女子で経験なし群が、それぞれ有意に多くなっている。



	経験なし群	単回被害経験のみ群	反復被害経験あり群	合計	検定結果
男子	138 (6.6) ▼[-5.0]	398 (18.9) [0.5]	1,565 (74.5) △[2.5]	2,101 (100.0)	$\chi^2(4)=25.330$ p=0.000**
女子	36 (15.8) △[5.0]	40 (17.5) [-0.5]	152 (66.7) ▼[-2.5]	228 (100.0)	
合計	174 (7.5)	438 (18.8)	1,717 (73.7)	2,329 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 「経験なし群」とは、家族以外の者から身体的暴力等を受けた経験の全くないものをいう。
4 「単回被害経験のみ群」とは、家族以外の者からの恐喝、身体的暴力①、②について、少なくとも一つの一般単回被害経験があり、一般反復被害経験は全くないものをいう。
5 「反復被害経験あり群」とは、家族以外の者からの恐喝、身体的暴力①、②について、少なくとも一つの一般反復被害経験のあるものをいう。
6 ()内は、構成比である。
7 表1の注6に同じ。
8 図1の注3に同じ。

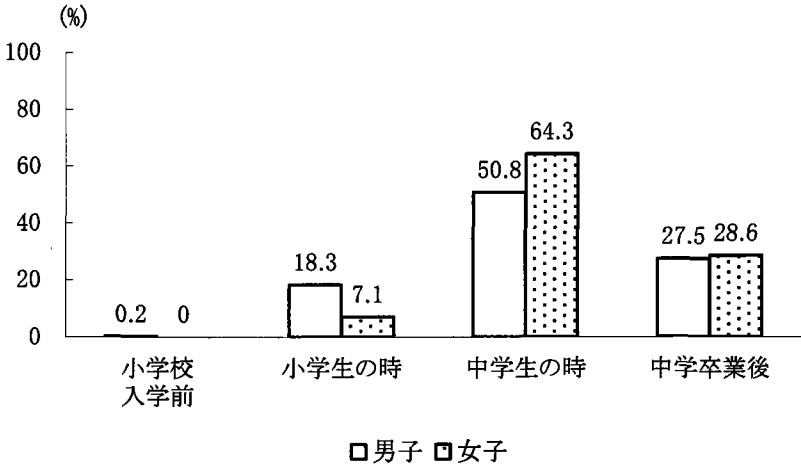
2 身体的暴力等を受けた時期及び加害者

(1) 身体的暴力等を受けた時期

図4は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の一般単回群について、被害を経験した時期を男女別に見たものである。最も多くの者が被害を経験した時期は、男女とも、恐喝及び身体的暴力①が中学生の時、身体的暴力②が中学卒業後である。

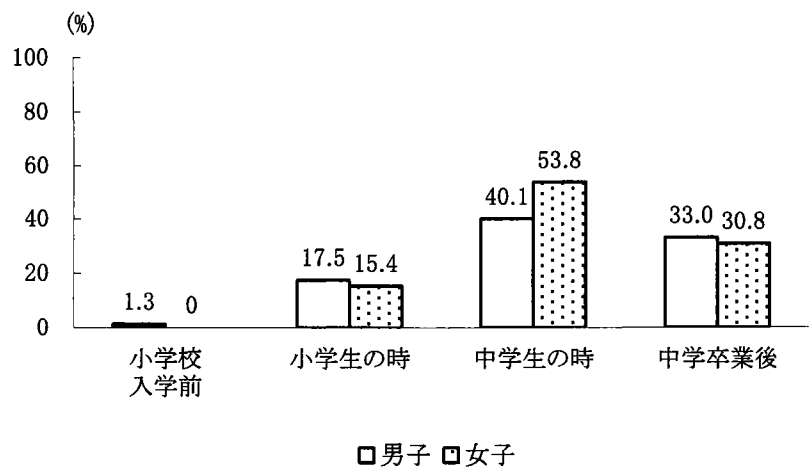
図4 身体的暴力等を受けた時期（一般単回群）

図4-1 恐喝



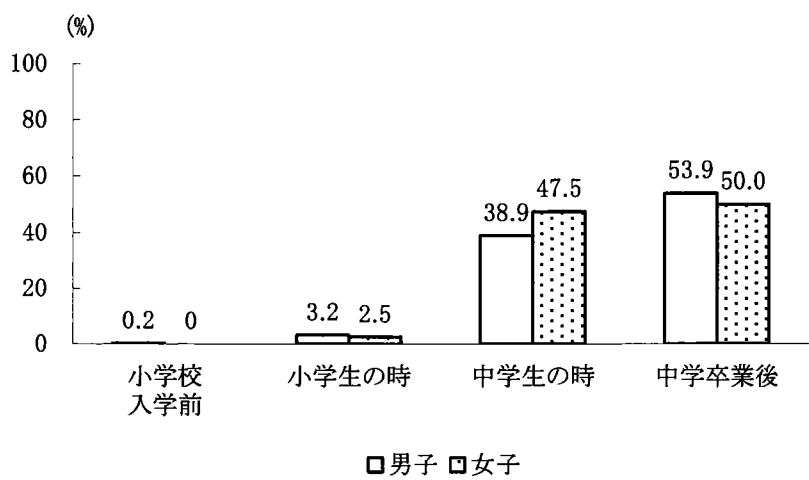
	小学校入学前	小学生の時	中学生の時	中学卒業後	総数
男子	1 (0.2)	87 (18.3)	242 (50.8)	131 (27.5)	476
女子	0 —	1 (7.1)	9 (64.3)	4 (28.6)	14
合計	1 (0.2)	88 (18.0)	251 (51.2)	135 (27.6)	490
検定結果	(f) p=1.000	(f) p=1.000	$\chi^2(1)=0.984$ p=0.321	(f) p=1.000	

図 4-2 身体的暴力①（軽度）



	小学校 入学前	小学生の時	中学生の時	中学卒業後	総数
男子	4 (1.3)	52 (17.5)	119 (40.1)	98 (33.0)	297
女子	0 —	4 (15.4)	14 (53.8)	8 (30.8)	26
合計	4 (1.2)	56 (17.3)	133 (41.2)	106 (32.8)	323
検定結果	(f) p=1.000	(f) p=1.000	$\chi^2(1)=1.874$ p=0.171	$\chi^2(1)=0.054$ p=0.817	

図 4-3 身体的暴力②（重度）



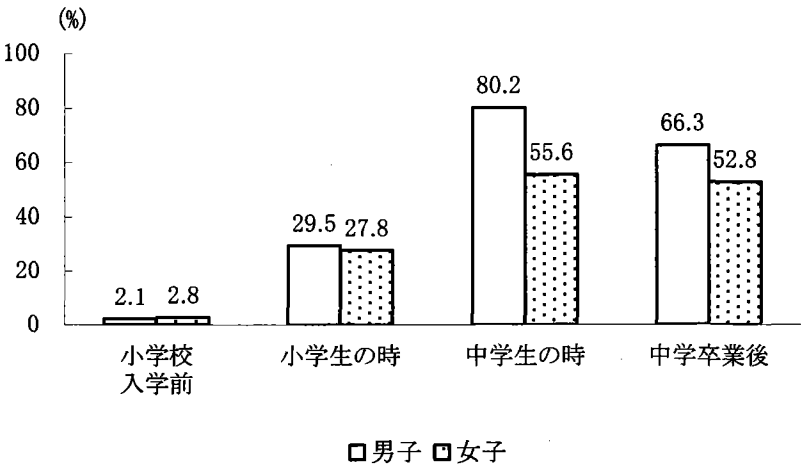
	小学校 入学前	小学生の時	中学生の時	中学卒業後	総数
男子	1 (0.2)	15 (3.2)	183 (38.9)	254 (53.9)	471
女子	0 —	1 (2.5)	19 (47.5)	20 (50.0)	40
合計	1 (0.2)	16 (3.1)	202 (39.5)	274 (53.6)	511
検定結果	(f) p=1.000	(f) p=1.000	$\chi^2(1)=1.153$ p=0.283	$\chi^2(1)=0.229$ p=0.632	

- 注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 重複選択による。
4 「いつだったか覚えていない」を除く。
5 グラフ及び表は、各時期について集計した結果のうち、該当したものについて表示している。
6 「検定結果」欄の(f)は、フィッシャーの直接確率法によるものであることを示す。
7 ()内は、総数に対する比率である。

図5は、一般反復群について同様に見たものである。最も多くの者が身体的暴力等を受けた時期は、女子の身体的暴力②（重度）を除き、男女ともいずれについても中学生の時である。

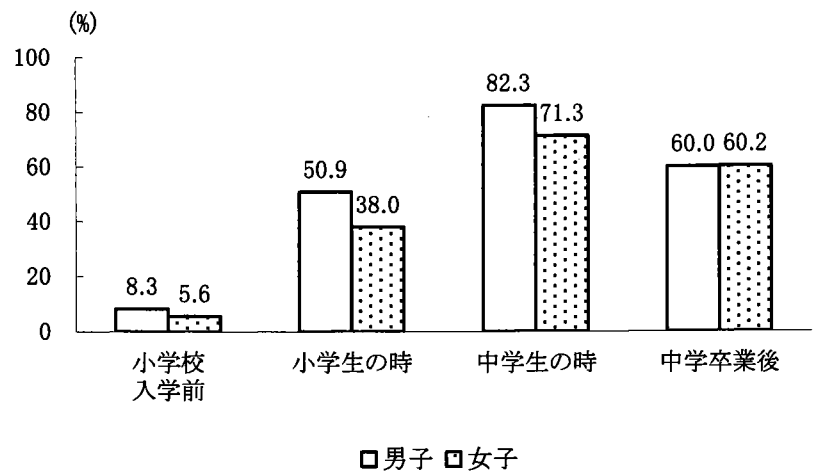
図5 身体的暴力等を受けた時期（一般反復群）

図5-1 恐喝



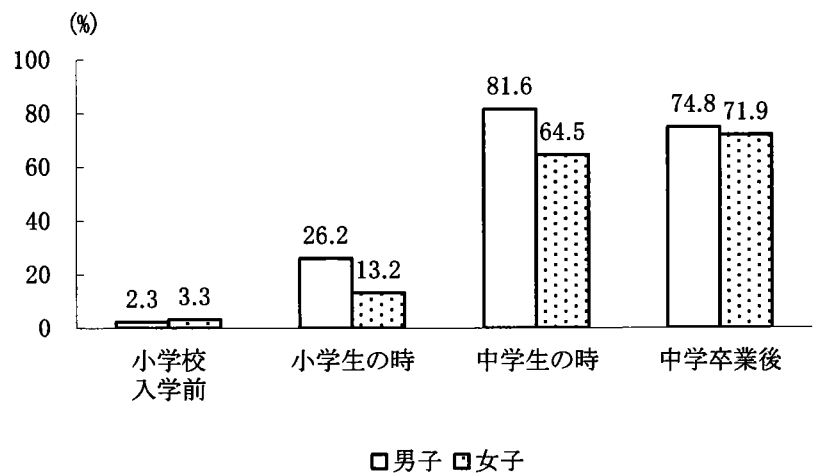
	小学校 入学前	小学生の時	中学生の時	中学卒業後	総数
男子	17 (2.1)	243 (29.5)	660 (80.2)	546 (66.3)	823
女子	1 (2.8)	10 (27.8)	20 (55.6)	19 (52.8)	36
合計	18 (2.1)	253 (29.5)	680 (79.2)	565 (65.8)	859
検定結果	(f) p=0.541	$\chi^2(1)=0.051$ p=0.822	$\chi^2(1)=12.693$ p=0.000**	$\chi^2(1)=2.819$ p=0.093	

図 5-2 身体的暴力①（軽度）



	小学校入学前	小学生の時	中学生の時	中学卒業後	総数
男子	84 (8.3)	513 (50.9)	829 (82.3)	604 (60.0)	1,007
女子	6 (5.6)	41 (38.0)	77 (71.3)	65 (60.2)	108
合計	90 (8.1)	554 (49.7)	906 (81.3)	669 (60.0)	1,115
検定結果	$\chi^2(1)=1.020$ $p=0.312$	$\chi^2(1)=6.574$ $p=0.010^*$	$\chi^2(1)=7.788$ $p=0.005^{**}$	$\chi^2(1)=0.002$ $p=0.967$	

図 5-3 身体的暴力②（重度）



	小学校 入学前	小学生の時	中学生の時	中学卒業後	総数
男子	29 (2.3)	325 (26.2)	1,012 (81.6)	928 (74.8)	1,240
女子	4 (3.3)	16 (13.2)	78 (64.5)	87 (71.9)	121
合計	33 (2.4)	341 (25.1)	1,090 (80.1)	1,015 (74.6)	1,361
検定結果	(f) p=0.528	$\chi^2(1)=9.901$ p=0.002**	$\chi^2(1)=20.333$ p=0.000**	$\chi^2(1)=0.502$ p=0.479	

- 注1 法務総合研究所の調査による。
- 2 無回答を除く。
- 3 重複選択による。
- 4 「いつだったか覚えていない」を除く。
- 5 グラフ及び表は、各時期について集計した結果のうち、該当したものについて表示している。
- 6 ()内は、総数に対する比率である。
- 7 「検定結果」欄の「**」は有意水準1%以下で、「*」は同5%以下で、それぞれ有意差が見られることを示す。
- 8 図4の注6に同じ。

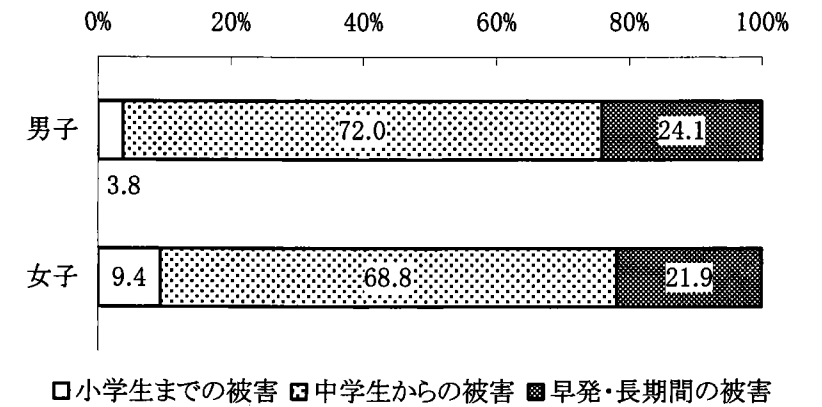
ここで、一般反復群について被害を受けた期間を見るために、問1において「いつだったか覚えていない」としたものを除き、次により、「小学生までの被害」、「中学生からの被害」及び「早発・長期間の被害」の三つの被害期間を設定した。

- ・被害を受けた時期（問1，重複選択）について、「小学校入学前」、「小学生の時」のどちらか一つ又は両方を選択した者（「小学校までの被害」）
- ・同じく、「中学生の時」、「中学卒業後」のどちらか一つ又は両方を選択した者（「中学校からの被害」）
- ・被害を受けた時期のうち、最も早い時期が「小学校入学以前」又は「小学校の時」で、最も遅い時期が「中学校の時」又は「中学卒業後」である者（「早発・長期間の被害」）

図6は、恐喝、身体的被害①（軽度）及び②（重度）の被害期間を男女別に見たものである。男女とも、いずれの被害についても、中学生からの被害が多くなっている。また、身体的暴力①及び②では、被害期間に男女で有意差が見られ、残差分析の結果、早発・長期間の被害で男子が、中学生からの被害で女子が、それぞれ有意に多くなっている。

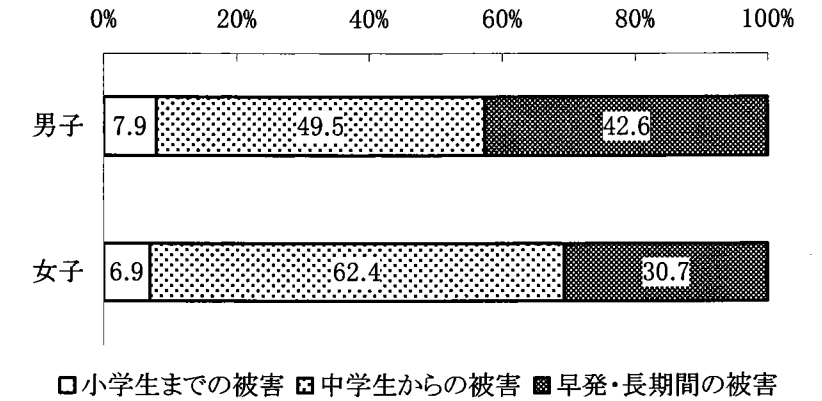
図 6 身体的暴力等を受けた期間（一般反復群）

図 6-1 恐喝



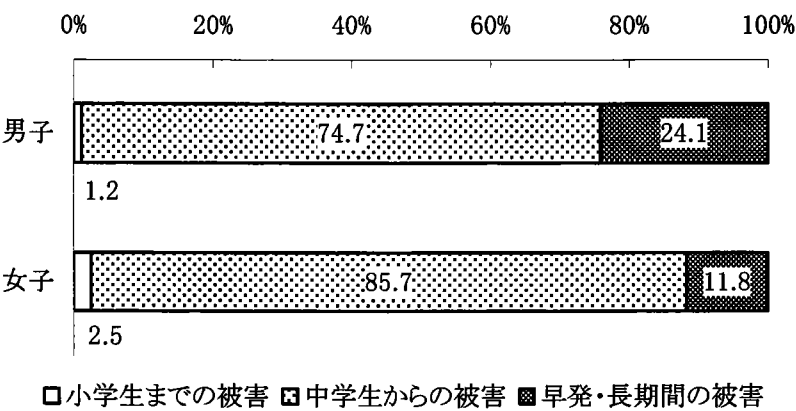
	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果
男子	30 (3.8)	567 (72.0)	190 (24.1)	787 (100.0)	$\chi^2(2)=2.474$ $p=0.290$
女子	3 (9.4)	22 (68.8)	7 (21.9)	32 (100.0)	
合計	33 (4.0)	589 (71.9)	197 (24.1)	819 (100.0)	

図 6-2 身体的暴力①（軽度）



	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果
男子	77 (7.9) [0.3]	483 (49.5) ▼[-2.5]	415 (42.6) △[2.3]	975 (100.0)	$\chi^2(2)=6.193$ $p=0.045^*$
女子	7 (6.9) [-0.3]	63 (62.4) △[2.5]	31 (30.7) ▼[-2.3]	101 (100.0)	
合計	84 (7.8)	546 (50.7)	446 (41.4)	1,076 (100.0)	

図 6-3 身体的暴力②（重度）



	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果
男子	14 (1.2) [-1.3]	900 (74.7) ▼[-2.7]	291 (24.1) △[3.1]	1,205 (100.0)	$\chi^2(2)=10.509$ $p=0.005^{**}$
女子	3 (2.5) [1.3]	102 (85.7) △[2.7]	14 (11.8) ▼[-3.1]	119 (100.0)	
合計	17 (1.3)	1,002 (75.7)	305 (23.0)	1,324 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 図1の注3に同じ。
5 図5の注7に同じ。

(2) 身体的暴力等の加害者

図 7 は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の加害者（問 3 の a，重複選択）を尋ねた結果を、男女について群別に見たものである。男子では、恐喝及び身体的暴力②で、どちらの群も先輩及び全く知らない人の比率が高く、女子では、恐喝の一般単回群を除き、いずれの加害行為についても、どちらの群も友達・恋人（以下、「友達等」という。）及び先輩の比率が高くなっている。

図 7 身体的暴力等の加害者

図 7-1 恐喝

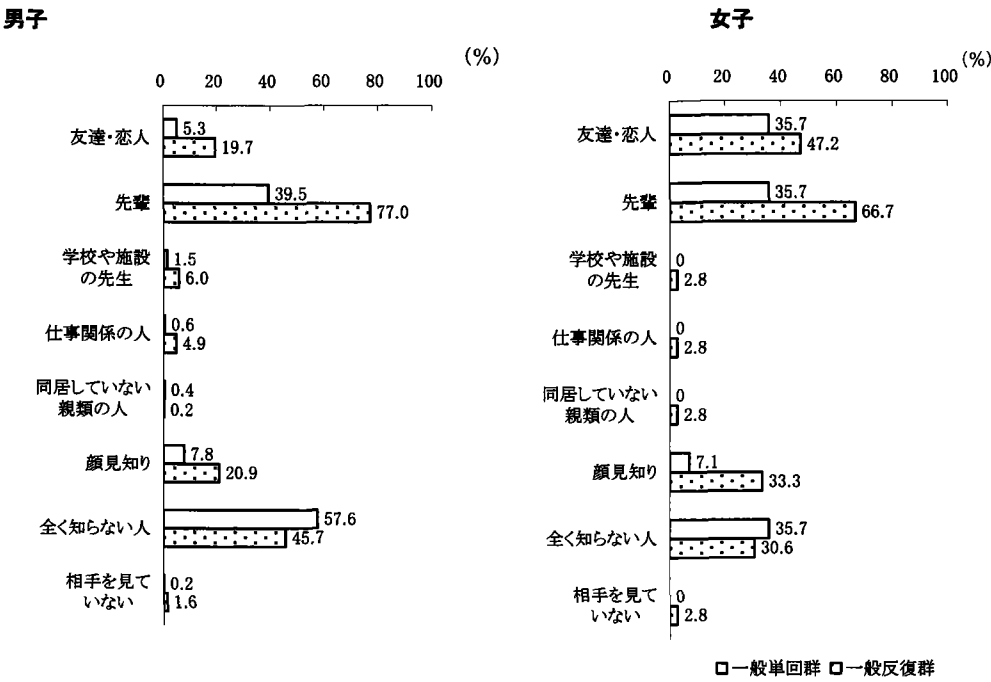


図 7-2 身体的暴力①（軽度）

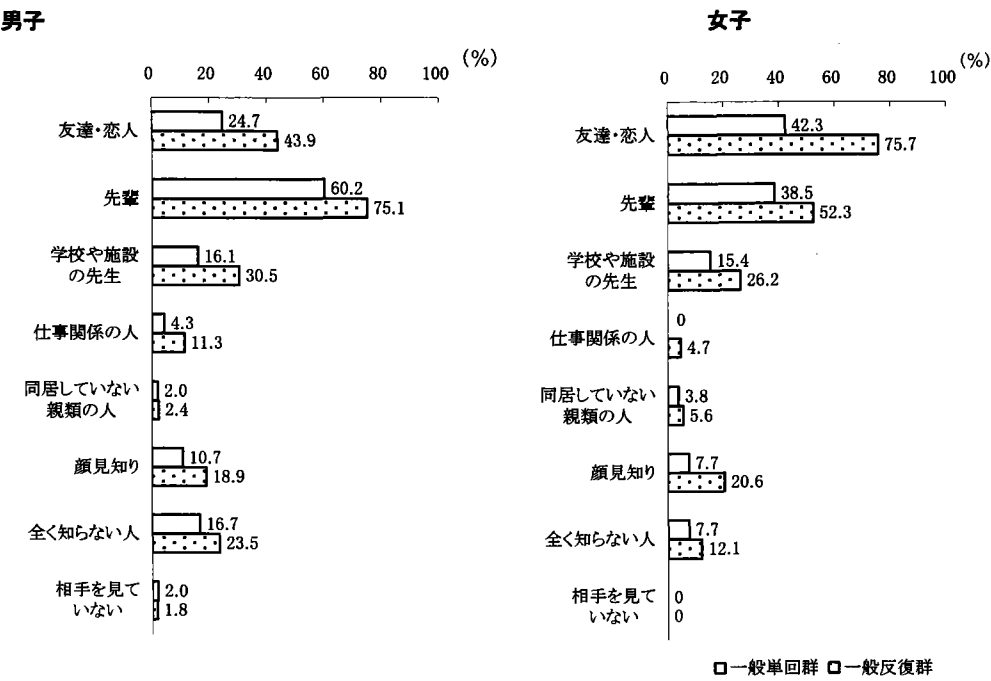
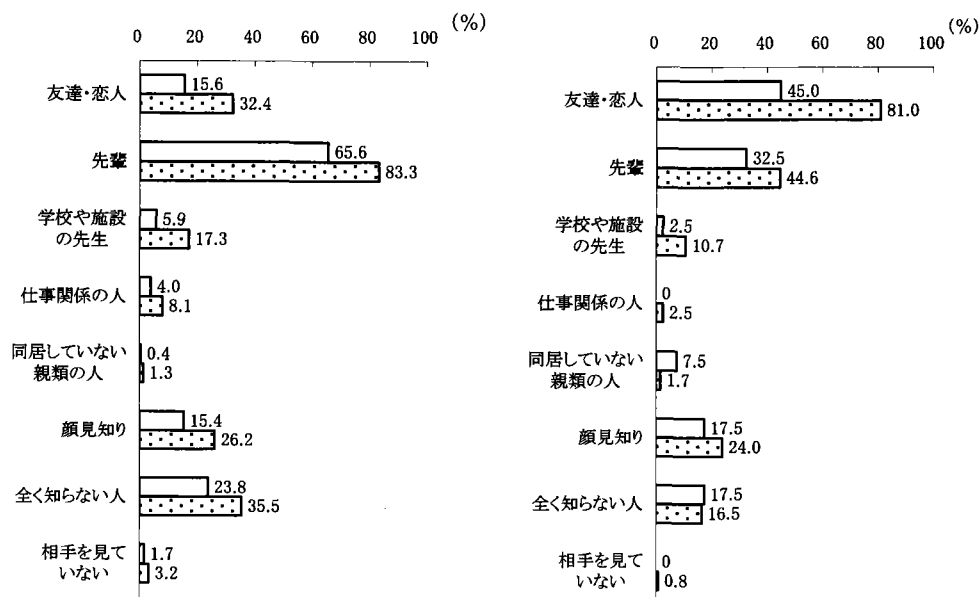


図 7-3 身体的暴力②（重度）

男子

女子



□一般単回群 □一般反復群

		加害者の種類									総数
			友達 恋人	先輩	学校や施設 の先生	仕事関係 の人	同居して いない 親類の人	顔見知り	全く知 らない人	相手を見 ていない	
恐 喝	男子	一般単回群	25 (5.3)	188 (39.5)	7 (1.5)	3 (0.6)	2 (0.4)	37 (7.8)	274 (57.6)	1 (0.2)	476
		一般反復群	162 (19.7)	634 (77.0)	49 (6.0)	40 (4.9)	2 (0.2)	172 (20.9)	376 (45.7)	13 (1.6)	823
		合計	187 (14.4)	822 (63.3)	56 (4.3)	43 (3.3)	4 (0.3)	209 (16.1)	650 (50.0)	14 (1.1)	1,299
	女子	一般単回群	5 (35.7)	5 (35.7)	0 -	0 -	0 -	1 (7.1)	5 (35.7)	0 -	14
		一般反復群	17 (47.2)	24 (66.7)	1 (2.8)	1 (2.8)	1 (2.8)	12 (33.3)	11 (30.6)	1 (2.8)	36
		合計	22 (44.0)	29 (58.0)	1 (2.0)	1 (2.0)	1 (2.0)	13 (26.0)	16 (32.0)	1 (2.0)	50
身体的 暴力① (軽度)	男子	一般単回群	74 (24.7)	180 (60.2)	48 (16.1)	13 (4.3)	6 (2.0)	32 (10.7)	50 (16.7)	6 (2.0)	299
		一般反復群	443 (43.9)	757 (75.1)	307 (30.5)	114 (11.3)	24 (2.4)	191 (18.9)	237 (23.5)	18 (1.8)	1,008
		合計	517 (39.6)	937 (71.7)	355 (27.2)	127 (9.7)	30 (2.3)	223 (17.1)	287 (22.0)	24 (1.8)	1,307
	女子	一般単回群	11 (42.3)	10 (38.5)	4 (15.4)	0 -	1 (3.8)	2 (7.7)	2 (7.7)	0 -	26
		一般反復群	81 (75.7)	56 (52.3)	28 (26.2)	5 (4.7)	6 (5.6)	22 (20.6)	13 (12.1)	0 -	107
		合計	92 (69.2)	66 (49.6)	32 (24.1)	5 (3.8)	7 (5.3)	24 (18.0)	15 (11.3)	0 -	133
身体的 暴力② (重度)	男子	一般単回群	74 (15.6)	311 (65.6)	28 (5.9)	19 (4.0)	2 (0.4)	73 (15.4)	113 (23.8)	8 (1.7)	474
		一般反復群	402 (32.4)	1,033 (83.3)	214 (17.3)	101 (8.1)	16 (1.3)	325 (26.2)	440 (35.5)	40 (3.2)	1,240
		合計	476 (27.8)	1,344 (78.4)	242 (14.1)	120 (7.0)	18 (1.1)	398 (23.2)	553 (32.3)	48 (2.8)	1,714
	女子	一般単回群	18 (45.0)	13 (32.5)	1 (2.5)	0 -	3 (7.5)	7 (17.5)	7 (17.5)	0 -	40
		一般反復群	98 (81.0)	54 (44.6)	13 (10.7)	3 (2.5)	2 (1.7)	29 (24.0)	20 (16.5)	1 (0.8)	121
		合計	116 (72.0)	67 (41.6)	14 (8.7)	3 (1.9)	5 (3.1)	36 (22.4)	27 (16.8)	1 (0.6)	161

注1 法務総合研究所の調査による。

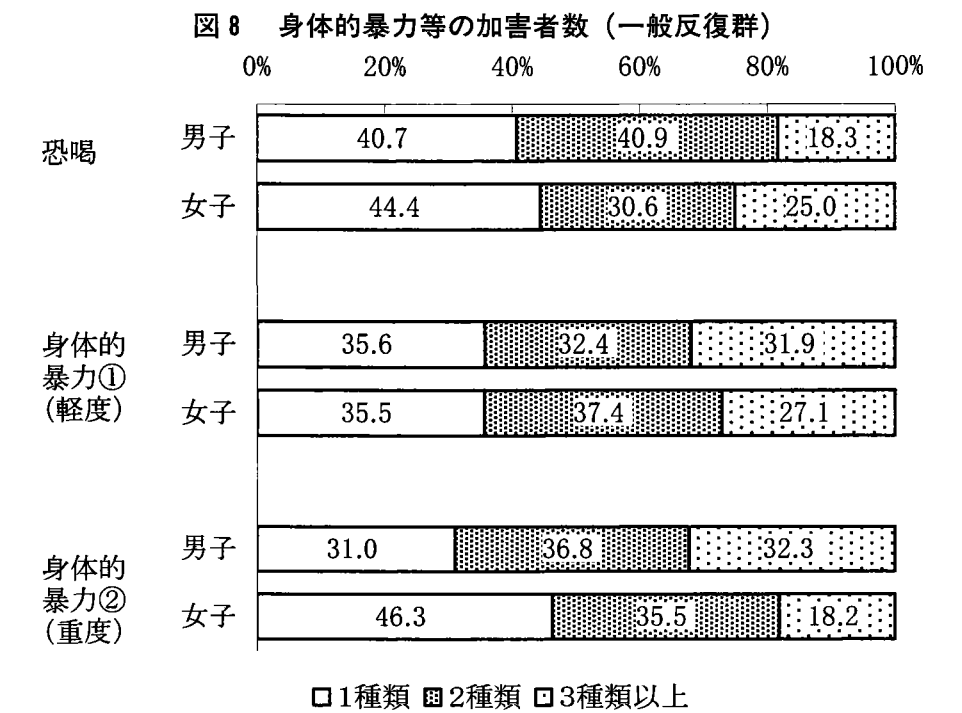
2 無回答を除く。

3 重複選択による。

4 グラフ及び表は、各項目に該当するもののみを挙げている。

5 ()内は、総数に対する比率である。

図 8 は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の反復被害経験のある者が、問 3 の a（重複選択）で選択した加害者の種類数を男女別に見たものである。いずれの加害行為についても、半数以上の者が複数の種類の加害者を挙げている。



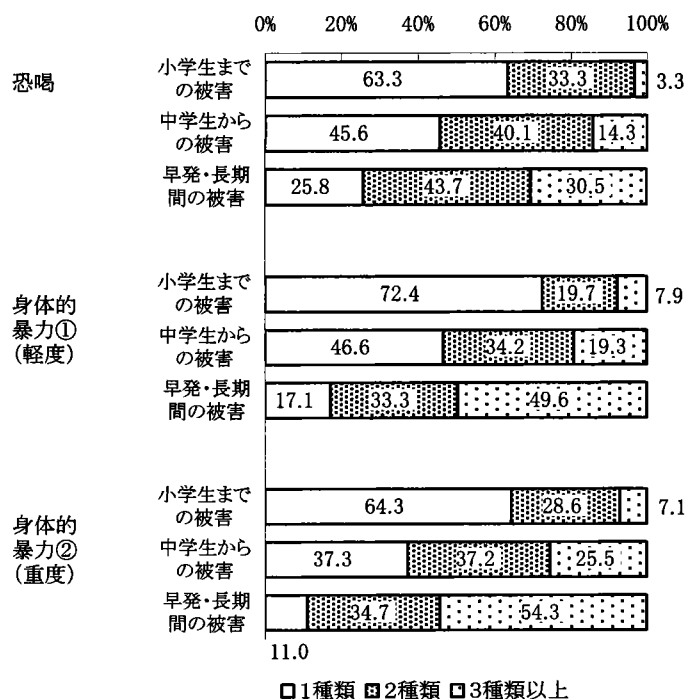
		1種類	2種類	3種類以上	合計	検定結果
恐喝	男子	335 (40.7)	337 (40.9)	151 (18.3)	823 (100.0)	$\chi^2(2)=1.857$ $p=0.395$
	女子	16 (44.4)	11 (30.6)	9 (25.0)	36 (100.0)	
	合計	351 (40.9)	348 (40.5)	160 (18.6)	859 (100.0)	
身体的暴力① (軽度)	男子	359 (35.6)	327 (32.4)	322 (31.9)	1,008 (100.0)	$\chi^2(2)=1.439$ $p=0.487$
	女子	38 (35.5)	40 (37.4)	29 (27.1)	107 (100.0)	
	合計	397 (35.6)	367 (32.9)	351 (31.5)	1,115 (100.0)	
身体的暴力② (重度)	男子	384 (31.0) ▼[-3.4]	456 (36.8) [0.3]	400 (32.3) △[3.2]	1,240 (100.0)	$\chi^2(2)=15.087$ $p=0.001^{**}$
	女子	56 (46.3) △[3.4]	43 (35.5) [-0.3]	22 (18.2) ▼[-3.2]	121 (100.0)	
	合計	440 (32.3)	499 (36.7)	422 (31.0)	1,361 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 表1の注6に同じ。
5 図1の注3に同じ。

図9は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の一般反復群（女子の恐喝については、該当者が少ないのでグラフは省略した。）について、加害者の種類数を被害期間別に見たものである。

図9 身体的暴力等の加害者の種類数（一般反復群・被害期間別）

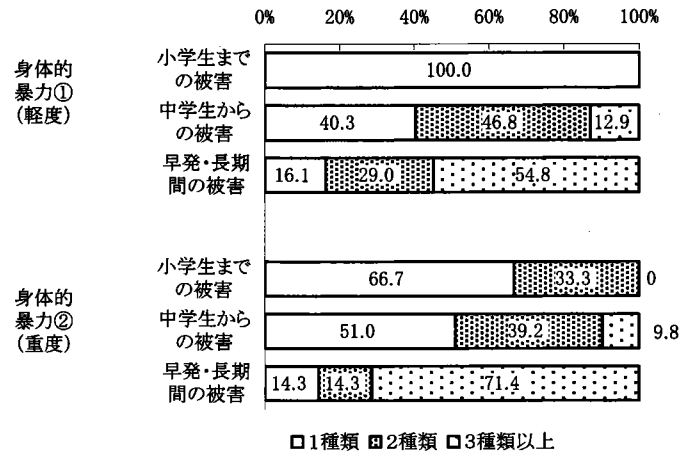
男子



		1種類	2種類	3種類以上	合計	検定結果
恐喝	小学生までの被害	19 (63.3)	10 (33.3)	1 (3.3)	30 (100.0)	$\chi^2(2)=42.564$ $p=0.000^{**}$
		△[2.5]	[-0.8]	▼[-2.1]		
	中学生からの被害	258 (45.6)	227 (40.1)	81 (14.3)	566 (100.0)	
		△[3.7]	[-0.6]	▼[-4.1]		
身体的暴力①（軽度）	早発・長期間の被害	49 (25.8)	83 (43.7)	58 (30.5)	190 (100.0)	$\chi^2(2)=168.517$ $p=0.000^{**}$
		▼[-5.0]	[1.0]	△[5.3]		
	合計	326 (41.5)	320 (40.7)	140 (17.8)	786 (100.0)	
身体的暴力②（重度）	小学生までの被害	55 (72.4)	15 (19.7)	6 (7.9)	76 (100.0)	$\chi^2(2)=113.498$ $p=0.000^{**}$
		△[6.9]	▼[-2.5]	▼[-4.6]		
	中学生からの被害	225 (46.6)	165 (34.2)	93 (19.3)	483 (100.0)	
		△[6.8]	[1.0]	▼[-8.0]		
身体的暴力②（重度）	早発・長期間の被害	71 (17.1)	138 (33.3)	206 (49.6)	415 (100.0)	$\chi^2(2)=113.498$ $p=0.000^{**}$
		▼[-10.6]	[0.3]	△[10.6]		
	合計	351 (36.0)	318 (32.6)	305 (31.3)	974 (100.0)	
身体的暴力②（重度）	小学生までの被害	9 (64.3)	4 (28.6)	1 (7.1)	14 (100.0)	$\chi^2(2)=113.498$ $p=0.000^{**}$
		△[2.7]	[-0.6]	▼[-2.0]		
	中学生からの被害	335 (37.3)	334 (37.2)	229 (25.5)	898 (100.0)	
		△[7.8]	[0.9]	▼[-8.6]		
身体的暴力②（重度）	早発・長期間の被害	32 (11.0)	101 (34.7)	158 (54.3)	291 (100.0)	$\chi^2(2)=113.498$ $p=0.000^{**}$
		▼[-8.6]	[-0.7]	△[9.2]		
	合計	376 (31.3)	439 (36.5)	388 (32.3)	1,203 (100.0)	

女子の恐喝を除き、被害期間と被害者の種類数には有意な関連が見られ、残差分析の結果、男子はいずれの加害行為も、小学生までの被害及び中学生からの被害で加害者が1種類のものが、早発・長期間の被害で3種類以上の者が、それぞれ有意に多くなっている。女子でも、早発・長期間の被害で3種類以上の者が有意に多くなっている。

女子



		1種類	2種類	3種類以上	合計	検定結果
恐喝	小学生までの被害	3 (100.0)	0 -	0 -	3 (100.0)	(m) p=0.144
	中学生からの被害	11 (50.0)	7 (31.8)	4 (18.2)	22 (100.0)	
	早発・長期間の被害	1 (14.3)	3 (42.9)	3 (42.9)	7 (100.0)	
	合計	15 (46.9)	10 (31.3)	7 (21.9)	32 (100.0)	
身体的暴力①(軽度)	小学生までの被害	7 (100.0) △[3.6]	0 - ▼[-2.1]	0 - [-1.6]	7 (100.0)	(m) p=0.000**
	中学生からの被害	25 (40.3) [0.9]	29 (46.8) △[2.3]	8 (12.9) ▼[-3.6]	62 (100.0)	
	早発・長期間の被害	5 (16.1) ▼[-2.9]	9 (29.0) [-1.2]	17 (54.8) △[4.6]	31 (100.0)	
	合計	37 (37.0)	38 (38.0)	25 (25.0)	100 (100.0)	
身体的暴力②(重度)	小学生までの被害	2 (66.7) [0.7]	1 (33.3) [-0.1]	0 - [-0.8]	3 (100.0)	(m) p=0.000**
	中学生からの被害	52 (51.0) △[2.1]	40 (39.2) [1.7]	10 (9.8) ▼[-5.0]	102 (100.0)	
	早発・長期間の被害	2 (14.3) ▼[-2.6]	2 (14.3) [-1.8]	10 (71.4) △[5.8]	14 (100.0)	
	合計	56 (47.1)	43 (36.1)	20 (16.8)	119 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 「検定結果」欄の(m)は、有意確率がモンテカルロ法によるものであることを示す。
4 ()内は、構成比である。
5 表1の注6に同じ。
6 図1の注3に同じ。

図10は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の一般単回群について、最もひどい加害者を男女別に見たものである。恐喝では、男女とも全く知らない人の比率が、身体的暴力①及び②では、男子は先輩の比率が、女子は友達等の比率が、それぞれ最も高くなっている。また、統計的には、身体的暴力①を除き、男女に有意差が見られ、残差分析の結果、どちらの加害行為も、最もひどい加害者が友達等である者が女子で有意に多くなっているほか、身体的暴力②では、先輩とする者が男子で有意に多く

図10 身体的暴力等の最もひどい加害者（一般単回群）

図10-1 恐喝

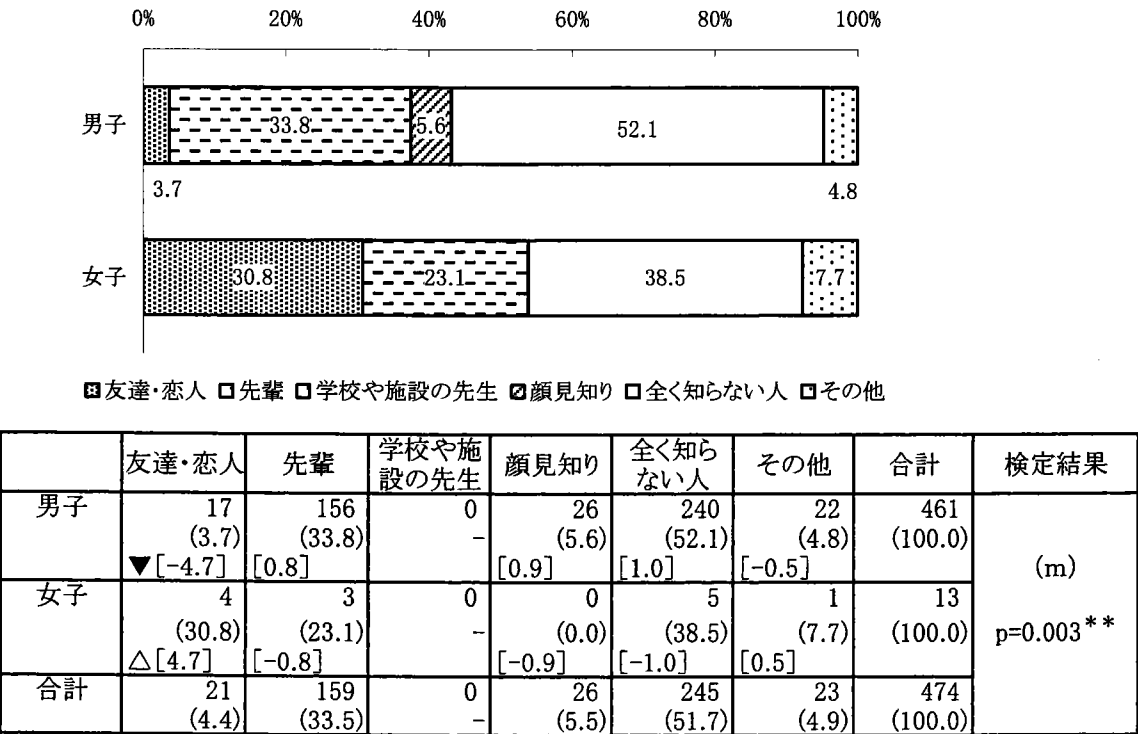
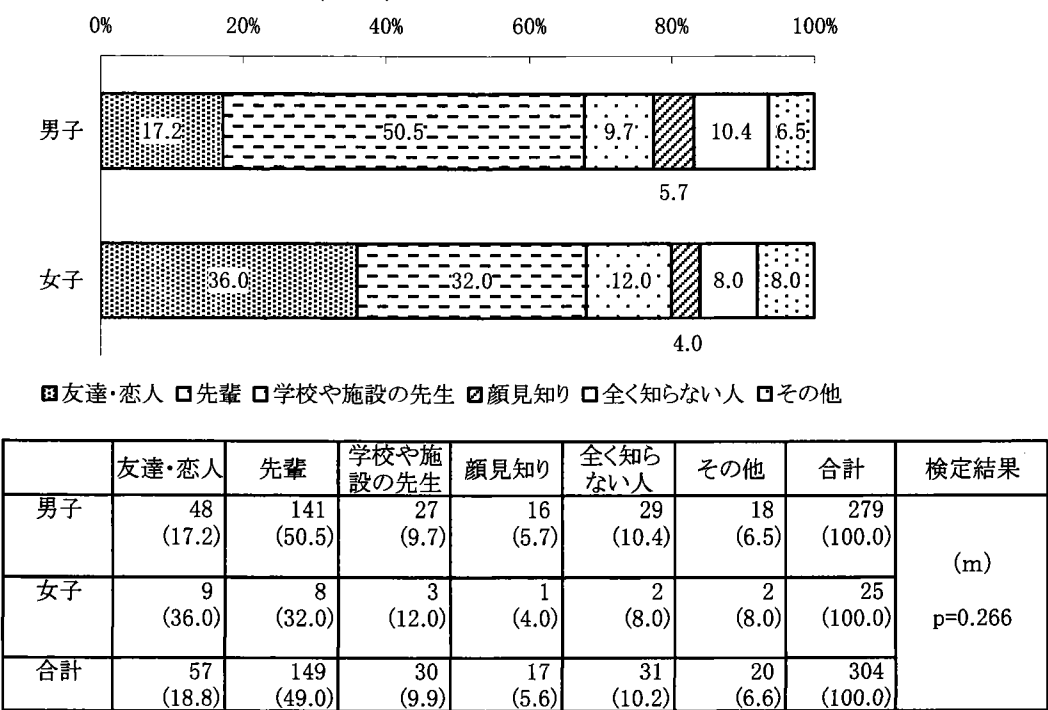
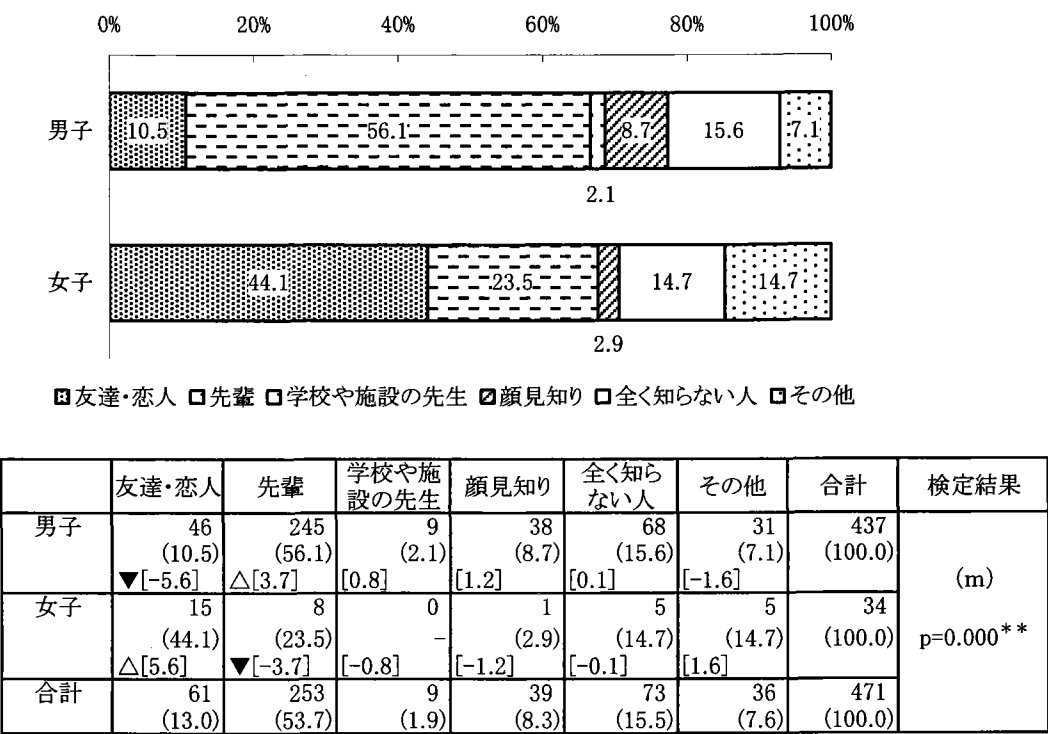


図10-2 身体的暴力①（軽度）



なっている。

図10-3 身体的暴力②（重度）

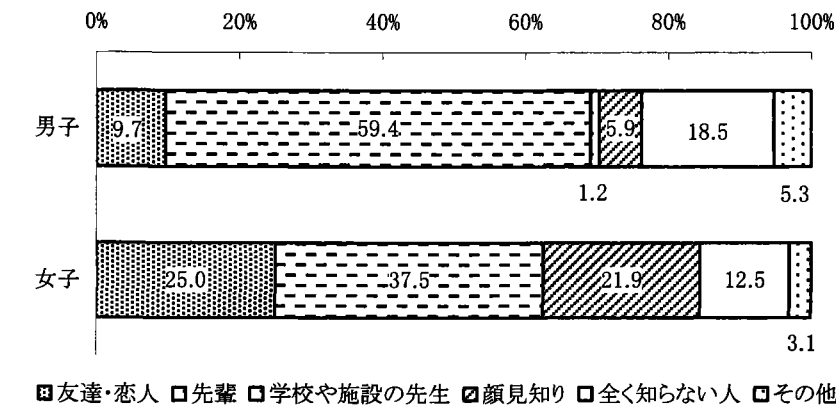


注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 「その他」は、「仕事関係の人」、「同居していない親類の人」及び「相手を見ていない」を含む。
5 表1の注6に同じ。
6 図1の注3に同じ。
7 図9の注3に同じ。

図11は、一般反復群について、同様に見たものである。最もひどい加害者としては、恐喝では男女とも先輩の比率が最も高いが、身体的暴力①及び②では、男子は先輩、女子は友達等の比率が最も高い。

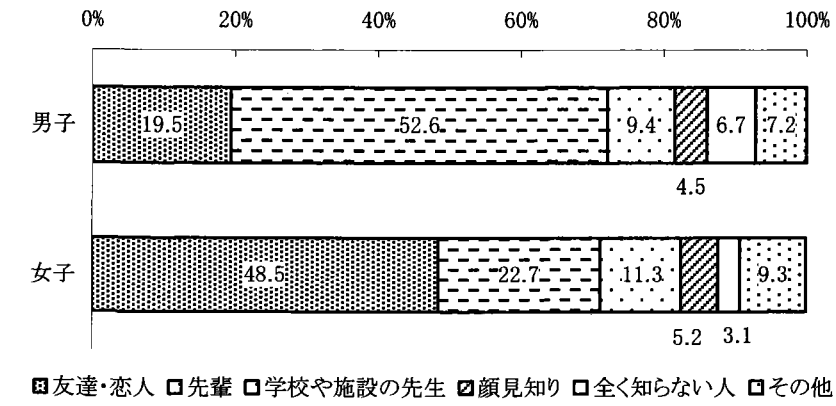
図11 身体的暴力等の最もひどい加害者（一般反復群）

図11-1 恐喝



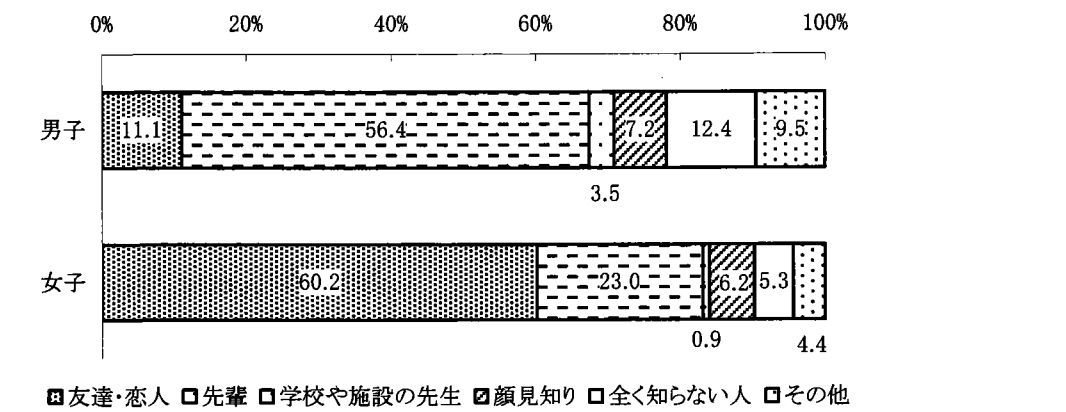
	友達・恋人	先輩	学校や施設の先生	顔見知り	全く知らない人	その他	合計	検定結果
男子	74 (9.7) ▼[-2.8]	452 (59.4) △[2.5]	9 (1.2) [0.6]	45 (5.9) ▼[-3.6]	141 (18.5) [0.9]	40 (5.3) [0.5]	761 (100.0)	(m) p=0.004**
女子	8 (25.0) △[2.8]	12 (37.5) ▼[-2.5]	0 - [-0.6]	7 (21.9) △[3.6]	4 (12.5) [-0.9]	1 (3.1) [-0.5]	32 (100.0)	
合計	82 (10.3)	464 (58.5)	9 (1.1)	52 (6.6)	145 (18.3)	41 (5.2)	793 (100.0)	

図11-2 身体的暴力①（軽度）



	友達・恋人	先輩	学校や施設の先生	顔見知り	全く知らない人	その他	合計	検定結果
男子	173 (19.5) ▼[-6.5]	468 (52.6) △[5.6]	84 (9.4) [-0.6]	40 (4.5) [-0.3]	60 (6.7) [1.4]	64 (7.2) [-0.7]	889 (100.0)	$\chi^2(5)=51.497$ p=0.000**
女子	47 (48.5) △[6.5]	22 (22.7) ▼[-5.6]	11 (11.3) [0.6]	5 (5.2) [0.3]	3 (3.1) [-1.4]	9 (9.3) [0.7]	97 (100.0)	
合計	220 (22.3)	490 (49.7)	95 (9.6)	45 (4.6)	63 (6.4)	73 (7.4)	986 (100.0)	

図11-3 身体的暴力②（重度）



	友達・恋人	先輩	学校や施設 の先生	顔見知り	全く知ら ない人	その他	合計	検定結果
男子	121 (11.1) ▼[-13.7]	616 (56.4) △[6.8]	38 (3.5) [1.5]	79 (7.2) [0.4]	135 (12.4) △[2.2]	104 (9.5) [1.8]	1,093 (100.0)	$\chi^2(5)=188.542$ p=0.000**
女子	68 (60.2) △[13.7]	26 (23.0) ▼[-6.8]	1 (0.9) [-1.5]	7 (6.2) [-0.4]	6 (5.3) ▼[-2.2]	5 (4.4) [-1.8]	113 (100.0)	
合計	189 (15.7)	642 (53.2)	39 (3.2)	86 (7.1)	141 (11.7)	109 (9.0)	1,206 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 「その他」は、「仕事関係の人」、「同居していない親類の人」及び「相手を見ていない」を含む。
5 表1の注6に同じ。
6 図1の注3に同じ。
7 図9の注3に同じ。

また、統計的にはすべての加害行為で男女に有意差が見られ、残差分析の結果、恐喝では、最もひどい加害者が先輩であるとする者が男子で、友達等及び顔見知りとする者が女子で、それぞれ有意に多くなっている。身体的暴力①及び②では、先輩とする者が男子で、友達等とする者が女子で、それぞれ有意に多くなっているほか、身体的暴力②では、全く知らない人とする者が男子で有意に多くなっている。

表 3 は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の一般反復群について、最もひどい加害者を、男女について被害期間別に見たものである。女子の身体的暴力①を除き、最もひどい被害者と被害期間には有意な関連が見られ、男子の場合、中学生からの被害は、いずれの加害行為についても先輩が有意に多く、早発・長期間の被害の場合は、全く知らない人（恐喝）、学校や施設の先生（以下、「先生」という。）①、②）が有意に多くなっている。

表 3 身体的暴力等の最もひどい加害者と被害期間（一般反復群）

表 3-1 恐喝

	最もひどい加害者	被害期間				検定結果
		小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	
男子	友達・恋人	7 (10.1) △[3.0]	49 (71.0) [-0.2]	13 (18.8) [-1.1]	69 (100.0)	(m) p=0.010*
	先輩	12 (2.7) [-1.7]	333 (75.3) △[2.5]	97 (21.9) [-1.8]	442 (100.0)	
	学校や施設の先生	0 - [-0.6]	6 (66.7) [-0.4]	3 (33.3) [0.6]	9 (100.0)	
	顔見知り	2 (5.3) [0.5]	30 (78.9) ▼[-3.5]	6 (15.8) [-1.2]	38 (100.0)	
	全く知らない人	6 (4.4) [0.5]	81 (60.0) ▼[-3.5]	48 (35.6) △[3.4]	135 (100.0)	
	その他	0 - [-1.2]	27 (73.0) [0.1]	10 (27.0) [0.4]	37 (100.0)	
	合計	27 (3.7)	526 (72.1)	177 (24.2)	730 (100.0)	
女子	友達・恋人	1 (12.5) [0.2]	7 (87.5) [1.5]	0 - [-1.9]	8 (100.0)	(m) p=0.040*
	先輩	2 (16.7) [0.9]	3 (25.0) ▼[-3.9]	7 (58.3) △[3.6]	12 (100.0)	
	顔見知り	0 - [-0.9]	6 (100.0) △[2.0]	0 - [-1.6]	6 (100.0)	
	全く知らない人	0 - [0.5]	2 (100.0) [1.1]	0 - [-0.8]	2 (100.0)	
	その他	0 - [-0.3]	1 (100.0) [0.7]	0 - [-0.6]	1 (100.0)	
	合計	3 (10.3)	19 (65.5)	7 (24.1)	29 (100.0)	

表 3-2 身体的暴力①（軽度）

	最もひどい加害者	被害期間				検定結果
		小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	
男子	友達・恋人	30 (17.9) △[5.3]	76 (45.2) [-1.5]	62 (36.9) [-1.4]	168 (100.0)	$\chi^2(10)=71.386$ p=0.000**
	先輩	14 (3.1) ▼[-5.6]	261 (57.4) △[4.2]	180 (39.6) [-1.3]	455 (100.0)	
	学校や施設の先生	15 (17.9) △[3.6]	23 (27.4) ▼[-4.5]	46 (54.8) △[2.6]	84 (100.0)	
	顔見知り	2 (5.6) [-0.5]	16 (44.4) [-0.7]	18 (50.0) [1.0]	36 (100.0)	
	全く知らない人	1 (1.7) [-1.8]	26 (44.8) [-0.9]	31 (53.4) [1.9]	58 (100.0)	
	その他	6 (10.0) [0.6]	33 (55.0) [0.7]	21 (35.0) [-1.1]	60 (100.0)	
	合計	68 (7.9)	435 (50.5)	358 (41.6)	861 (100.0)	
女子	友達・恋人	1 (2.3)	32 (74.4)	10 (23.3)	43 (100.0)	(m) p=0.115
	先輩	2 (9.1)	10 (45.5)	10 (45.5)	22 (100.0)	
	学校や施設の先生	2 (20.0)	4 (40.0)	4 (40.0)	10 (100.0)	
	顔見知り	0 -	4 (80.0)	1 (20.0)	5 (100.0)	
	全く知らない人	0 -	2 (100.0)	0 -	2 (100.0)	
	その他	2 (22.2)	3 (33.3)	4 (44.4)	9 (100.0)	
	合計	7 (7.7)	55 (60.4)	29 (31.9)	91 (100.0)	

表 3-3 身体的暴力②（重度）

	最もひどい加害者	被害期間				検定結果
		小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	
男子	友達・恋人	2 (1.8) [0.6]	75 (67.0) ▼[-2.5]	35 (31.3) △[2.4]	112 (100.0)	(m) p=0.000**
	先輩	4 (0.7) [-1.9]	490 (81.0) △[4.1]	111 (18.3) ▼[-3.7]	605 (100.0)	
	学校や施設の先生	3 (8.1) △[3.9]	16 (43.2) ▼[-4.8]	18 (48.6) △[3.9]	37 (100.0)	
	顔見知り	2 (2.6) [1.1]	56 (71.8) [-1.0]	20 (25.6) [0.7]	78 (100.0)	
	全く知らない人	1 (0.8) [-0.5]	98 (74.8) [-0.4]	32 (24.4) [0.6]	131 (100.0)	
	その他	1 (1.0) [-0.2]	76 (76.8) [0.1]	22 (22.2) [0.0]	99 (100.0)	
	合計	13 (1.2)	811 (76.4)	238 (22.4)	1,062 (100.0)	
女子	友達・恋人	1 (1.5) [-0.3]	65 (95.6) △[3.5]	2 (2.9) ▼[-3.6]	68 (100.0)	(m) p=0.025*
	先輩	0 - [-0.8]	20 (80.0) [-1.1]	5 (20.0) [1.5]	25 (100.0)	
	学校や施設の先生	0 - [-0.1]	0 - ▼[-2.6]	1 (100.0) △[2.8]	1 (100.0)	
	顔見知り	0 - [-0.4]	6 (85.7) [-0.1]	1 (14.3) [0.2]	7 (100.0)	
	全く知らない人	0 - [-0.3]	4 (66.7) [-1.5]	2 (33.3) [1.7]	6 (100.0)	
	その他	1 (20.0) △[3.1]	2 (40.0) ▼[-3.1]	2 (40.0) △[2.0]	5 (100.0)	
	合計	2 (1.8)	97 (86.6)	13 (11.6)	112 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 「その他」は、「仕事関係の人」、「同居していない親類の人」及び「相手を見ていない」を含む。
5 図1の注3に同じ。
6 図5の注7に同じ。
7 図9の注3に同じ。

3 身体的暴力等を受けた経験の表出

(1) 身体的暴力等を受けた経験の表出の有無

表4は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の被害経験のある者に対し、「被害について、誰かに言ったことがありますか」（問4）と尋ねた結果を、男女について群別に示したものである。

「言ったことがある」とする者の比率は、男子で50から70％台、女子で70から80％台である。また、男子についてすべての加害行為で群間に有意差が見られ、「言ったことがある」とする者はいずれも一般反復群で有意に多い。

表4 身体的暴力等の被害経験の表出の有無

		恐喝			検定結果
		言ったことがある	言ったことはない	合計	
男子	一般単回群	306 (64.6)	168 (35.4)	474 (100.0)	$\chi^2(1)=7.664$ $p=0.006^{**}$
	一般反復群	587 (71.9)	229 (28.1)	816 (100.0)	
	合計	893 (69.2)	397 (30.8)	1,290 (100.0)	
女子	一般単回群	12 (85.7)	2 (14.3)	14 (100.0)	(f) $p=1.000$
	一般反復群	31 (86.1)	5 (13.9)	36 (100.0)	
	合計	43 (86.0)	7 (14.0)	50 (100.0)	

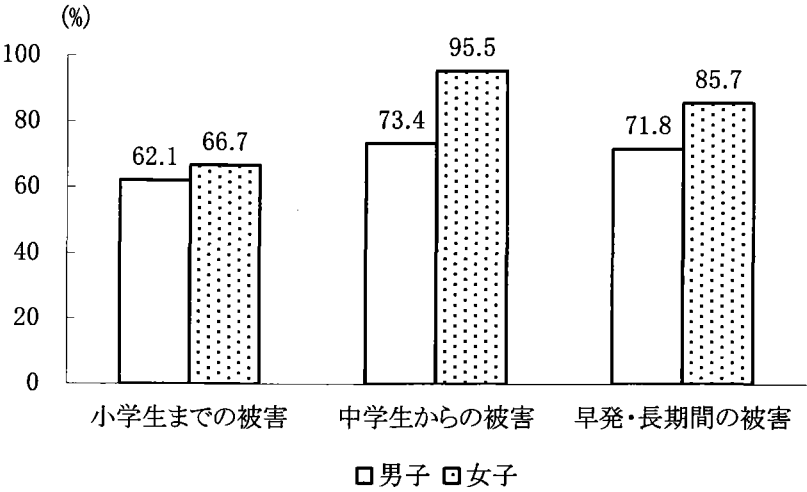
		身体的暴力①(軽度)				身体的暴力②(重度)			
		言ったことがある	言ったことはない	合計		言ったことがある	言ったことはない	合計	
男子	一般単回群	150 (50.2)	149 (49.8)	299 (100.0)	$\chi^2(1)=9.444$ $p=0.002^{**}$	302 (63.7)	172 (36.3)	474 (100.0)	$\chi^2(1)=11.333$ $p=0.001^{**}$
	一般反復群	607 (60.2)	402 (39.8)	1,009 (100.0)		895 (72.1)	347 (27.9)	1,242 (100.0)	
	合計	757 (57.9)	551 (42.1)	1,308 (100.0)		1,197 (69.8)	519 (30.2)	1,716 (100.0)	
女子	一般単回群	19 (73.1)	7 (26.9)	26 (100.0)	$\chi^2(1)=0.011$ $p=0.917$	34 (85.0)	6 (15.0)	40 (100.0)	$\chi^2(1)=0.463$ $p=0.496$
	一般反復群	80 (74.1)	28 (25.9)	108 (100.0)		97 (80.2)	24 (19.8)	121 (100.0)	
	合計	99 (73.9)	35 (26.1)	134 (100.0)		131 (81.4)	30 (18.6)	161 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 「言ったことはない」は、「わからない」を含む。
5 表1の注6に同じ。
6 図4の注6に同じ。

図12は、身体的暴力等の一般反復群について、被害経験を誰かに話したとする者の比率を男女について被害期間別に見たものである。男女とも、いずれの加害行為についても、小学生までの被害については、被害経験を誰かに話したとする者の比率が、他の二つに比べて低くなっている。

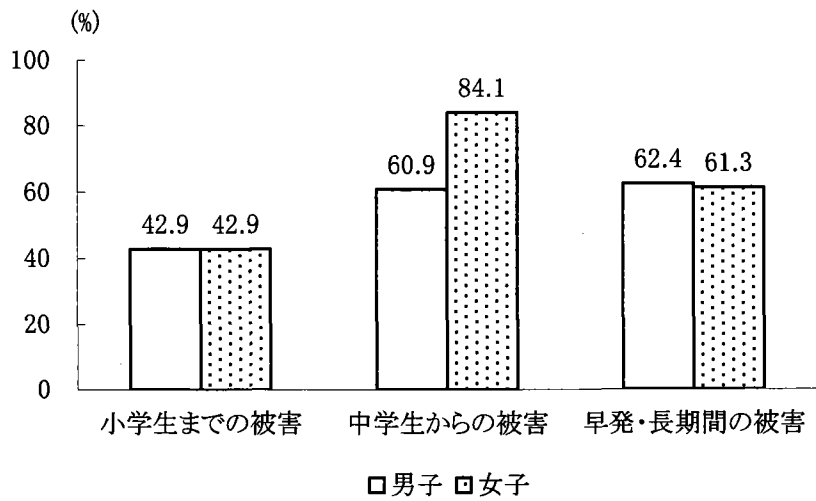
図12 身体的暴力等を受けた経験の表出の有無（一般反復群・被害期間別）

図12-1 恐喝



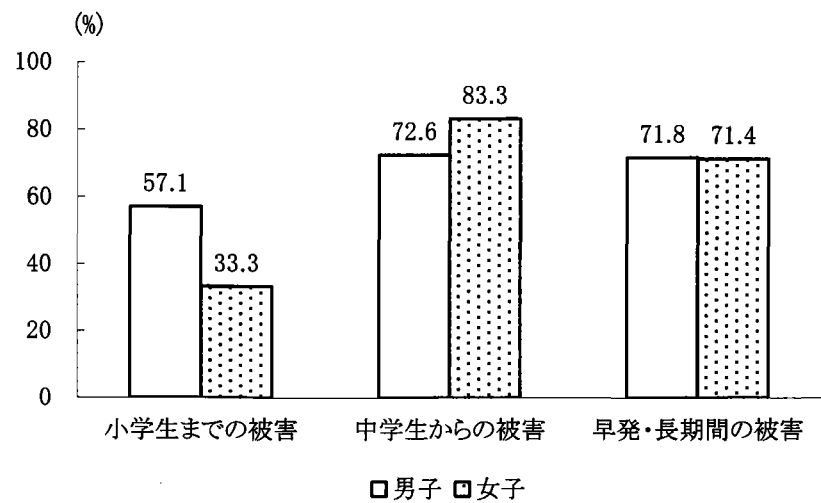
		恐喝			検定結果
		言ったことがある	言ったことはない	合計	
男子	小学生までの被害	18 (62.1)	11 (37.9)	29 (100.0)	$\chi^2(1)=1.836$ p=0.399
	中学生からの被害	413 (73.4)	150 (26.6)	563 (100.0)	
	早発・長期間の被害	135 (71.8)	53 (28.2)	188 (100.0)	
	合計	566 (72.6)	214 (27.4)	780 (100.0)	
女子	小学生までの被害	2 (66.7)	1 (33.3)	3 (100.0)	(m) p=0.229
	中学生からの被害	21 (95.5)	1 (4.5)	22 (100.0)	
	早発・長期間の被害	6 (85.7)	1 (14.3)	7 (100.0)	
	合計	29 (90.6)	3 (9.4)	32 (100.0)	

図12-2 身体的被害①（軽度）



		身体的暴力①(軽度)			
		言ったことがある	言ったことはない	合計	
男子	小学生までの被害	33 (42.9) ▼[-3.2]	44 (57.1) △[-3.2]	77 (100.0)	$\chi^2(1)=10.590$ p=0.005**
	中学生からの被害	294 (60.9) [0.5]	189 (39.1) [-0.5]	483 (100.0)	
	早発・長期間の被害	259 (62.4) [1.3]	156 (37.6) [-1.3]	415 (100.0)	
	合計	586 (60.1)	389 (39.9)	975 (100.0)	
女子	小学生までの被害	3 (42.9) ▼[-2.0]	4 (57.1) △[2.0]	7 (100.0)	$\chi^2(1)=9.548$ p=0.008**
	中学生からの被害	53 (84.1) △[2.9]	10 (15.9) ▼[-2.9]	63 (100.0)	
	早発・長期間の被害	19 (61.3) ▼[-2.0]	12 (38.7) △[2.0]	31 (100.0)	
	合計	75 (74.3)	26 (25.7)	101 (100.0)	

図12-3 身体的暴力②（重度）



		身体的暴力②(重度)			
		言ったことがある	言ったことはない	合計	
男子	小学生までの被害	8 (57.1)	6 (42.9)	14 (100.0)	$\chi^2(1)=1.659$ p=0.436
	中学生からの被害	653 (72.6)	247 (27.4)	900 (100.0)	
	早発・長期間の被害	209 (71.8)	82 (28.2)	291 (100.0)	
	合計	870 (72.2)	335 (27.8)	1,205 (100.0)	
女子	小学生までの被害	1 (33.3)	2 (66.7)	3 (100.0)	(m) p=0.076
	中学生からの被害	85 (83.3)	17 (16.7)	102 (100.0)	
	早発・長期間の被害	10 (71.4)	4 (28.6)	14 (100.0)	
	合計	96 (80.7)	23 (19.3)	119 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 「言ったことはない」は、「覚えていない」を含む。
5 表1の注6に同じ。
6 図1の注3に同じ。
7 図9の注3に同じ。

(2) 身体的暴力等を受けた経験を表出した者

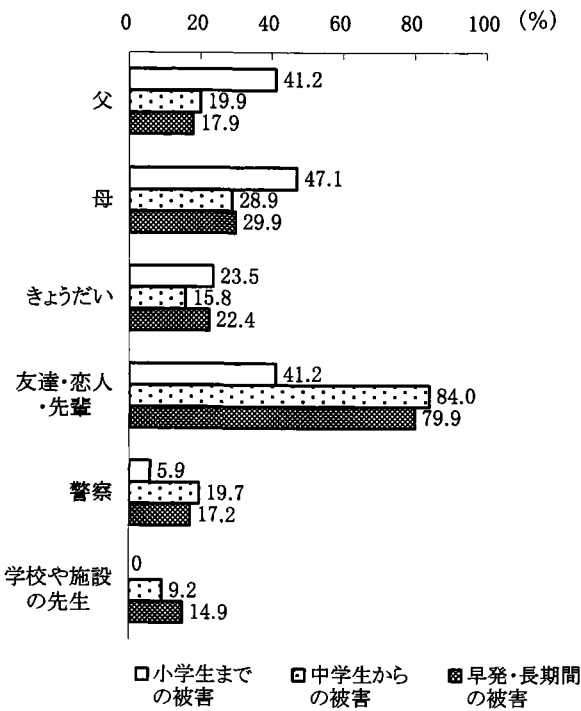
ア 相手

少年が恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の被害を受けたことを話した相手（問4のa，重複選択）を見ると，いずれの加害行為についても，男女ともどちらの群においても，友達・恋人・先輩の比率が最も高く，次いで，母となっている（資料 p110参照）。

図13は，少年が身体的暴力等の被害を受けたことを話した相手（問4のa，重複選択）を，被害期間別に見たものである（女子については，グラフを省略した。）。いずれの加害行為についても，男女とも，小学生までの被害では，父，母及びきょうだいの比率が高いのに対し，中学生からの被害と早発・長期間の被害では，友達・恋人・先輩の比率が高くなっている。また，「被害経験を話した相手」のいくつかについて，群間に有意差が見られる。男子の場合，恐喝では友達・恋人・先輩とする者が，小学生までの被害で有意に少なく，中学生からの被害で有意に多くなっている。身体的暴力①と②はほぼ同様の傾向で，小学生までの被害では友達・恋人・先輩が有意に少なく，中学生からの被害では母，きょうだい及び先生が有意に少なく，早発・長期間の被害では母及びきょうだいが有意に多くなっている。この他，先生（①の小学生までの被害，②の早発・長期間の被害），友達・恋人・先輩（②の中学生からの被害）も有意に多くなっている。

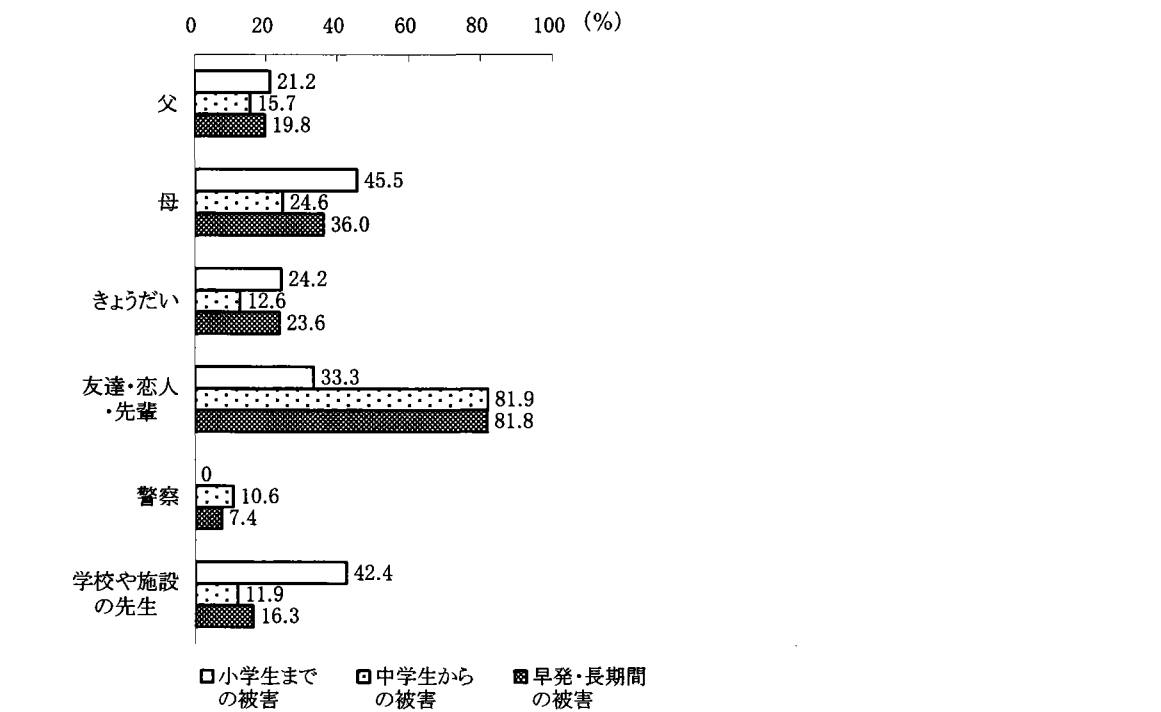
図13 身体的暴力等の被害経験を話した相手（一般反復群男子・被害期間別）

図13-1 恐喝



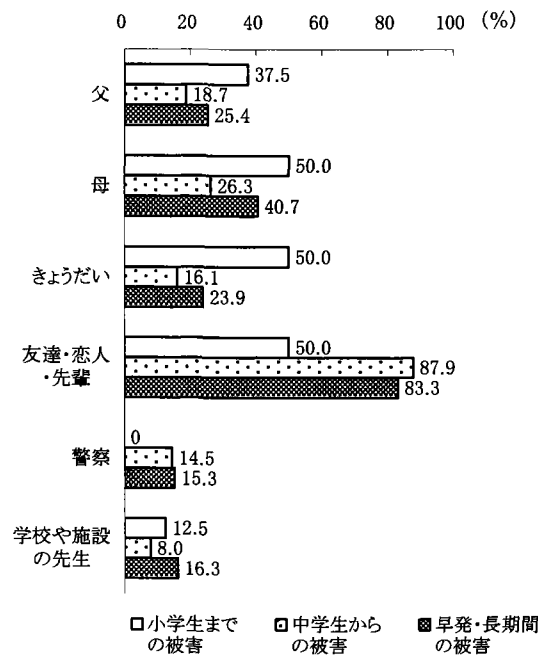
	被害期間	被害経験を話した相手						
		父	母	きょうだい	友達・恋人・先輩	警察	学校や施設の先生	総数
男子	小学生までの被害	7 (41.2)	8 (47.1)	4 (23.5)	7 (41.2) ▼[-4.4]	1 (5.9)	0 -	17
	中学生からの被害	82 (19.9)	119 (28.9)	65 (15.8)	346 (84.0) △[2.3]	81 (19.7)	38 (9.2)	412
	早発・長期間の被害	24 (17.9)	40 (29.9)	30 (22.4)	107 (79.9) [-0.6]	23 (17.2)	20 (14.9)	134
	総数	113 (20.1)	167 (29.7)	99 (17.6)	460 (81.7)	105 (18.7)	58 (10.3)	563
	検定結果	$\chi^2(2)=5.117$ p=0.077	$\chi^2(2)=2.588$ p=0.274	$\chi^2(2)=3.477$ p=0.176	$\chi^2(2)=20.416$ p=0.000**	$\chi^2(2)=2.299$ p=0.317	$\chi^2(2)=5.571$ p=0.062	
女子	小学生までの被害	1	1	1	2	0	0	2
	中学生からの被害	5 (23.8)	8 (38.1)	4 (19.0)	13 (61.9)	8 (38.1)	4 (19.0)	21
	早発・長期間の被害	2	4	2	6	1	2	6
	総数	8 (27.6)	13 (44.8)	7 (24.1)	21 (72.4)	9 (31.0)	6 (20.7)	29
	検定結果	(m) p=1.000	(m) p=0.671	(m) p=0.438	(m) p=0.143	(m) p=0.435	(m) p=0.742	

図13-2 身体的暴力①（軽度）



	被害期間	被害経験を話した相手						
		父	母	きょうだい	友達・恋人・先輩	警察	学校や施設の先生	総数
男子	小学生までの被害	7 (21.2)	15 (45.5)	8 (24.2)	11 (33.3)	0 -	14 (42.4)	33
			[1.9]	[0.9]	▼[-6.7]		△[4.4]	
	中学生からの被害	46 (15.7)	72 (24.6)	37 (12.6)	240 (81.9)	31 (10.6)	35 (11.9)	293
			▼[-3.3]	▼[-3.5]	[1.7]		▼[-2.4]	
	早発・長期間の被害	51 (19.8)	93 (36.0)	61 (23.6)	211 (81.8)	19 (7.4)	42 (16.3)	258
			△[2.4]	△[3.1]	[1.4]		[0.4]	
女子	総数	104 (17.8)	180 (30.8)	106 (18.2)	462 (79.1)	50 (8.6)	91 (15.6)	584
	検定結果	$\chi^2(2)=1.828$ p=0.401	$\chi^2(2)=11.982$ p=0.003**	$\chi^2(2)=12.079$ p=0.002**	$\chi^2(2)=44.350$ p=0.000**	$\chi^2(2)=5.087$ p=0.079	$\chi^2(2)=21.117$ p=0.000**	
	小学生までの被害	1	2	0	1	0	1	3
					▼[-2.0]			
	中学生からの被害	11 (20.8)	22 (41.5)	18 (34.0)	39 (73.6)	7 (13.2)	4 (7.5)	53
					[-1.7]			
女子	早発・長期間の被害	1 (5.3)	8 (42.1)	3 (15.8)	19 (100.0)	2 (10.5)	5 (26.3)	19
					△[2.6]			
	総数	13 (17.3)	32 (42.7)	21 (28.0)	59 (78.7)	9 (12.0)	10 (13.3)	75
女子	検定結果	(m) p=0.222	(m) p=0.751	(m) p=0.169	(m) p=0.011*	(m) p=1.000	(m) p=0.071	

図13-3 身体的暴力②（重度）



	被害期間	被害経験を話した相手						
		父	母	きょうだい	友達・恋人・先輩	警察	学校や施設の先生	総数
男子	小学生までの被害	3 (37.5)	4	4	4	0	1	8
			[1.2]	△[2.3]	▼[-3.0]		[0.2]	
	中学生からの被害	122 (18.7)	172 (26.3)	105 (16.1)	574 (87.9)	95 (14.5)	52 (8.0)	653
			▼[-4.1]	▼[-2.9]	△[2.2]		▼[-3.5]	
	早発・長期間の被害	53 (25.4)	85 (40.7)	50 (23.9)	174 (83.3)	32 (15.3)	34 (16.3)	209
			△[3.9]	△[2.4]	[-1.5]		△[3.5]	
女子	総数	178 (20.5)	261 (30.0)	159 (18.3)	752 (86.4)	127 (14.6)	87 (10.0)	870
	検定結果	$\chi^2(2)=5.777$ $p=0.050$	$\chi^2(2)=17.020$ $p=0.000^{**}$	$\chi^2(2)=11.963$ $p=0.003^{**}$	$\chi^2(2)=12.062$ $p=0.002^{**}$	$\chi^2(2)=1.545$ $p=0.483$	$\chi^2(2)=12.189$ $p=0.002^{**}$	
	小学生までの被害	1	1	0	0	0	1	1
							△[2.9]	
	中学生からの被害	15 (17.6)	34 (40.0)	21 (24.7)	69 (81.2)	21 (24.7)	6 (7.1)	85
女子							▼[-3.0]	
	早発・長期間の被害	1	2	0	9	1	3	10
							△[2.1]	
	総数	17 (17.7)	37 (38.5)	21 (21.9)	78 (81.3)	22 (22.9)	10 (10.4)	96
	検定結果	(m) $p=0.130$	(m) $p=0.169$	(m) $p=0.309$	(m) $p=0.139$	(m) $p=0.574$	(m) $p=0.007^{**}$	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 「被害経験を話した相手」については、重複選択である。
4 ()内は、総数に対する比率である。
5 図1の注3に同じ。
6 図5の注7に同じ。
7 図9の注3に同じ。

イ 相手の反応

恐喝，身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の被害を受けた経験を話した者に対し，「あなたの話を信じてくれた人はいましたか」（問４のb）と尋ねた結果を見ると，いずれの加害行為についても，男女ともどちらの群も，信じてくれた人がいたとする者の比率は70%以上である（資料p111参照）。

表５は，これを被害期間別に見たものである。男子の恐喝及び身体的暴力①について，小学生までの被害で信じてくれた人がいなかったとするものが有意に多い。

表 5 身体的暴力等の被害経験を信じてくれた人の有無（被害期間別）

	被害期間	恐喝			検定結果
		いた	いなかった	合計	
男子	小学生までの被害	12 (75.0) ▼[-2.6]	4 (25.0) △[2.6]	16 (100.0)	$\chi^2(1)=6.764$ p=0.034*
	中学生からの被害	341 (92.9) [1.1]	26 (7.1) [-1.1]	367 (100.0)	
	早発・長期間の被害	112 (91.8) [-0.1]	10 (8.2) [0.1]	122 (100.0)	
	合計	465 (92.1)	40 (7.9)	505 (100.0)	
女子	小学生までの被害	1	1	2	(m) p=0.096
	中学生からの被害	19 (90.5)	2 (9.5)	21 (100.0)	
	早発・長期間の被害	3	2	5	
	合計	23 (82.1)	5 (17.9)	28 (100.0)	

	被害期間	身体的暴力①(軽度)				身体的暴力②(重度)			
		いた	いなかった	合計		いた	いなかった	合計	
男子	小学生までの被害	19 (57.6) ▼[-2.5]	14 (42.4) △[2.5]	33 (100.0)	$\chi^2(1)=9.379$ p=0.009**	6	2	8	$\chi^2(1)=2.761$ p=0.251
	中学生からの被害	235 (79.7) △[2.4]	60 (20.3) ▼[-2.4]	295 (100.0)		476 (72.9)	177 (27.1)	653 (100.0)	
	早発・長期間の被害	189 (73.0) [-1.2]	70 (27.0) [1.2]	259 (100.0)		140 (67.0)	69 (33.0)	209 (100.0)	
	合計	443 (75.5)	144 (24.5)	587 (100.0)		622 (71.5)	248 (28.5)	870 (100.0)	
女子	小学生までの被害	3	0	3	(m) p=0.303	1	0	1	(m) p=1.000
	中学生からの被害	43 (81.1)	10 (18.9)	53 (100.0)		68 (80.0)	17 (20.0)	85 (100.0)	
	早発・長期間の被害	12 (66.7)	6 (33.3)	18 (100.0)		8 (80.0)	2 (20.0)	10 (100.0)	
	合計	58 (78.4)	16 (21.6)	74 (100.0)		77 (80.2)	19 (19.8)	96 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 「いなかった」は、「わからない」を含む。
5 図1の注3に同じ。
6 図5の注7に同じ。
7 図9の注3に同じ。

表6は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の被害経験を話した相手が1人である者について、話を信じてくれたかどうかを、男女について相手別に見たものである。いずれの加害行為も男子で有意差が見られ、信じてくれた人は、友達・恋人・先輩で有意に多く、父（②）、母（恐喝、②）、警察（恐喝）及び先生（①）で有意に少なくなっている。

表6 身体的暴力等の被害経験を信じてくれた人の比率（言った相手別）

	言った相手	恐喝			身体的暴力①(軽度)			身体的暴力②(重度)		
		信じてくれた 人がいた	合計	検定結果	信じてくれた 人がいた	合計	検定結果	信じてくれた 人がいた	合計	検定結果
男子	合計	440 (91.3)	482 (100.0)	(m) p=0.000**	347 (75.6)	459 (100.0)	(m) p=0.001**	492 (70.7)	696 (100.0)	(m) p=0.043*
	父	7 (77.8) [-1.5]	9 (100.0)		3 (100.0) [1.0]	3 (100.0)		2 (33.3) ▼[-2.0]	6 (100.0)	
	母	23 (79.3) ▼[-2.4]	29 (100.0)		20 (66.7) [-1.2]	30 (100.0)		12 (50.0) ▼[-2.3]	24 (100.0)	
	きょうだい	10 (90.9) [0.0]	11 (100.0)		8 (100.0) [1.6]	8 (100.0)		8 (66.7) [-0.3]	12 (100.0)	
	友達・先輩 ・恋人	374 (94.4) △[5.3]	396 (100.0)		296 (78.1) △[2.7]	379 (100.0)		447 (72.3) △[2.7]	618 (100.0)	
	警察	11 (55.0) ▼[-5.9]	20 (100.0)		2 (100.0) [0.8]	2 (100.0)		7 (50.0) [-1.7]	14 (100.0)	
	学校や施設 の先生	9 (81.8) [-1.1]	11 (100.0)		13 (48.1) ▼[-3.4]	27 (100.0)		8 (72.7) [0.1]	11 (100.0)	
	その他	6 (100.0) [0.8]	6 (100.0)		5 (50.0) [-1.9]	10 (100.0)		8 (72.7) [0.1]	11 (100.0)	
女子	合計	18 (81.8)	22 (100.0)	(m) p=0.819	39 (78.0)	50 (100.0)	(m) p=0.409	55 (79.7)	69 (100.0)	(m) p=0.835
	父	1 (100.0)	1 (100.0)		0 -	1 (100.0)		0 -	0 -	
	母	1 (100.0)	1 (100.0)		3 (75.0)	4 (100.0)		6 (75.0)	8 (100.0)	
	きょうだい	1 (100.0)	1 (100.0)		3 (75.0)	4 (100.0)		3 (100.0)	3 (100.0)	
	友達・先輩 ・恋人	12 (80.0)	15 (100.0)		29 (82.9)	35 (100.0)		44 (78.6)	56 (100.0)	
	警察	1 (100.0)	1 (100.0)		1 (100.0)	1 (100.0)		0 -	0 -	
	学校や施設 の先生	1 (50.0)	2 (100.0)		3 (60.0)	5 (100.0)		1 (100.0)	1 (100.0)	
	その他	1 (100.0)	1 (100.0)		0 -	0 -		1 (100.0)	1 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。

2 無回答を除く。

3 表は、「信じてくれた人がいた」とするもののみ挙げている。

4 ()内は、構成比である。

5 図1の注3に同じ。

6 図5の注7に同じ。

7 図9の注3に同じ。

(3) 身体的暴力等を受けた経験を表出しなかった者**ア 表出しなかった理由**

図14は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の被害を受けた経験を誰にも話さなかったとする者に対し、その理由（問4のc、重複選択）を尋ねた結果を、3群について見たものである（女子は、グラフを省略した。）。男子のいくつかの項目で群間に有意差が見られ、いずれの加害行為においても、「たいした被害ではなかった」は一般単回群で、「言ってもむだだと思った」、「言うと、かえってひどい目にあうと思った」は一般反復群で、それぞれ有意に多くなっている。

図14 身体的暴力等の被害経験を話さなかった理由（男子）

図14-1 恐喝

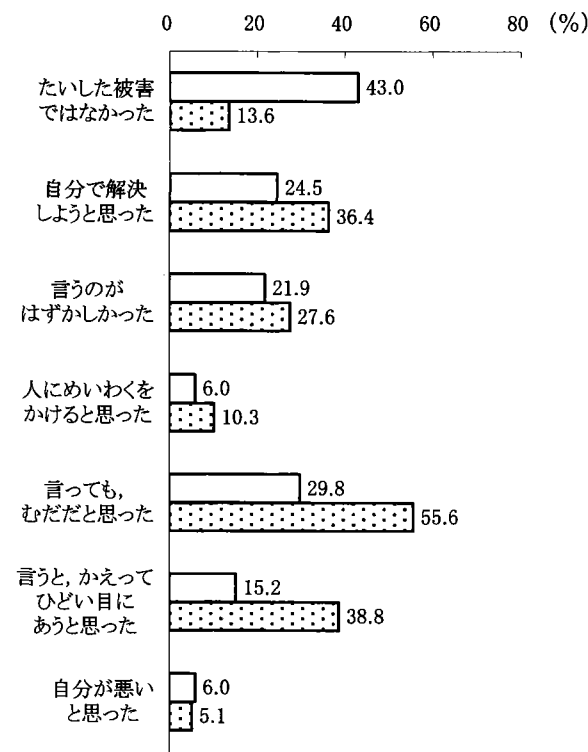


図14-2 身体的暴力①（軽度）

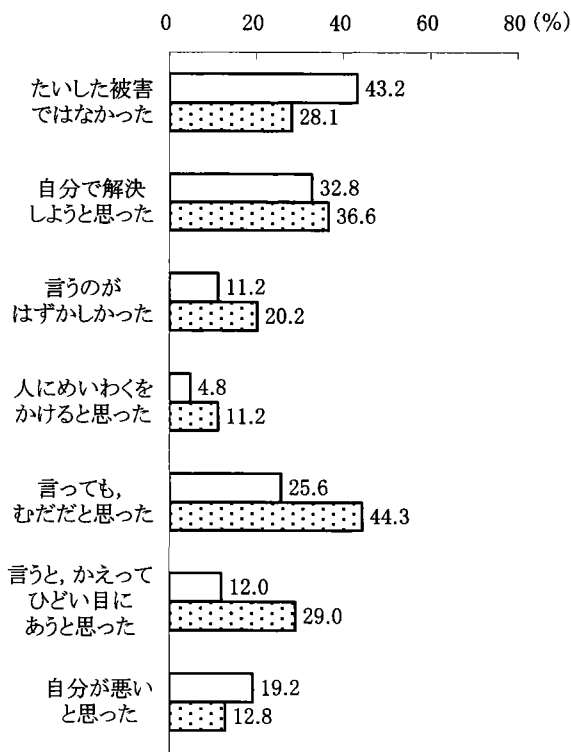
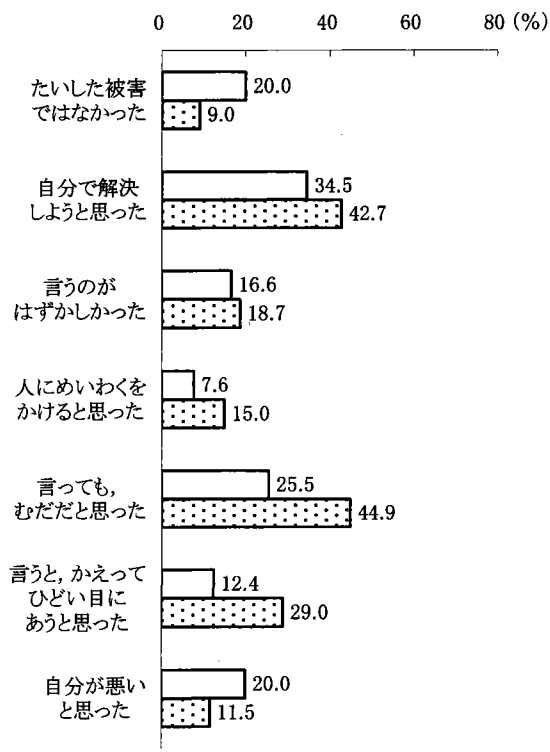


図14-3 身体的暴力②（重度）



□一般単回群 ▨一般反復群

			たいした被害 ではなかった	自分で解決 しようと思った	言うのがはず かしかった	人にめいわく をかけると思っ た	言っても、む だだと思った	言うと、かえっ てひどい目に あうと思った	自分が悪いと 思った	総数
恐 喝	男子	一般単回群	65 (43.0)	37 (24.5)	33 (21.9)	9 (6.0)	45 (29.8)	23 (15.2)	9 (6.0)	151
		一般反復群	29 (13.6)	78 (36.4)	59 (27.6)	22 (10.3)	119 (55.6)	83 (38.8)	11 (5.1)	214
		合計	94 (25.8)	115 (31.5)	92 (25.2)	31 (8.5)	164 (44.9)	106 (29.0)	20 (5.5)	365
		検定結果	$\chi^2(2)=40.279$ $p=0.000^{**}$	$\chi^2(2)=5.854$ $p=0.016^*$	$\chi^2(2)=1.534$ $p=0.215$	$\chi^2(2)=2.126$ $p=0.145$	$\chi^2(2)=23.828$ $p=0.000^{**}$	$\chi^2(2)=23.833$ $p=0.000^{**}$	$\chi^2(2)=0.115$ $p=0.735$	
	女子	一般単回群	0	1	0	0	1	1	1	2
		一般反復群	0	1	1	4	3	4	0	5
		合計	0	2	1	4	4	5	1	7
		検定結果	—	(f) $p=1.000$	(f) $p=1.000$	(f) $p=0.143$	(f) $p=1.000$	(f) $p=1.000$	(f) $p=0.286$	
身体的 暴力① (軽度)	男子	一般単回群	54 (43.2)	41 (32.8)	14 (11.2)	6 (4.8)	32 (25.6)	15 (12.0)	24 (19.2)	125
		一般反復群	103 (28.1)	134 (36.6)	74 (20.2)	41 (11.2)	162 (44.3)	106 (29.0)	47 (12.8)	366
		合計	157 (32.0)	175 (35.6)	88 (17.9)	47 (9.6)	194 (39.5)	121 (24.6)	71 (14.5)	491
		検定結果	$\chi^2(2)=9.713$ $p=0.002^{**}$	$\chi^2(2)=0.590$ $p=0.442$	$\chi^2(2)=5.152$ $p=0.023^*$	$\chi^2(2)=4.412$ $p=0.036^*$	$\chi^2(2)=13.578$ $p=0.000^{**}$	$\chi^2(2)=14.435$ $p=0.000^{**}$	$\chi^2(2)=3.046$ $p=0.081$	
	女子	一般単回群	2	0	1	0	2	2	1	7
		一般反復群	5 (19.2)	5 (19.2)	11 (42.3)	3 (11.5)	16 (61.5)	16 (61.5)	4 (15.4)	26
		合計	7 (21.2)	5 (15.2)	12 (36.4)	3 (9.1)	18 (54.5)	18 (54.5)	5 (15.2)	33
		検定結果	(f) $p=0.623$	(f) $p=0.559$	(f) $p=0.223$	(f) $p=1.000$	(f) $p=0.203$	(f) $p=0.203$	(f) $p=1.000$	
身体的 暴力② (重度)	男子	一般単回群	29 (20.0)	50 (34.5)	24 (16.6)	11 (7.6)	37 (25.5)	18 (12.4)	29 (20.0)	145
		一般反復群	29 (9.0)	137 (42.7)	60 (18.7)	48 (15.0)	144 (44.9)	93 (29.0)	37 (11.5)	321
		合計	58 (12.4)	187 (40.1)	84 (18.0)	59 (12.7)	181 (38.8)	111 (23.8)	66 (14.2)	466
		検定結果	$\chi^2(2)=11.022$ $p=0.001^{**}$	$\chi^2(2)=2.793$ $p=0.095$	$\chi^2(2)=0.310$ $p=0.578$	$\chi^2(2)=4.902$ $p=0.027^*$	$\chi^2(2)=15.731$ $p=0.000^{**}$	$\chi^2(2)=15.091$ $p=0.000^{**}$	$\chi^2(2)=5.899$ $p=0.015^*$	
	女子	一般単回群	2	0	1	0	1	0	1	4
		一般反復群	1 (4.8)	5 (23.8)	5 (23.8)	5 (23.8)	9 (42.9)	11 (52.4)	5 (23.8)	21
		合計	3 (12.0)	5 (20.0)	6 (24.0)	5 (20.0)	10 (40.0)	11 (44.0)	6 (24.0)	25
		検定結果	(f) $p=0.057$	(f) $p=0.549$	(f) $p=1.000$	(f) $p=0.549$	(f) $p=0.626$	(f) $p=0.105$	(f) $p=1.000$	

注1 法務総合研究所の調査による。

2 無回答を除く。

3 重複選択による。

4 グラフ及び表は、各理由に該当するもののみを挙げている。

5 ()内は、総数に対する比率である。

6 「検定結果」欄の「-」は、検定ができなかったことを示す。

7 図4の注6に同じ。

8 図5の注7に同じ。

イ 希望する相手

恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）を受けた経験を誰にも話さなかったとする者に対し、「もし、言うとしたら、誰に言いたかったですか」（問4のd、重複選択）と尋ねた結果を見ると、男女とも、いずれの加害行為についても、相談したかった相手として友達・恋人・先輩とする者の比率が最も高く、次いで、父、母、きょうだいといった家族の比率が高くなっている場合が多く（資料 p114参照）、群間に有意差は見られない。

一方、「誰にも言いたいと思わなかった」とする者は、男子が40%前後、女子は該当者が少なく数値にばらつきがあるが、おおむね30から60%となっており（資料 p115参照）、群間に有意差は見られない。

4 身体的暴力等の被害にあった時の行動

(1) 被害の状況別

表7は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の被害を受けた経験のある者に対し、「その被害にあって、あなたはどうしましたか」（問5、重複選択）と尋ねた結果について、各選択肢を選んだ者の総数に対する比率の高い順に五つを並べたものである（資料 p116, 117参照）。

男子では、いずれの加害行為も、またどちらの群についても、「じっとがまんした」とする者の比率が約40から50%と最も高くなっている。これに次いで、一般単回群では「気にしたり、考えたりしないようにした」（恐喝）、「相手にやり返した／仕返しをした」（①，②）が、一般反復群では「自分も他の人に同じようなことをした」（恐喝）、「相手にやり返した／仕返しをした」（①，②）が高い比率となっている。

女子でも、いずれの加害行為も、一般単回群では「じっとがまんした」とする者の比率が約40から60%と最も高く、次いで、「気にしたり、考えたりしないようにした」が高くなっている。一般反復群でも「じっとがまんした」とする者の比率が50%台と最も高く、次いで、恐喝では「やめるよう言った／言ってもなかった」及び「酒を飲んだ／薬物を使用した」、身体的暴力①では「相手にやり返した／仕返しをした」、同②では「酒を飲んだ／薬物を使用した」がそれぞれ高くなっている。

表7 身体的暴力等の被害にあった時の行動

		一般単回群	一般反復群
男子	恐喝	じつとがまんした (36.0)	じつとがまんした (53.5)
		気にしたり、考えたりしないようにした (29.2)	自分も他の人に同じようなことをした (32.7)
		自分も他の人に同じようなことをした (21.1)	相手にやり返した／仕返しをした (24.4)
		相手にやり返した／仕返しをした (15.8)	やめるよう言った／言ってもらった (23.1)
		やめるよう言った／言ってもらった (12.4)	気にしたり、考えたりしないようにした (22.8)
	身体的暴力①(軽度)	じつとがまんした (43.7)	じつとがまんした (53.7)
		相手にやり返した／仕返しをした (27.3)	相手にやり返した／仕返しをした (37.6)
		気にしたり、考えたりしないようにした (23.2)	自分も他の人に同じようなことをした (25.3)
		自分も他の人に同じようなことをした (13.3)	やつあたりや、いやがらせをした (23.6)
		やめるよう言った／言ってもらった (12.6)	気にしたり、考えたりしないようにした (21.0)
	身体的暴力②(重度)	じつとがまんした (46.1)	じつとがまんした (53.7)
		相手にやり返した／仕返しをした (24.2)	相手にやり返した／仕返しをした (37.0)
		気にしたり、考えたりしないようにした (21.9)	自分も他の人に同じようなことをした (26.3)
		自分も他の人に同じようなことをした (12.1)	酒を飲んだ／薬物を使用した (24.5)
		酒を飲んだ／薬物を使用した (11.5)	やつあたりや、いやがらせをした (21.5)
女子	恐喝	じつとがまんした (64.3)	じつとがまんした (57.1)
		気にしたり、考えたりしないようにした (21.4)	やめるよう言った／言ってもらった (37.1)
		何もしたくなかった (21.4)	酒を飲んだ／薬物を使用した (37.1)
		やめるよう言った／言ってもらった (14.3)	気にしたり、考えたりしないようにした (28.6)
		自分の体を傷つけた (14.3)	自殺しようとした (25.7) 自分の体を傷つけた (25.7)
	身体的暴力①(軽度)	じつとがまんした (53.8)	じつとがまんした (54.7)
		気にしたり、考えたりしないようにした (38.5)	相手にやり返した／仕返しをした (41.5)
		やめるよう言った／言ってもらった (19.2)	やめるよう言った／言ってもらった (37.7)
		何もしたくなかった (15.4)	酒を飲んだ／薬物を使用した (36.8)
		酒を飲んだ／薬物を使用した (15.4)	自分の体を傷つけた (23.6)
	身体的暴力②(重度)	じつとがまんした (40.0)	じつとがまんした (57.0)
		気にしたり、考えたりしないようにした (35.0)	酒を飲んだ／薬物を使用した (45.5)
		酒を飲んだ／薬物を使用した (30.0)	相手にやり返した／仕返しをした (38.8)
		相手にやり返した／仕返しをした (25.0)	やめるよう言った／言ってもらった (38.0)
		やめるよう言った／言ってもらった (22.5)	何もしたくなかった (22.3)

注1 法務総合研究所の調査による。

2 無回答を除く。

3 重複選択による。

4 ()内は、総数(資料p116参照)に対する比率である。

(2) 被害期間別

図15は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の一般反復群について、被害を受けた時の行動を、男女について被害期間別に見たもの（恐喝の女子は、グラフを省略した。）であるが、いくつかの項目について3群間で有意差が見られた。残差分析の結果、恐喝の男子では、「自分の体を傷つけた」及び「相手にやり返した／仕返しをした」が、中学生からの被害で有意に少なく、早発・長期間の被害で有意に多くなっている。

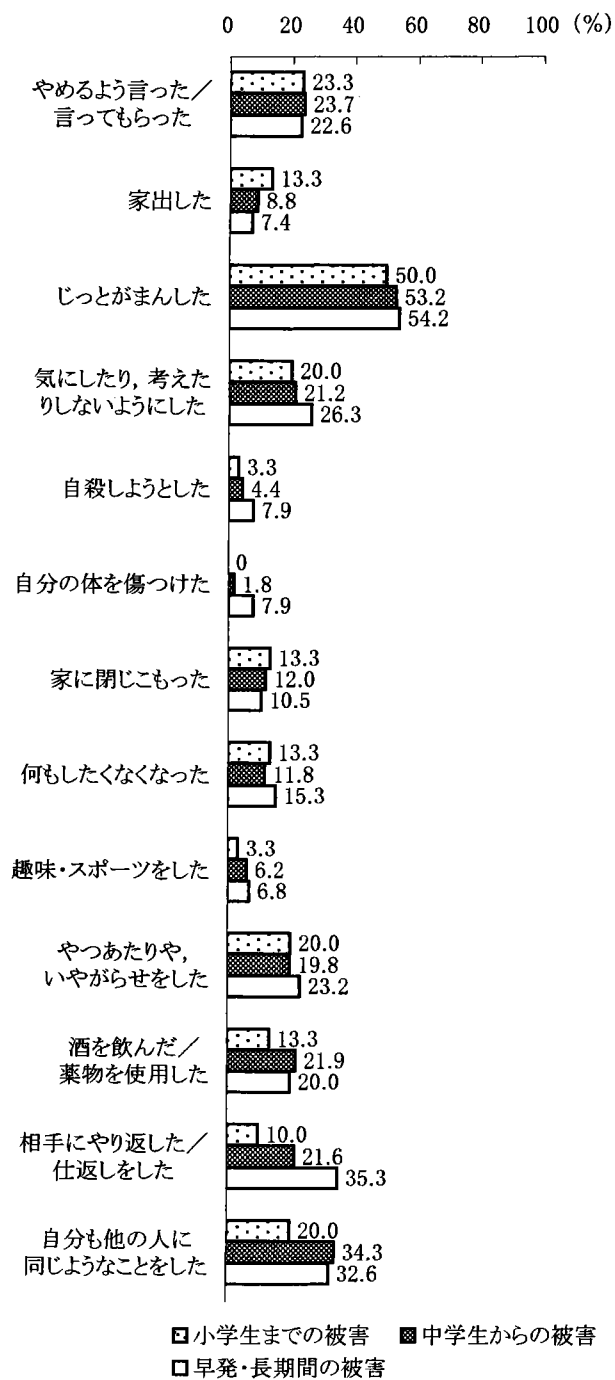
身体的暴力①では、男女とも、「やつあたりや、いやがらせをした」、「相手にやり返した／仕返しをした」及び「自分も他の人に同じようなことをした」が、中学生からの被害で有意に少なく、早発・長期間の被害で有意に多くなっている他、男子では「やめるよう言った／言ってもらった」が、女子では「酒を飲んだ／薬物を使用した」が、それぞれ早発・長期間の被害で有意に多くなっている。

身体的暴力②では、「家出した」、「やつあたりや、いやがらせをした」及び「自分も他の人に同じようなことをした」が、男女とも中学生からの被害で有意に少なく、早発・長期間の被害で有意に多くなっている。この他、男子では、「自殺しようとした」、「自分の体を傷つけた」、「趣味・スポーツをした」及び「相手にやり返した／仕返しをした」が同様の傾向にあり、女子では、「やめるよう言った／言ってもらった」が中学生からの被害で、「酒を飲んだ／薬物を使用した」が早発・長期間の被害で、それぞれ有意に多くなっている。

図15 身体的暴力等の被害にあった時の行動（一般反復群・被害期間別）

図15-1 恐喝

男子

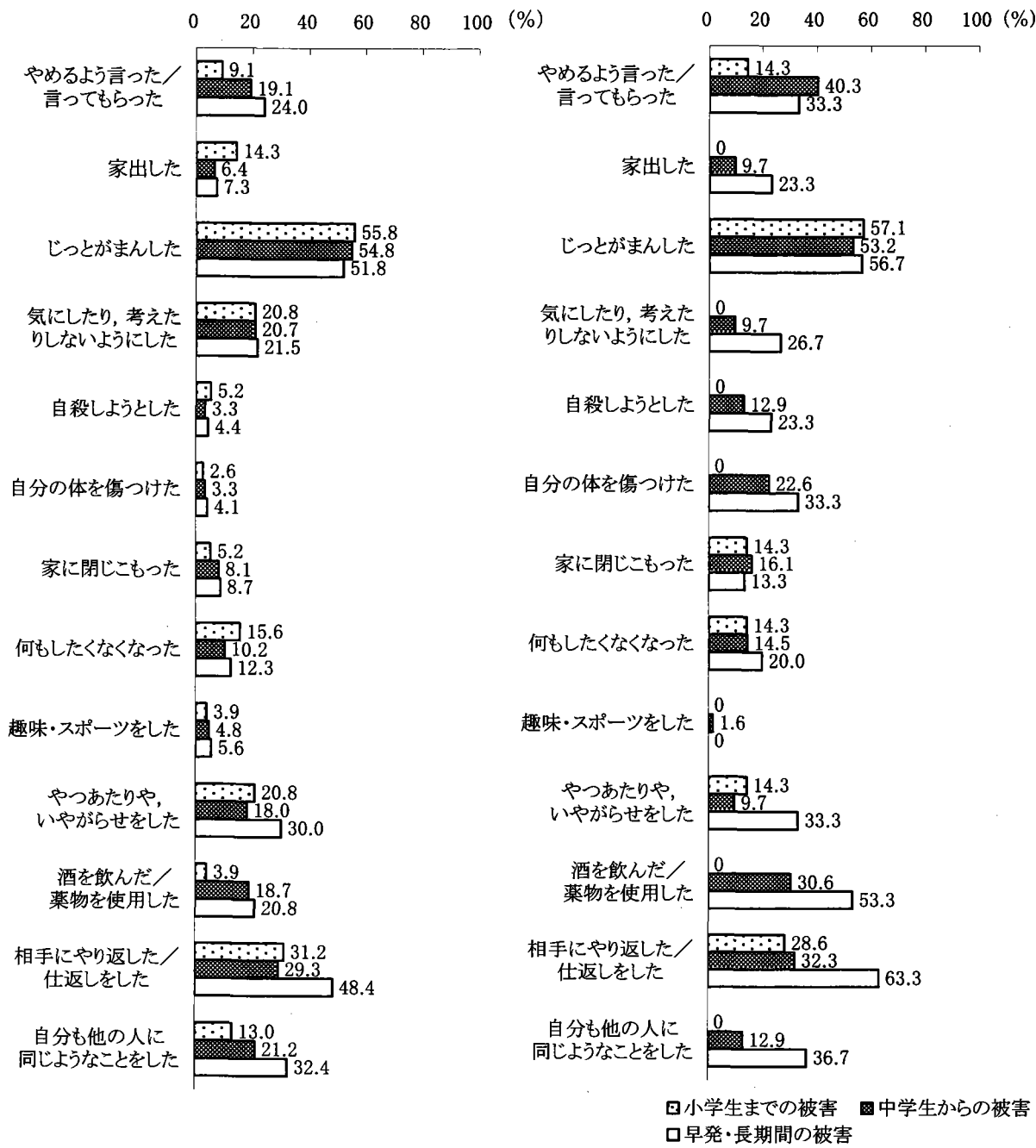


	男子					女子				
	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果
やめるよう言った／言ってもらった	7 (23.3)	134 (23.7)	43 (22.6)	184 (23.4)	$\chi^2(2)=0.086$ $p=0.958$	1 (50.0)	7 (31.8)	4 (57.1)	12 (38.7)	(m) $p=0.571$
家出した	4 (13.3)	50 (8.8)	14 (7.4)	68 (8.7)	$\chi^2(2)=1.252$ $p=0.535$	0 -	2 (9.1)	3 (42.9)	5 (16.1)	(m) $p=0.079$
じっとがまんした	15 (50.0)	301 (53.2)	103 (54.2)	419 (53.3)	$\chi^2(2)=0.198$ $p=0.906$	1 (50.0)	12 (54.5)	4 (57.1)	17 (54.8)	(m) $p=1.000$
気にしたり、考えた りしないようにした	6 (20.0)	120 (21.2)	50 (26.3)	176 (22.4)	$\chi^2(2)=2.244$ $p=0.326$	1 (50.0)	6 (27.3)	1 (14.3)	8 (25.8)	(m) $p=0.660$
自殺しようとした	1 (3.3)	25 (4.4)	15 (7.9)	41 (5.2)	$\chi^2(2)=3.703$ $p=0.157$	0 -	5 (22.7)	3 (42.9)	8 (25.8)	(m) $p=0.371$
自分の体を傷つけた	0 - [-1.0]	10 (1.8) ▼[-3.6]	15 (7.9) △[4.3]	25 (3.2)	$\chi^2(2)=18.371$ $p=0.000^{**}$	0 -	7 (31.8)	1 (14.3)	8 (25.8)	(m) $p=0.531$
家に閉じこもった	4 (13.3)	68 (12.0)	20 (10.5)	92 (11.7)	$\chi^2(2)=0.385$ $p=0.825$	0 -	4 (18.2)	2 (28.6)	6 (19.4)	(m) $p=0.752$
何もしたくなかった	4 (13.3)	67 (11.8)	29 (15.3)	100 (12.7)	$\chi^2(2)=1.514$ $p=0.469$	0 -	6 (27.3)	1 (14.3)	7 (22.6)	(m) $p=0.790$
趣味・スポーツをした	1 (3.3)	35 (6.2)	13 (6.8)	49 (6.2)	$\chi^2(2)=0.554$ $p=0.758$	0 -	0 -	0 -	0 -	-
やつあたりや、 いやがらせをした	6 (20.0)	112 (19.8)	44 (23.2)	162 (20.6)	$\chi^2(2)=0.994$ $p=0.608$	0 - [-0.6]	0 - ▼[-3.4]	4 (57.1) △[4.0]	4 (12.9)	(m) $p=0.002^{**}$
酒を飲んだ／ 薬物を使用した	4 (13.3)	124 (21.9)	38 (20.0)	166 (21.1)	$\chi^2(2)=1.446$ $p=0.485$	0 -	8 (36.4)	4 (57.1)	12 (38.7)	(m) $p=0.321$
相手にやり返した／ 仕返しをした	3 (10.0) [-1.9]	122 (21.6) ▼[-3.0]	67 (35.3) △[4.0]	192 (24.4)	$\chi^2(2)=17.997$ $p=0.000^{**}$	0 -	3 (13.6)	2 (28.6)	5 (16.1)	(m) $p=0.698$
自分も他の人に 同じようなことをした	6 (20.0)	194 (34.3)	62 (32.6)	262 (33.3)	$\chi^2(2)=2.668$ $p=0.263$	0 -	3 (13.6)	3 (42.9)	6 (19.4)	(m) $p=0.138$
総数	30	566	190	786		2	22	7	31	

図15-2 身体的暴力①（軽度）

男子

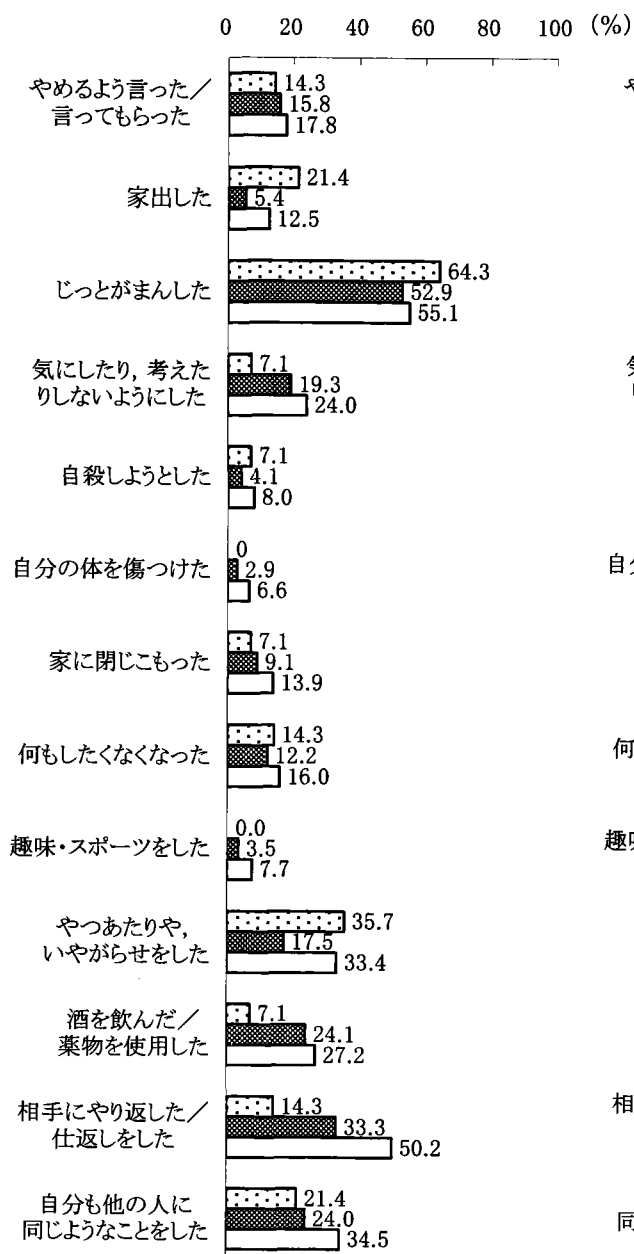
女子



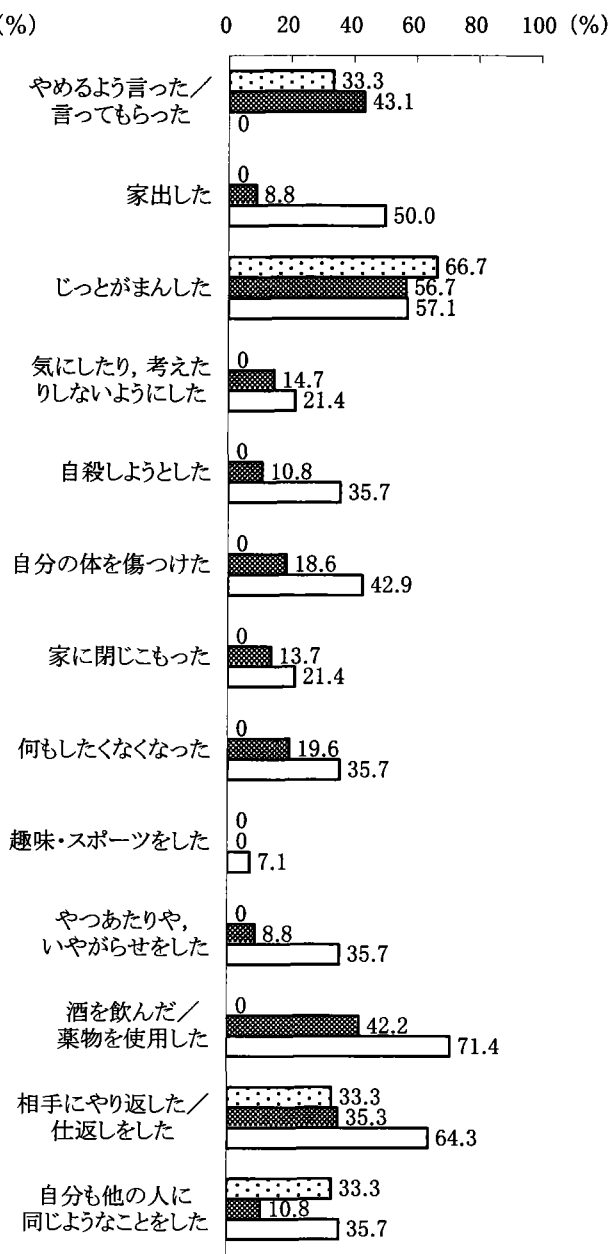
	男子					女子				
	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果
やめるよう言った／言ってもらった	7 (9.1) ▼[-2.6]	92 (19.1) [-1.0]	99 (24.0) △[2.4]	198 (20.4)	$\chi^2(2)=9.830$ $p=0.007^{**}$	1 (14.3)	25 (40.3)	10 (33.3)	36 (36.4)	(m) $p=0.355$
家出した	11 (14.3) △[2.4]	31 (6.4) [-1.2]	30 (7.3) [-0.1]	72 (7.4)	$\chi^2(2)=5.993$ $p=0.0499^*$	0 -	6 (9.7)	7 (23.3)	13 (13.1)	(m) $p=0.112$
じつとがまんした	43 (55.8)	264 (54.8)	214 (51.8)	521 (53.6)	$\chi^2(2)=0.951$ $p=0.622$	4 (57.1)	33 (53.2)	17 (56.7)	54 (54.5)	(m) $p=0.945$
気にしたり、考えたりしないようにした	16 (20.8)	100 (20.7)	89 (21.5)	205 (21.1)	$\chi^2(2)=0.091$ $p=0.956$	0 -	6 (9.7)	8 (26.7)	14 (14.1)	(m) $p=0.052$
自殺しようとした	4 (5.2)	16 (3.3)	18 (4.4)	38 (3.9)	$\chi^2(2)=1.007$ $p=0.604$	0 -	8 (12.9)	7 (23.3)	15 (15.2)	(m) $p=0.194$
自分の体を傷つけた	2 (2.6)	16 (3.3)	17 (4.1)	35 (3.6)	$\chi^2(2)=0.649$ $p=0.723$	0 -	14 (22.6)	10 (33.3)	24 (24.2)	(m) $p=0.181$
家に閉じこもった	4 (5.2)	39 (8.1)	36 (8.7)	79 (8.1)	$\chi^2(2)=1.080$ $p=0.583$	1 (14.3)	10 (16.1)	4 (13.3)	15 (15.2)	(m) $p=0.901$
何もしたくなかった	12 (15.6)	49 (10.2)	51 (12.3)	112 (11.5)	$\chi^2(2)=2.393$ $p=0.302$	1 (14.3)	9 (14.5)	6 (20.0)	16 (16.2)	(m) $p=0.815$
趣味・スポーツをした	3 (3.9)	23 (4.8)	23 (5.6)	49 (5.0)	$\chi^2(2)=0.536$ $p=0.765$	0 -	1 (1.6)	0 -	1 (1.0)	(m) $p=1.000$
やつあたりや、いやがらせをした	16 (20.8) [-0.6]	87 (18.0) ▼[-3.9]	124 (30.0) △[4.2]	227 (23.4)	$\chi^2(2)=18.127$ $p=0.000^{**}$	1 (14.3) [-0.2]	6 (9.7) ▼[-2.6]	10 (33.3) △[2.8]	17 (17.2)	$\chi^2(2)=7.999$ $p=0.018^*$
酒を飲んだ／薬物を使用した	3 (3.9) ▼[-3.4]	90 (18.7) [0.2]	86 (20.8) [1.7]	179 (18.4)	$\chi^2(2)=12.419$ $p=0.002^{**}$	0 - ▼[-2.0]	19 (30.6) [-1.3]	16 (53.3) △[2.5]	35 (35.4)	(m) $p=0.012^*$
相手にやり返した／仕返しをした	24 (31.2) [-1.2]	141 (29.3) ▼[-5.3]	200 (48.4) △[6.0]	365 (37.6)	$\chi^2(2)=36.319$ $p=0.000^{**}$	2 (28.6) [-0.7]	20 (32.3) ▼[-2.4]	19 (63.3) △[2.9]	41 (41.4)	(m) $p=0.011^*$
自分も他の人に同じようなことをした	10 (13.0) ▼[-2.6]	102 (21.2) ▼[-2.9]	134 (32.4) △[4.4]	246 (25.3)	$\chi^2(2)=21.581$ $p=0.000^{**}$	0 - [-1.3]	8 (12.9) ▼[-2.1]	11 (36.7) △[2.9]	19 (19.2)	$\chi^2(2)=9.151$ $p=0.011^*$
総数	77	482	413	972		7	62	30	99	

図15-3 身体的暴力②（重度）

男子



女子



■ 小学生までの被害 ■ 中学生からの被害
 □ 早発・長期間の被害

	男子					女子				
	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果
やめるよう言った／言ってもらった	2 (14.3)	141 (15.8)	51 (17.8)	194 (16.3)	$\chi^2(2)=0.655$ $p=0.721$	1 (33.3) [-0.2]	44 (43.1) $\Delta[2.9]$	0 - $\nabla[-3.1]$	45 (37.8)	(m) $p=0.003^{**}$
家出した	3 (21.4) $\Delta[2.0]$	48 (5.4) $\nabla[-4.4]$	36 (12.5) $\Delta[3.9]$	87 (7.3)	$\chi^2(2)=20.663$ $p=0.000^{**}$	0 - [-0.7]	9 (8.8) $\nabla[-3.6]$	7 (50.0) $\Delta[4.3]$	16 (13.4)	(m) $p=0.003^{**}$
じつとがまんした	9 (64.3)	472 (52.9)	158 (55.1)	639 (53.6)	$\chi^2(2)=1.054$ $p=0.590$	2 (66.7)	58 (56.9)	8 (57.1)	68 (57.1)	(m) $p=1.000$
気にしたり、考えたりしないようにした	1 (7.1)	172 (19.3)	69 (24.0)	242 (20.3)	$\chi^2(2)=4.555$ $p=0.103$	0 -	15 (14.7)	3 (21.4)	18 (15.1)	(m) $p=0.704$
自殺しようとした	1 (7.1) [0.3]	37 (4.1) $\nabla[-2.6]$	23 (8.0) $\Delta[2.6]$	61 (5.1)	$\chi^2(2)=6.809$ $p=0.033^*$	0 -	11 (10.8)	5 (35.7)	16 (13.4)	(m) $p=0.070$
自分の体を傷つけた	0 - [-0.7]	26 (2.9) $\nabla[-2.7]$	19 (6.6) $\Delta[2.9]$	45 (3.8)	$\chi^2(2)=8.769$ $p=0.012^*$	0 -	19 (18.6)	6 (42.9)	25 (21.0)	(m) $p=0.083$
家に閉じこもった	1 (7.1)	81 (9.1)	40 (13.9)	122 (10.2)	$\chi^2(2)=5.725$ $p=0.057$	0 -	14 (13.7)	3 (21.4)	17 (14.3)	(m) $p=0.702$
何もしたくなかった	2 (14.3)	109 (12.2)	46 (16.0)	157 (13.2)	$\chi^2(2)=2.771$ $p=0.250$	0 -	20 (19.6)	5 (35.7)	25 (21.0)	(m) $p=0.286$
趣味・スポーツをした	0 - [-0.8]	31 (3.5) $\nabla[-2.8]$	22 (7.7) $\Delta[3.0]$	53 (4.4)	$\chi^2(2)=9.639$ $p=0.008^{**}$	0 -	0 -	1 (7.1)	1 (0.8)	(m) $p=0.149$
やつあたりや、いやがらせをした	5 (35.7) [1.3]	156 (17.5) $\nabla[-5.9]$	96 (33.4) $\Delta[5.6]$	257 (21.5)	$\chi^2(2)=34.411$ $p=0.000^{**}$	0 - [-0.6]	9 (8.8) $\nabla[-2.4]$	5 (35.7) $\Delta[3.0]$	14 (11.8)	(m) $p=0.049^*$
酒を飲んだ／薬物を使用した	1 (7.1)	215 (24.1)	78 (27.2)	294 (24.6)	$\chi^2(2)=3.442$ $p=0.179$	0 - [-1.6]	43 (42.2) [-1.3]	10 (71.4) $\Delta[2.2]$	53 (44.5)	(m) $p=0.024^*$
相手にやり返した／仕返しをした	2 (14.3) [-1.8]	297 (33.3) $\nabla[-4.7]$	144 (50.2) $\Delta[5.2]$	443 (37.1)	$\chi^2(2)=29.665$ $p=0.000^{**}$	1 (33.3)	36 (35.3)	9 (64.3)	46 (38.7)	(m) $p=0.117$
自分も他の人に同じようなことをした	3 (21.4) [-0.4]	214 (24.0) $\nabla[-3.4]$	99 (34.5) $\Delta[3.5]$	316 (26.5)	$\chi^2(2)=12.489$ $p=0.002^{**}$	1 (33.3) [1.0]	11 (10.8) $\nabla[-2.7]$	5 (35.7) $\Delta[2.4]$	17 (14.3)	(m) $p=0.028^*$
総数	14	892	287	1,193		3	102	14	119	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 重複選択による。
4 ()内は、総数に対する比率である。
5 図1の注3に同じ。
6 図5の注7に同じ。
7 図9の注3に同じ。

5 身体的暴力等の終了

(1) 終了の有無

表8は、恐喝、身体的暴力①(軽度)及び②(重度)の被害経験のある者に対し、「その被害は、終わったと思いますか」(問6)と尋ねた結果を、男女について群別に見たものである。「終わった」とする者の比率を見ると、女子の恐喝の一般反復群で約60%とやや低くなっている他は、すべて70から80%台となっている。また、男子のすべての加害行為について群間に有為差が見られ、いずれの場合も、「終わっていない」とする者は一般反復群で有為に多くなっている。

表8 身体的暴力等の終了

		恐喝			身体的暴力①(軽度)			身体的暴力②(重度)		
		終わった	終わっていない	合計	終わった	終わっていない	合計	終わった	終わっていない	合計
男子	一般単回群	382 (80.8)	91 (19.2)	473 (100.0)	245 (83.6)	48 (16.4)	293 (100.0)	389 (83.1)	79 (16.9)	468 (100.0)
	一般反復群	622 (75.6)	201 (24.4)	823 (100.0)	785 (77.9)	223 (22.1)	1,008 (100.0)	887 (72.3)	340 (27.7)	1,227 (100.0)
	合計	1004 (77.5)	292 (22.5)	1,296 (100.0)	1030 (79.2)	271 (20.8)	1,301 (100.0)	1276 (75.3)	419 (24.7)	1,695 (100.0)
	検定結果	$\chi^2(2)=4.625$ $p=0.032^*$			$\chi^2(2)=4.537$ $p=0.033^*$			$\chi^2(2)=21.351$ $p=0.000^{**}$		
女子	一般単回群	10 (76.9)	3 (23.1)	13 (100.0)	23 (88.5)	3 (11.5)	26 (100.0)	32 (82.1)	7 (17.9)	39 (100.0)
	一般反復群	23 (63.9)	13 (36.1)	36 (100.0)	83 (78.3)	23 (21.7)	106 (100.0)	89 (73.6)	32 (26.4)	121 (100.0)
	合計	33 (67.3)	16 (32.7)	49 (100.0)	106 (80.3)	26 (19.7)	132 (100.0)	121 (75.6)	39 (24.4)	160 (100.0)
	検定結果	(f) $p=0.502$			$\chi^2(2)=1.362$ $p=0.243$			$\chi^2(2)=1.155$ $p=0.282$		

注1 法務総合研究所の調査による。

2 無回答を除く。

3 「終わっていない」は、「わからない」を含む。

4 ()内は、構成比である。

5 図4の注6に同じ。

6 図5の注7に同じ。

(2) 終了の理由

恐喝、身体的暴力①(軽度)及び②(重度)が「終わった」とする者に対し、「被害は、なぜ終わったと思いますか」(問6のa、重複選択)と尋ねた結果を見ると、いずれの加害行為も、男女ともまたどちらの群でも、「相手に会わなくなった」とする者の比率が最も高くなっている。次に高いものとしては、順位が多少前後するが、いずれの加害行為においても、男子では「自分の力が強くなった」、「自分がやり返した／自分が仕返しをした」であるのに対し、女子では「相手が反省した」、「自分が施設に入った」(ただし、恐喝のみ)、「自分が成長した／自分が反省した」となっている(資料p114, 120参照)。

男子について、いくつかの項目で群間で有意差が見られ、いずれの加害行為についても、「自分の力が強くなった」、「自分がやり返した／自分が仕返しをした」、「自分が施設に入った」で、一般反復群が有意に多くなっている。また、「自分が成長した／自分が反省した」(恐喝、②)及び「相手に会わなくなった」(②)も、それぞれ一般反復群が有為に多くなっている。

図16は、被害の終了の理由を一般反復群の男子について被害期間別に見たものである。「自分がやり返した／自分が仕返しをした」は、いずれの加害行為でも群間に有意差が見られ、残差分析の結果、早発・

長期間の被害で有意に多く、中学生からの被害で有意に少なくなっている。また、「自分の力が強くなった」は、身体的暴力①及び②で群別に有意差が見られ、残差分析の結果、早発・長期間の被害で有意に多く、中学生からの被害で有意に少なくなっているほか、身体的暴力①では、小学生までの被害でも有意に多くなっている。

図16 身体的暴力等の終了の理由（一般反復群男子・被害期間別）

図16-1 恐喝

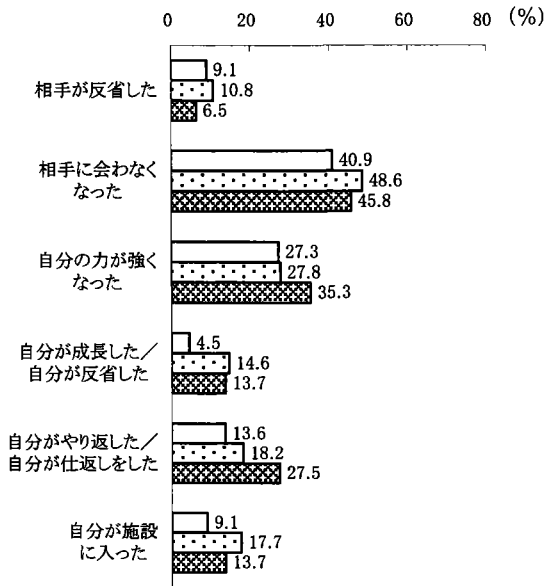


図16-2 身体的暴力①（軽度）

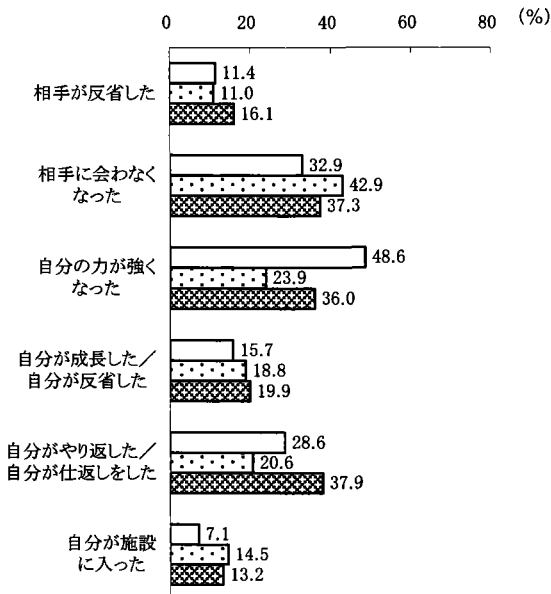
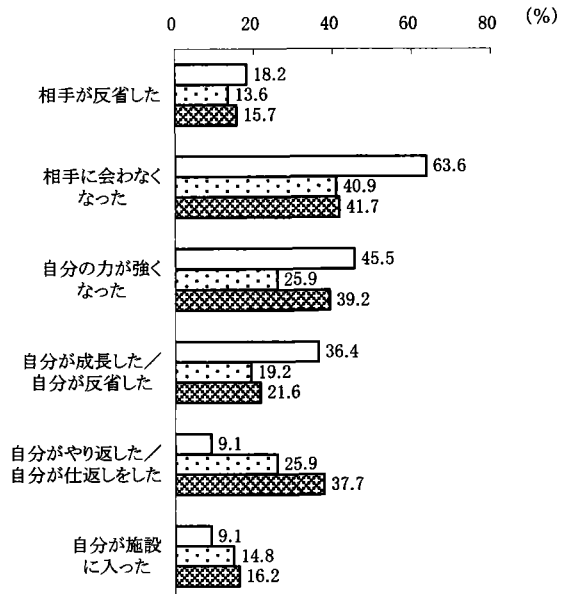


図16-3 身体的暴力②（重度）



□小学生までの被害 □中学生からの被害 ■早発・長期間の被害

		被害期間	相手が反省した	相手に会わなくなった	自分の力が強くなった	自分が成長した／自分が反省した	自分がやり返した／自分が仕返しをした	自分が施設に入った	総数
恐 喝	男子	小学生までの被害	2 (9.1)	9 (40.9)	6 (27.3)	1 (4.5)	3 (13.6) [-0.8]	2 (9.1)	22
		中学生からの被害	45 (10.8)	203 (48.6)	116 (27.8)	61 (14.6)	76 (18.2) ▼[-2.1]	74 (17.7)	418
		早発・長期間の被害	10 (6.5)	70 (45.8)	54 (35.3)	21 (13.7)	42 (27.5) △[2.5]	21 (13.7)	153
		合計	57 (9.6)	282 (47.6)	176 (29.7)	83 (14.0)	121 (20.4)	97 (16.4)	593
		検定結果	$\chi^2(2)=2.313$ p=0.315	$\chi^2(2)=0.760$ p=0.684	$\chi^2(2)=3.117$ p=0.210	$\chi^2(2)=1.765$ p=0.414	$\chi^2(2)=6.570$ p=0.037*	$\chi^2(2)=2.177$ p=0.337	
	女子	小学生までの被害	1	1	0	0	0	0	2
		中学生からの被害	2 (14.3)	9 (64.3)	1 (7.1)	1 (7.1)	1 (7.1)	3 (21.4)	14
		早発・長期間の被害	1	3	3	1	1	2	5
		合計	4 (19.0)	13 (61.9)	4 (19.0)	2 (9.5)	2 (9.5)	5 (23.8)	21
		検定結果	(m) p=0.699	(m) p=1.000	(m) p=0.057	(m) p=1.000	(m) p=1.000	(m) p=0.576	

		被害期間	相手が反省した	相手に会わなくなった	自分の力が強くなった	自分が成長した／自分が反省した	自分がやり返した／自分が仕返しをした	自分が施設に入った	総数
身体的暴力① (軽度)	男子	小学生までの被害	8 (11.4)	23 (32.9)	34 (48.6) △[3.3]	11 (15.7)	20 (28.6) [0.0]	5 (7.1)	70
		中学生からの被害	41 (11.0)	160 (42.9)	89 (23.9) ▼[-4.3]	70 (18.8)	77 (20.6) ▼[-4.7]	54 (14.5)	373
		早発・長期間の被害	50 (16.1)	116 (37.3)	112 (36.0) △[2.4]	62 (19.9)	118 (37.9) △[4.8]	41 (13.2)	311
		合計	99 (13.1)	299 (39.7)	235 (31.2)	143 (19.0)	215 (28.5)	100 (13.3)	754
		検定結果	$\chi^2(2)=4.041$ p=0.133	$\chi^2(2)=3.710$ p=0.156	$\chi^2(2)=22.570$ p=0.000**	$\chi^2(2)=0.676$ p=0.713	$\chi^2(2)=24.898$ p=0.000**	$\chi^2(2)=2.759$ p=0.252	
	女子	小学生までの被害	1	3 [0.2]	1	1	1	0	6
		中学生からの被害	10 (20.8)	32 (66.7) ▼[-3.1]	2 (4.2)	12 (25.0)	6 (12.5)	11 (22.9)	48
		早発・長期間の被害	7 (28.0)	17 (68.0) △[3.2]	8 (32.0)	5 (20.0)	9 (36.0)	5 (20.0)	25
		合計	18 (22.8)	52 (65.8)	11 (13.9)	18 (22.8)	16 (20.3)	16 (20.3)	79
		検定結果	(m) p=0.706	(m) p=0.758	(m) p=0.007**	(m) p=0.912	(m) p=0.064	(m) p=0.523	
身体的暴力② (重度)	男子	小学生までの被害	2 (18.2)	7 (63.6) [1.2]	5 (45.5)	4 (36.4)	1 (9.1) [-1.4]	1 (9.1)	11
		中学生からの被害	87 (13.6)	262 (40.9) ▼[-3.8]	166 (25.9) △[3.6]	123 (19.2)	166 (25.9) △[3.3]	95 (14.8)	641
		早発・長期間の被害	32 (15.7)	85 (41.7)	80 (39.2)	44 (21.6)	77 (37.7)	33 (16.2)	204
		合計	121 (14.1)	354 (41.4)	251 (29.3)	171 (20.0)	244 (28.5)	129 (15.1)	856
		検定結果	$\chi^2(2)=0.720$ p=0.698	$\chi^2(2)=2.321$ p=0.313	$\chi^2(2)=14.645$ p=0.001**	$\chi^2(2)=2.420$ p=0.298	$\chi^2(2)=12.720$ p=0.002**	$\chi^2(2)=0.534$ p=0.766	
	女子	小学生までの被害	1	0 △[2.8]	1	0	1	0	1
		中学生からの被害	21 (27.3)	54 (70.1) ▼[-2.8]	6 (7.8)	14 (18.2)	12 (15.6)	16 (20.8)	77
		早発・長期間の被害	3 (30.0)	5 (50.0) △[2.0]	3 (30.0)	1 (10.0)	3 (30.0)	4 (40.0)	10
		合計	25 (28.4)	59 (67.0)	10 (11.4)	15 (17.0)	16 (18.2)	20 (22.7)	88
		検定結果	(m) p=0.380	(m) p=0.143	(m) p=0.008**	(m) p=0.739	(m) p=0.079	(m) p=0.400	

注1 法務総合研究所の調査による。

2 無回答を除く。

3 重複選択による。

4 グラフ及び表は、各項目を選択したもののみを挙げている。

5 ()内は、総数に対する比率である。

6 図1の注3に同じ。

7 図5の注7に同じ。

8 図9の注3に同じ。

6 非行との関連についての認識

(1) 被害の状況別

恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）について、被害を受けた経験と非行との関連の有無についての認識（以下、「非行関連認識」という。）を見るために、「あなたは、その被害を受けたために非行に走るようになったと思いますか」（問7）と尋ねた。「思わない」（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせたもの。以下同じ。）とする者は、男子では、いずれの加害行為についても約60%（一般反復群）ないし約80%（一般単回群）となっており、女子では恐喝でどちらの群も約50%，身体的暴力①及び②で約60%（一般反復群）ないし約80%（一般単回群）となっている。一方、「思う」（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの。以下同じ）とする者は、女子の恐喝で約20%（一般単回群）ないし約30%（一般反復群）であるほかは、いずれの加害行為も、一般単回群が10%台、一般反復群が20%台である（資料 p121参照）。

また、いずれの加害行為についても、男子で群間に有意差が見られ、「思わない」は一般単回群で、「思う」及び「分からない」は一般反復群で、それぞれ有意に多くなっている。

図17は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の一般反復群の男子について、被害期間別に非行関連認識を見たものである。「思う」とする者の比率は、恐喝及び身体的暴力②で、小学生までの被害が最も低く、早発・長期間の被害で最も高くなっているのに対し、身体的暴力①で、中学生からの被害が最も低く、小学生までの被害で最も高くなっている。

図17 身体的暴力等の被害経験と非行の関連認識（一般反復群男子・被害期間別）

図17-1 恐喝

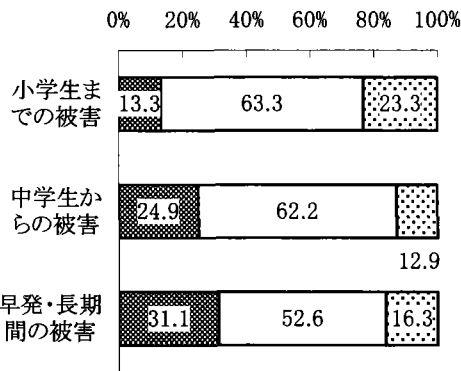


図17-2 身体的暴力①（軽度）

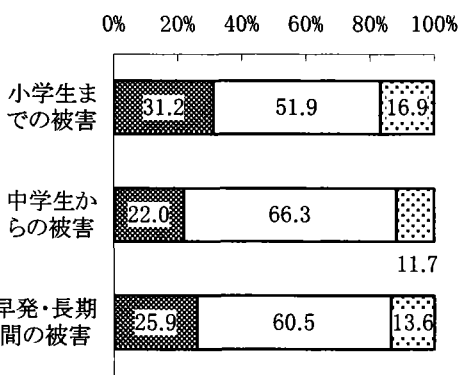
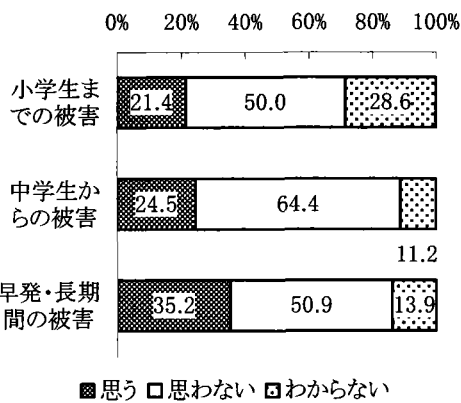


図17-3 身体的暴力②（重度）



		恐喝				検定結果
		思う	思わない	わからない	合計	
男子	小学生までの被害	4 (13.3)	19 (63.3)	7 (23.3)	30 (100.0)	$\chi^2(4)=9.262$ p=0.055
	中学生からの被害	141 (24.9)	352 (62.2)	73 (12.9)	566 (100.0)	
	早発・長期間の被害	59 (31.1)	100 (52.6)	31 (16.3)	190 (100.0)	
	合計	204 (26.0)	471 (59.9)	111 (14.1)	786 (100.0)	
女子	小学生までの被害	0	3	0	3	(m) p=0.273
	中学生からの被害	6 (27.3)	13 (59.1)	3 (13.6)	22 (100.0)	
	早発・長期間の被害	4	2	1	7	
	合計	10 (31.3)	18 (56.3)	4 (12.5)	32 (100.0)	

		身体的暴力①(軽度)				検定結果	身体的暴力②(重度)				検定結果
		思う	思わない	わからない	合計		思う	思わない	わからない	合計	
男子	小学生までの被害	24 (31.2)	40 (51.9)	13 (16.9)	77 (100.0)	$\chi^2(4)=7.324$ p=0.120	3 (21.4) [-0.5]	7 (50.0) [-0.8]	4 (28.6) [1.9]	14 (100.0)	$\chi^2(4)=20.652$ p=0.000**
	中学生からの被害	105 (22.0)	317 (66.3)	56 (11.7)	478 (100.0)		215 (24.5) ▼[-3.4]	565 (64.4) △[4.1]	98 (11.2) [-1.6]	878 (100.0)	
	早発・長期間の被害	107 (25.9)	250 (60.5)	56 (13.6)	413 (100.0)		101 (35.2) △[3.6]	146 (50.9) ▼[-4.0]	40 (13.9) [1.1]	287 (100.0)	
	合計	236 (24.4)	607 (62.7)	125 (12.9)	968 (100.0)		319 (27.1)	718 (60.9)	142 (12.0)	1,179 (100.0)	
女子	小学生までの被害	2	4	1	7	(m) p=0.285	0	2	1	3	(m) p=0.244
	中学生からの被害	11 (17.7)	45 (72.6)	6 (9.7)	62 (100.0)		23 (22.5)	67 (65.7)	12 (11.8)	102 (100.0)	
	早発・長期間の被害	11 (36.7)	15 (50.0)	4 (13.3)	30 (100.0)		6 (42.9)	6 (42.9)	2 (14.3)	14 (100.0)	
	合計	24 (24.2)	64 (64.6)	11 (11.1)	99 (100.0)		29 (24.4)	75 (63.0)	15 (12.6)	119 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 表1の注6に同じ。
5 図1の注3に同じ。
6 図9の注3に同じ。

図18は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の一般反復群の非行関連認識を、男女について最もひどい加害者別に見たものである（恐喝の女子は、グラフを省略した。）。いずれの加害行為についても男子で有意差が見られ、恐喝では、友達等で「思う」が、全く知らない人で「思わない」が、それぞれ有意に多くなっている。身体的暴力①では、先生で「思う」が、先輩及び全く知らない人で「思わない」が、それぞれ有意に多くなっている。身体的暴力②では、友達等及び先生で「思う」が、全く知らない人で「思わない」が、それぞれ有意に多くなっている。

図18 身体的暴力等の被害経験と非行の関連認識（一般反復群・最もひどい加害者別）

図18-1 恐喝

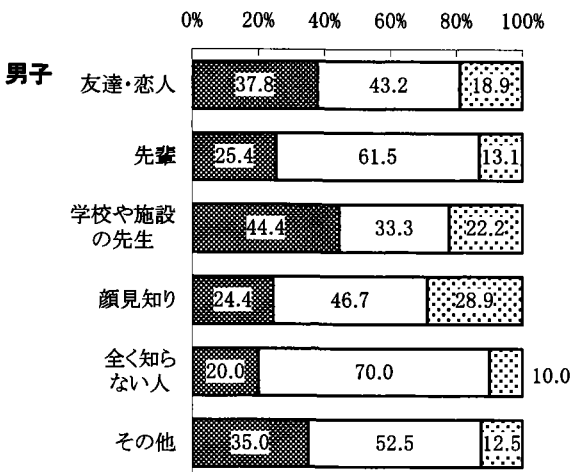


図18-2 身体的暴力①（軽度）

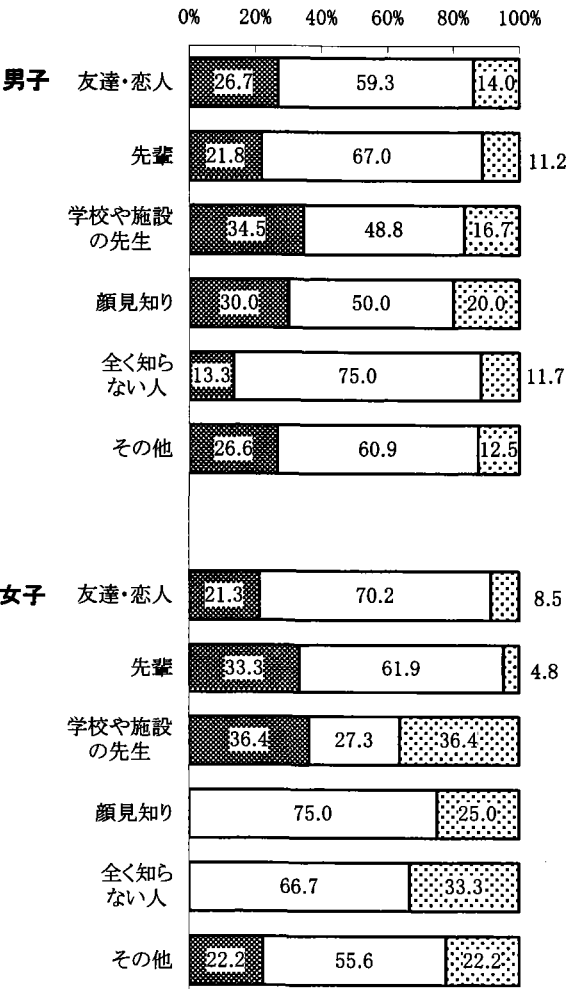
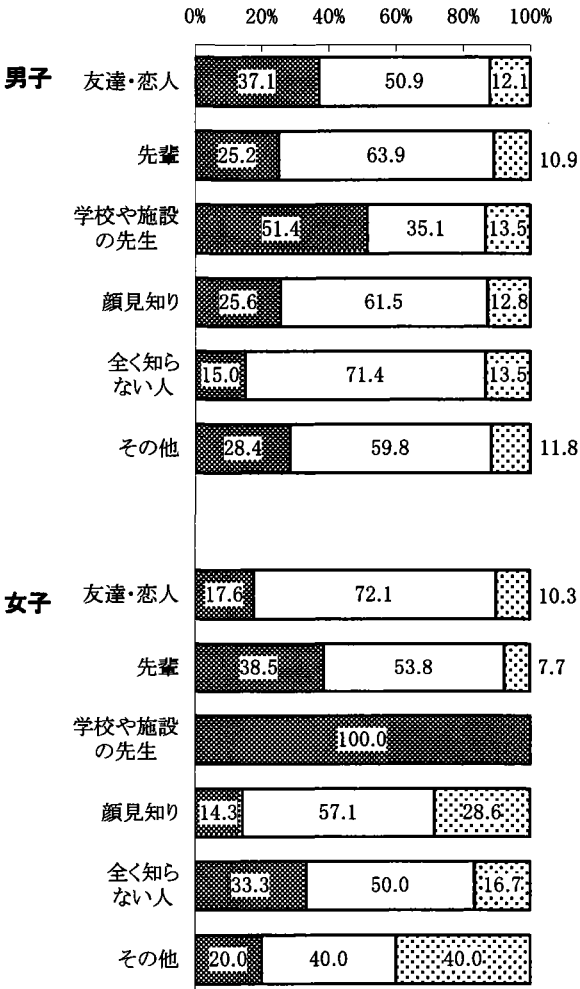


図18-3 身体的暴力②（重度）



■思う □思わない □わからない

		恐喝				検定結果
		思う	思わない	わからない	合計	
男子	友達 恋人	28 (37.8) △[2.4]	32 (43.2) ▼[-3.0]	14 (18.9) [1.3]	74 (100.0)	$\chi^2(10)=27.825$ p=0.002**
	先輩	115 (25.4) [-0.7]	278 (61.5) [1.3]	59 (13.1) [-1.0]	452 (100.0)	
	学校や施設 の先生	4 [1.2]	3 [-1.6]	2 [0.7]	9	
	顔見知り	11 (24.4) [-0.3]	21 (46.7) [-1.8]	13 (28.9) △[2.9]	45 (100.0)	
	全く知らない人	28 (20.0) [-1.9]	98 (70.0) △[2.8]	14 (10.0) [-1.5]	140 (100.0)	
	その他	14 (35.0) [1.3]	21 (52.5) [-0.9]	5 (12.5) [-0.3]	40 (100.0)	
	合計	200 (26.3)	453 (59.6)	107 (14.1)	760 (100.0)	
女子	友達 恋人	3	4	1	8	(m) p=0.931
	先輩	5 (41.7)	5 (41.7)	2 (16.7)	12 (100.0)	
	学校や施設 の先生	0	0	0	0	
	顔見知り	2	4	1	7	
	全く知らない人	0	3	1	4	
	その他	0	1	0	1	
	合計	10 (31.3)	17 (53.1)	5 (15.6)	32 (100.0)	

		身体的暴力①(軽度)				検定結果	身体的暴力②(重度)				検定結果
		思う	思わない	わからない	合計		思う	思わない	わからない	合計	
男子	友達 恋人	46 (26.7) [0.9]	102 (59.3) [-1.1]	24 (14.0) [0.5]	172 (100.0)	$\chi^2(10)=19.328$ p=0.036*	43 (37.1) △[2.7]	59 (50.9) ▼[-2.6]	14 (12.1) [0.1]	116 (100.0)	$\chi^2(10)=30.598$ p=0.001**
	先輩	101 (21.8) [-1.7]	310 (67.0) △[2.5]	52 (11.2) [-1.5]	463 (100.0)		152 (25.2) [-1.1]	386 (63.9) [1.6]	66 (10.9) [-0.9]	604 (100.0)	
	学校や施 設の先生	29 (34.5) △[2.3]	41 (48.8) ▼[-2.8]	14 (16.7) [1.1]	84 (100.0)		19 (51.4) △[3.5]	13 (35.1) ▼[-3.4]	5 (13.5) [0.4]	37 (100.0)	
	顔見知り	12 (30.0) [0.9]	20 (50.0) [-1.8]	8 (20.0) [1.4]	40 (100.0)		20 (25.6) [-0.2]	48 (61.5) [-0.1]	10 (12.8) [0.3]	78 (100.0)	
	全く知ら ない人	8 (13.3) ▼[-2.0]	45 (75.0) △[2.0]	7 (11.7) [-0.3]	60 (100.0)		20 (15.0) ▼[-3.2]	95 (71.4) △[2.4]	18 (13.5) [0.7]	133 (100.0)	
	その他	17 (26.6) [0.5]	39 (60.9) [-0.4]	8 (12.5) [-0.1]	64 (100.0)		29 (28.4) [0.5]	61 (59.8) [-0.5]	12 (11.8) [0.0]	102 (100.0)	
	合計	213 (24.1)	557 (63.1)	113 (12.8)	883 (100.0)		283 (26.4)	662 (61.9)	125 (11.7)	1,070 (100.0)	
女子	友達 恋人	10 (21.3)	33 (70.2)	4 (8.5)	47 (100.0)	(m) p=0.157	12 (17.6)	49 (72.1)	7 (10.3)	68 (100.0)	(m) p=0.155
	先輩	7 (33.3)	13 (61.9)	1 (4.8)	21 (100.0)		10 (38.5)	14 (53.8)	2 (7.7)	26 (100.0)	
	学校や施 設の先生	4 (36.4)	3 (27.3)	4 (36.4)	11 (100.0)		1	0	0	1	
	顔見知り	0	3	1	4		1	4	2	7	
	全く知ら ない人	0	2	1	3		2	3	1	6	
	その他	2	5	2	9		1	2	2	5	
	合計	23 (24.2)	59 (62.1)	13 (13.7)	95 (100.0)		27 (23.9)	72 (63.7)	14 (12.4)	113 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 「その他」は、「仕事関係の人」、「同居していない親類の人」及び「相手を見ていない」を含む。
5 図1の注3に同じ。
6 図5の注7に同じ。
7 図9の注3に同じ。

(2) 被害経験の表出時の状況別

図19は、恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の被害経験者の非行関連認識を、被害経験の話をして信じてくれた他者の有無別（女子の恐喝は、グラフを省略した。）に見たものである。いずれの加害行為についても、被害経験を信じてくれた人がいたとする者の方が、「思わない」とする比率が高いが、恐喝を除き、統計的な有意差は見られない。

図19 身体的暴力等の被害経験と非行の関連認識（信じてくれた人の有無別）

図19-1 恐喝

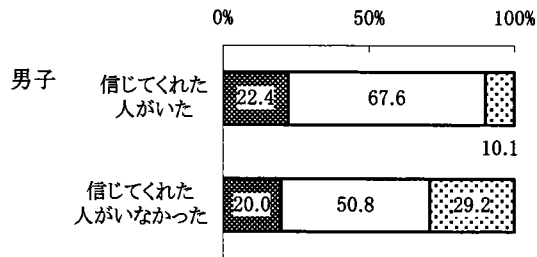


図19-2 身体的暴力①（軽度）

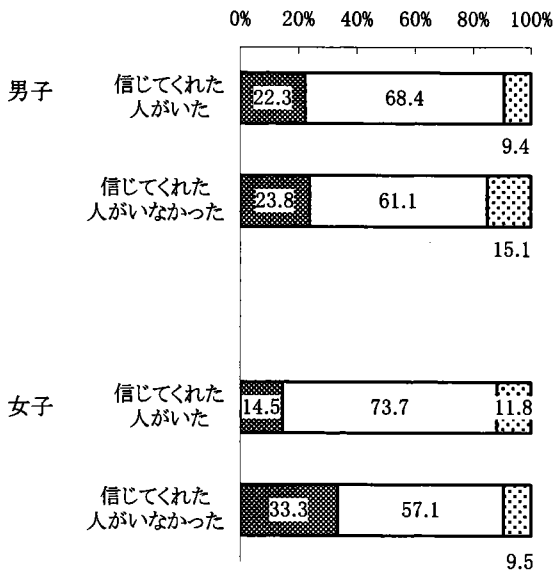
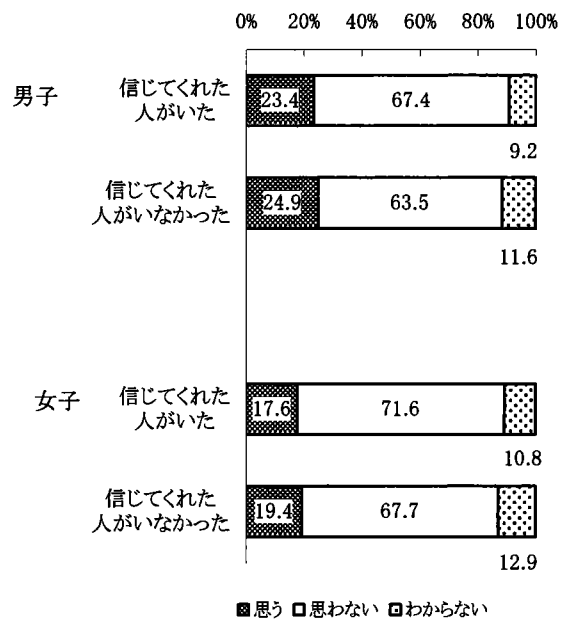


図19-3 身体的暴力②（重度）



		恐喝				検定結果
		思う	思わない	わからない	合計	
男子	信じてくれた人がいた	160 (22.4) [0.4]	483 (67.6) △[2.7]	72 (10.1) ▼[-4.6]	715 (100.0)	$\chi^2(2)=21.439$ $p=0.000^{**}$
	信じてくれた人がいなかった	13 (20.0) [-0.4]	33 (50.8) ▼[-2.7]	19 (29.2) △[4.6]	65 (100.0)	
	合計	173 (22.2)	516 (66.2)	91 (11.7)	780 (100.0)	
女子	信じてくれた人がいた	9 (27.3)	18 (54.5)	6 (18.2)	33 (100.0)	(m) $p=0.849$
	信じてくれた人がいなかった	1	5	1	7	
	合計	10 (25.0)	23 (57.5)	7 (17.5)	40 (100.0)	

		身体的暴力①(軽度)				検定結果	身体的暴力②(重度)				検定結果
		思う	思わない	わからない	合計		思う	思わない	わからない	合計	
男子	信じてくれた人がいた	126 (22.3)	387 (68.4)	53 (9.4)	566 (100.0)	$\chi^2(2)=5.562$ $p=0.062$	195 (23.4)	563 (67.4)	77 (9.2)	835 (100.0)	$\chi^2(2)=2.214$ $p=0.331$
	信じてくれた人がいなかった	44 (23.8)	113 (61.1)	28 (15.1)	185 (100.0)		86 (24.9)	219 (63.5)	40 (11.6)	345 (100.0)	
	合計	170 (22.6)	500 (66.6)	81 (10.8)	751 (100.0)		281 (23.8)	782 (66.3)	117 (9.9)	1,180 (100.0)	
女子	信じてくれた人がいた	11 (14.5)	56 (73.7)	9 (11.8)	76 (100.0)	(m) $p=0.168$	18 (17.6)	73 (71.6)	11 (10.8)	102 (100.0)	(m) $p=0.897$
	信じてくれた人がいなかった	7 (33.3)	12 (57.1)	2 (9.5)	21 (100.0)		6 (19.4)	21 (67.7)	4 (12.9)	31 (100.0)	
	合計	18 (18.6)	68 (70.1)	11 (11.3)	97 (100.0)		24 (18.0)	94 (70.7)	15 (11.3)	133 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 「信じてくれた人がいなかった」は、「わからない」を含む。
5 表1の注6に同じ。
6 図1の注3に同じ。
7 図9の注3に同じ。

(3) 被害を受けた時の行動との関連

恐喝、身体的暴力①（軽度）及び②（重度）の一般反復群の男子について、非行関連認識と被害時の行動の関係をコレスポネンス分析^(注1)で見たものが図20である。

恐喝を見ると、「思わない」とする者は、被害時に「じっとがまんした」、「気にしたり、考えたりしないようにした」、「相手にやり返した／仕返しをした」が多く、「思う」とする者は、「家出した」、「家に閉じこもった」が多く、「わからない」とする者は、「何もしたくなくなった」、「趣味・スポーツをした」が多くなっている。

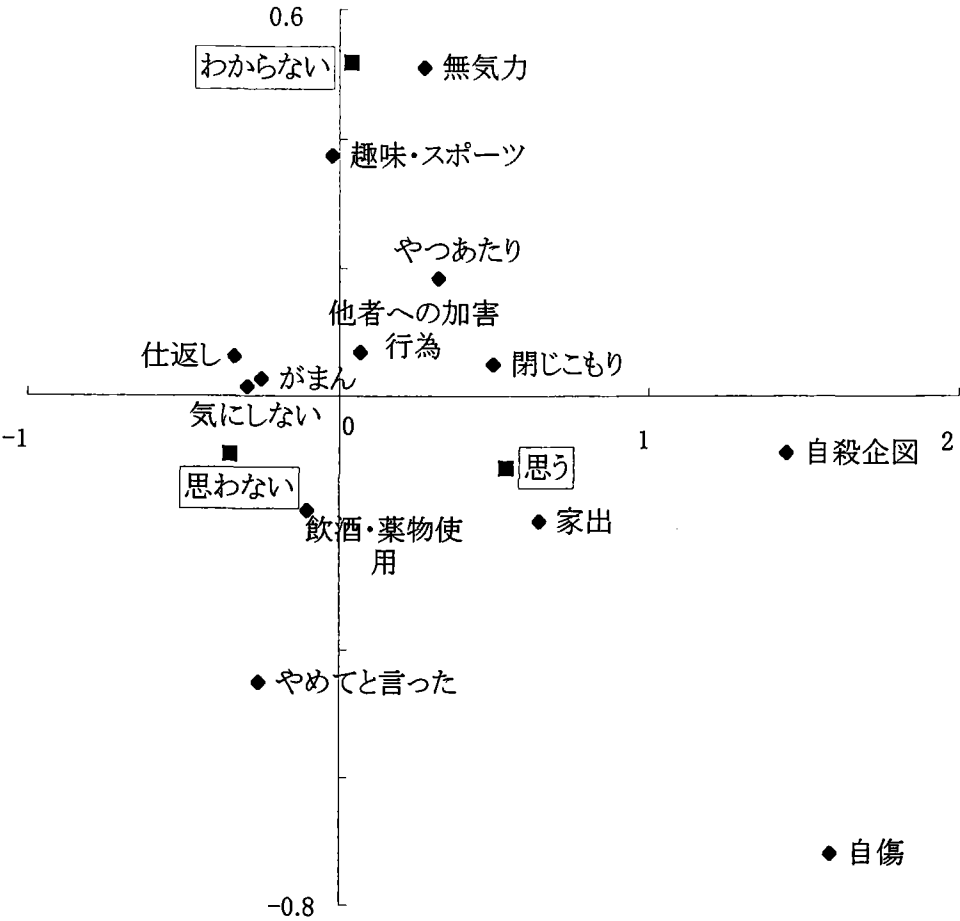
身体的暴力①を見ると、「思わない」とする者は、被害時に「やめるよう言った／言ってもらった」、「じっとがまんした」、「気にしたり、考えたりしないようにした」、「相手にやり返した／仕返しをした」が多く、「思う」とする者は、「家に閉じこもった」、「やつあたりや、いやがらせをした」、「酒を飲んだ／薬物を使用した」、「自分も他の人に同じようなことをした」が多く、「わからない」とする者は、「趣味・スポーツをした」が多くなっている。

身体的暴力②を見ると、「思わない」とする者は、被害時に「じっとがまんした」、「気にしたり、考えたりしないようにした」、「相手にやり返した／仕返しをした」が多く、「思う」とする者は、「家に閉じこもった」、「趣味・スポーツをした」、「やつあたりや、いやがらせをした」、「酒を飲んだ／薬物を使用した」、「自分も他の人に同じようなことをした」が多く、「わからない」とする者は、「何もしたくなくなった」が多くなっている。

(注1) コレスポネンス分析とは、数量化Ⅲ類と同等の手法で、カテゴリー同士の関連性や位置づけを明らかにするものである。

図20 身体的暴力等を受けた時の行動（一般反復群男子・身体的暴力等の被害経験と非行の関連認識別）

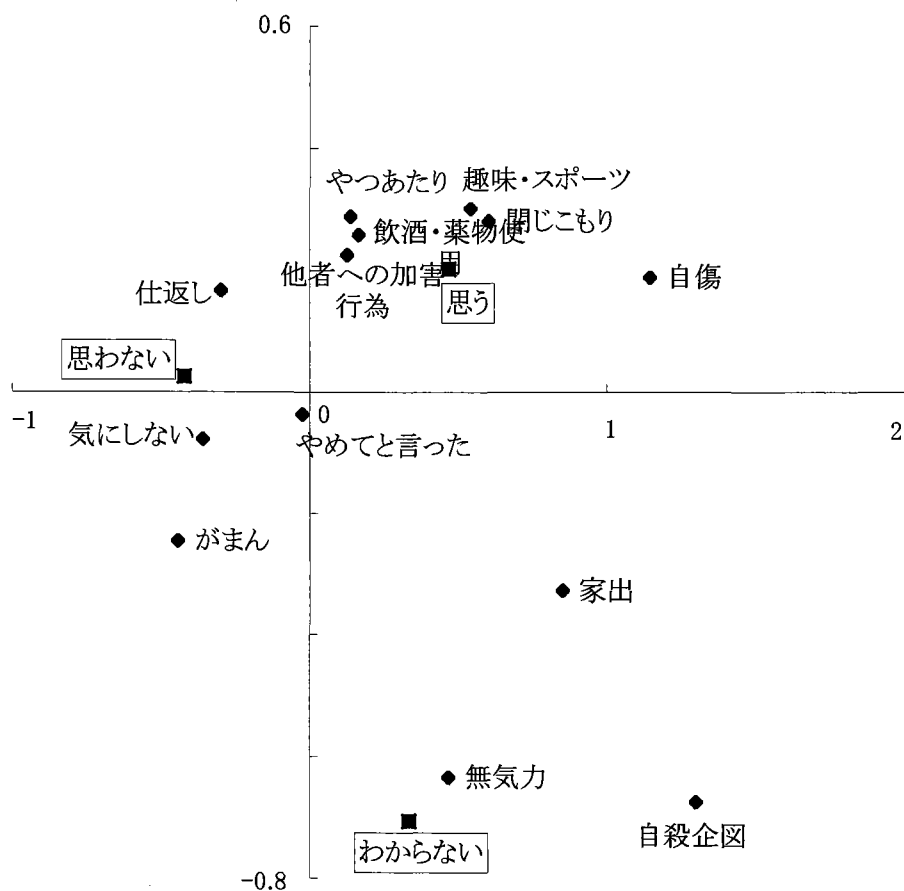
図20-1 恐喝



	グラフのラベル	対応する選択肢	次元の得点	
			1	2
非行との 関連認識	思う		0.54	-0.11
	思わない		-0.35	-0.09
	わからない		0.04	0.52
被害を受 けた時の 行動	やめてと言った	やめるよう言った／言ってもらった	-0.26	-0.45
	家出	家出した	0.65	-0.20
	がまん	じっとがまんした	-0.25	0.03
	気にしない	気にしたり, 考えたりしないようにした	-0.30	0.01
	自殺企図	自殺しようとした	1.44	-0.09
	自傷	自分の体を傷つけた	1.59	-0.72
	閉じこもり	家に閉じこもった	0.50	0.05
	無気力	何もしたくなかった	0.28	0.51
	趣味・スポーツ	趣味・スポーツをした	-0.02	0.37
	やっあたり	やっあたりや, いやがらせをした	0.32	0.18
	飲酒・薬物使用	酒を飲んだ／薬物を使用した	-0.10	-0.18
	仕返し	相手にやり返した／仕返しをした	-0.34	0.06
	他者への加害行為	自分も他の人に同じようなことをした	0.07	0.07

	グラフのラベル	対応する選択肢	次元の得点	
			1	2
非行との 関連認識	思う		0.58	0.14
	思わない		-0.39	0.04
	わからない		0.24	-0.48
被害を受けた時の 行動	やめてと言った	やめるよう言った／言ってもらった	-0.46	-0.01
	家出	家出した	1.06	0.50
	がまん	じつとがまんした	-0.36	0.02
	気にしない	気にしたり、考えたりしないようにした	-0.29	-0.28
	自殺企図	自殺しようとした	1.56	-0.41
	自傷	自分の体を傷つけた	0.83	-0.65
	閉じこもり	家に閉じこもった	0.61	0.22
	無気力	何もしたくなくなった	0.21	-0.23
	趣味・スポーツ	趣味・スポーツをした	0.33	-0.45
	やつあたり	やつあたりや、いやがらせをした	0.24	0.22
	飲酒・薬物使用	酒を飲んだ／薬物を使用した	0.31	-0.07
	仕返し	相手にやり返した／仕返しをした	-0.30	0.13
	他者への加害行為	自分も他の人に同じようなことをした	0.33	-0.00

図20-3 身体的暴力②（重度）



	グラフのラベル	対応する選択肢	次元の得点	
			1	2
非行との関連認識	思う		0.47	0.20
	思わない		-0.42	0.03
	わからない		0.33	-0.71
被害を受けた時の行動	やめてと言った	やめるよう言った／言ってもらった	-0.02	-0.04
	家出	家出した	0.85	-0.33
	がまん	じっとがまんした	-0.44	-0.25
	気にしない	気にしたり、考えたりしないようにした	-0.36	-0.08
	自殺企図	自殺しようとした	1.30	-0.68
	自傷	自分の体を傷つけた	1.14	0.19
	閉じこもり	家に閉じこもった	0.60	0.28
	無気力	何もしたくなくなった	0.47	-0.64
	趣味・スポーツ	趣味・スポーツをした	0.54	0.30
	やっあたり	やっあたりや、いやがらせをした	0.14	0.29
	飲酒・薬物使用	酒を飲んだ／薬物を使用した	0.17	0.26
	仕返し	相手にやり返した／仕返しをした	-0.30	0.17
	他者への加害行為	自分も他の人に同じようなことをした	0.13	0.23

注1 法務総合研究所の調査による。

2 無回答を除く。

3 「被害を受けた時の行動」については、重複選択による。

第11 家族以外の者からの性的暴力

1 全体的な被害状況

表 9 は、家族以外の者からの性的暴力の被害状況を、男女別に見たものである。男子で約19％、女子で約78％が、家族以外の者から性的暴力を受けたことがあり、男女を比べると、女子で一般単回被害のみ群及び一般反復被害あり群が有意に多くなっている。

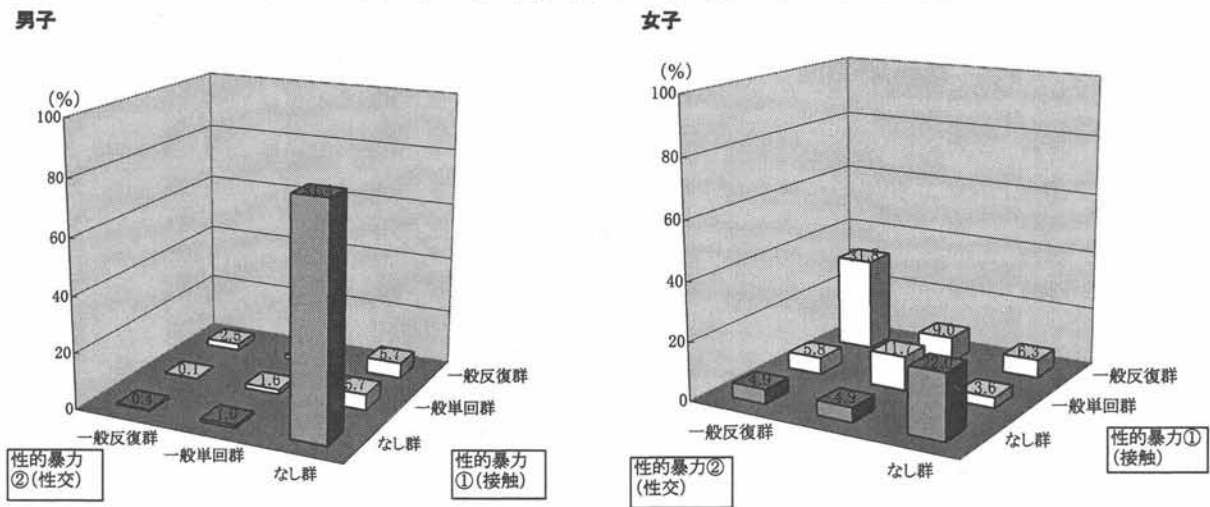
表 9 家族以外の者からの性的暴力の被害状況

	経験なし群	単回被害 経験のみ群	反復被害 経験あり群	合計	検定結果
男子	1,717 (81.4) △[19.9]	176 (8.3) ▼[-5.6]	217 (10.3) ▼[-19.3]	2,110 (100.0)	$\chi^2(2)=441.523$ p=0.000**
女子	49 (21.7) ▼[-19.9]	45 (19.9) △[5.6]	132 (58.4) △[19.3]	226 (100.0)	
合計	1,766 (75.6)	221 (9.5)	349 (14.9)	2,336 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 「経験なし群」とは、家族以外の者から性的暴力を受けた経験の全くないものをいう。
4 「単回被害経験のみ群」とは、家族以外の者からの性的暴力①、②について、少なくとも一つの一般単回被害経験があり、一般反復被害経験は全くないものをいう。
5 「反復被害経験あり群」とは、家族以外の者からの性的暴力①、②について、少なくとも一つの一般反復被害経験のあるものをいう。
6 ()内は、構成比である。
7 表1の注6に同じ。
8 図1の注3に同じ。

図21は、性的暴力①（接触）及び同②（性交）の被害状況を男女別に見たものである。男子では、どちらの被害経験もなしとする者が約80％を占め、次いで、いずれも性的暴力②の被害経験はないが、性的暴力①について一度だけ被害経験がある者及び繰り返し被害経験がある者が、それぞれ約6％である。女子では、性的暴力①及び②双方の反復被害経験がある者が約30％、次いで、どちらの被害経験もなしとする者が約20％となっている。

図21 性的暴力①（接触）及び②（性交）の被害状況



		男子				女子			
		性的暴力②(性交)				性的暴力②(性交)			
		なし群	一般単回群	一般反復群	合計	なし群	一般単回群	一般反復群	合計
性的暴力①(接触)	なし群	1,717 (81.4) △[21.2]	22 (1.0) ▼[-14.6]	9 (0.4) ▼[-15.0]	1,748 (82.9)	49 (22.0) △[8.1]	11 (4.9) ▼[-2.4]	11 (4.9) ▼[-5.6]	71 (31.8)
	一般単回群	120 (5.7) ▼[-8.2]	34 (1.6) △[11.5]	3 (0.1) [-0.9]	157 (7.4)	8 (3.6) ▼[-2.5]	26 (11.7) △[5.3]	13 (5.8) ▼[-2.3]	47 (21.1)
	一般反復群	120 (5.7) ▼[-19.7]	31 (1.5) △[8.4]	53 (2.5) △[19.9]	204 (9.7)	14 (6.3) ▼[-5.6]	20 (9.0) ▼[-2.1]	71 (31.8) △[7.1]	105 (47.1)
	合計	1,957 (92.8)	87 (4.1)	65 (3.1)	2,109 (100.0)	71 (31.8)	57 (25.6)	95 (42.6)	223 (100.0)
検定結果		$\chi^2(4)=632.991$ p=0.000**				$\chi^2(4)=96.332$ p=0.000**			

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 表1の注6に同じ。
5 図1の注3に同じ。

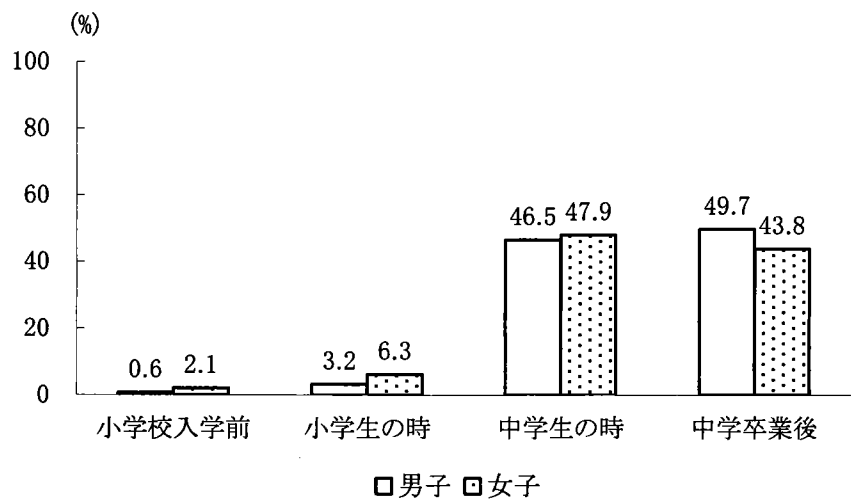
2 性的暴力を受けた時期及び加害者

(1) 性的暴力を受けた時期

図22は、性的暴力①（接触）及び②（性交）の一般単回群について、被害を経験した時期を男女別に見たものである。最も多くの者が被害を経験した時期は、性的暴力①で、男子は中学卒業後、女子は中学生の時である。性的暴力②で、男女とも中学卒業後である。

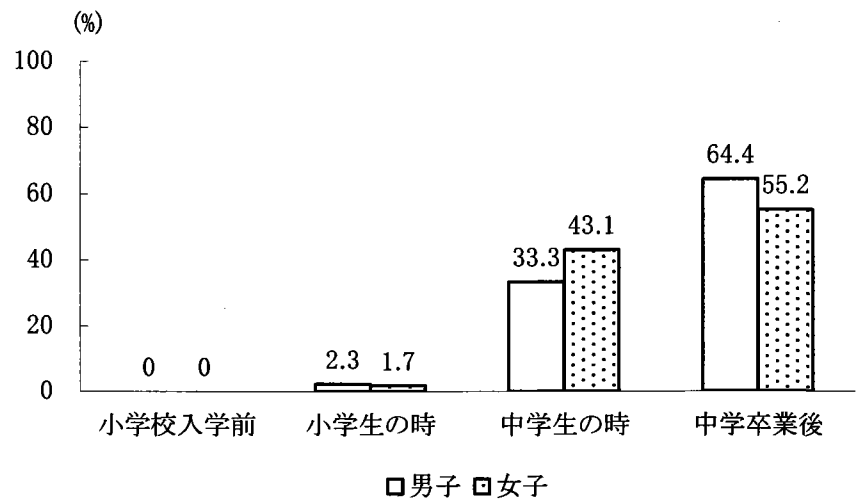
図22 性的暴力を受けた時期（一般単回群）

図22- 1 性的暴力①（接触）



	小学校入学前	小学生の時	中学生の時	中学卒業後	総数
男子	1 (0.6)	5 (3.2)	73 (46.5)	78 (49.7)	157
女子	1 (2.1)	3 (6.3)	23 (47.9)	21 (43.8)	48
合計	2 (1.0)	8 (3.9)	96 (46.8)	99 (48.3)	205
検定結果	(f) p=0.414	(f) p=0.394	$\chi^2(1)=0.030$ p=0.863	$\chi^2(1)=0.518$ p=0.472	

図22- 2 性的暴力②（性交）



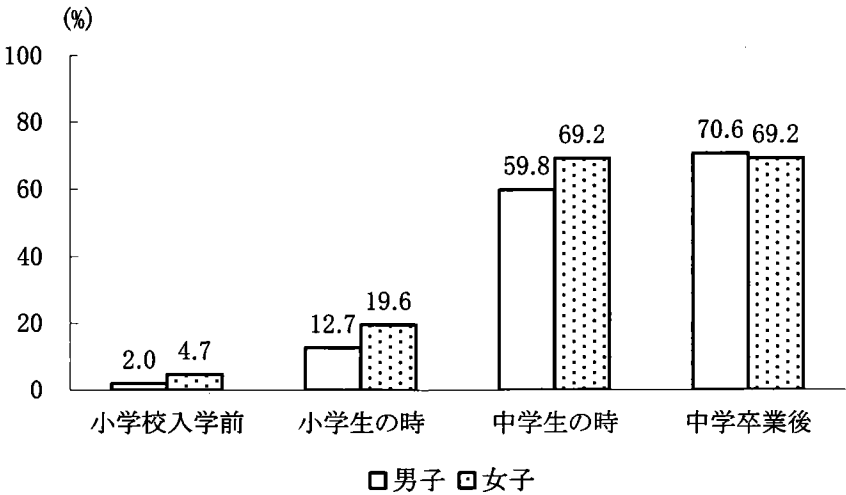
	小学校 入学前	小学生の時	中学生の時	中学卒業後	総数
男子	0 -	2 (2.3)	29 (33.3)	56 (64.4)	87
女子	0 -	1 (1.7)	25 (43.1)	32 (55.2)	58
合計	0 -	3 (2.1)	54 (37.2)	88 (60.7)	145
検定 結果	-	(f) p=1.000	$\chi^2(1)=1.421$ p=0.233	$\chi^2(1)=1.233$ p=0.267	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 重複選択による。
4 「いつだったか覚えていない」を除く。
5 ()内は、総数に対する比率である。
6 図4の注6に同じ。
7 図14の注6に同じ。

図23は、一般反復群について同様に見たものである。最も多くの者が性的暴力①（接触）を受けた時期は、男子が中学卒業後、女子が中学生の時及び中学卒業後である。性的暴力②（性交）については、男女とも中学卒業後である。

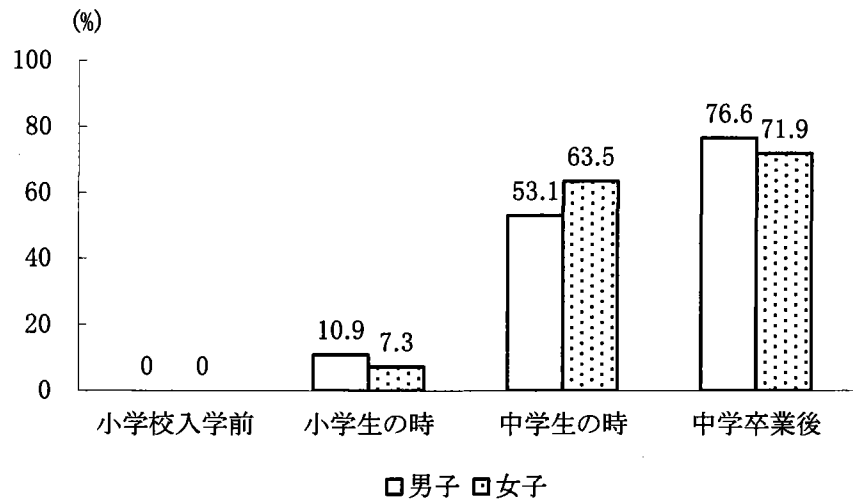
図23 性的暴力を受けた時期（一般反復群）

図23- 1 性的暴力①（接触）



	小学校入学前	小学生の時	中学生の時	中学卒業後	総数
男子	4 (2.0)	26 (12.7)	122 (59.8)	144 (70.6)	204
女子	5 (4.7)	21 (19.6)	74 (69.2)	74 (69.2)	107
合計	9 (2.9)	47 (15.1)	196 (63.0)	218 (70.1)	311
検定結果	(f) p=0.283	$\chi^2(1)=2.591$ p=0.108	$\chi^2(1)=2.636$ p=0.104	$\chi^2(1)=0.068$ p=0.794	

図23-2 性的暴力②（性交）

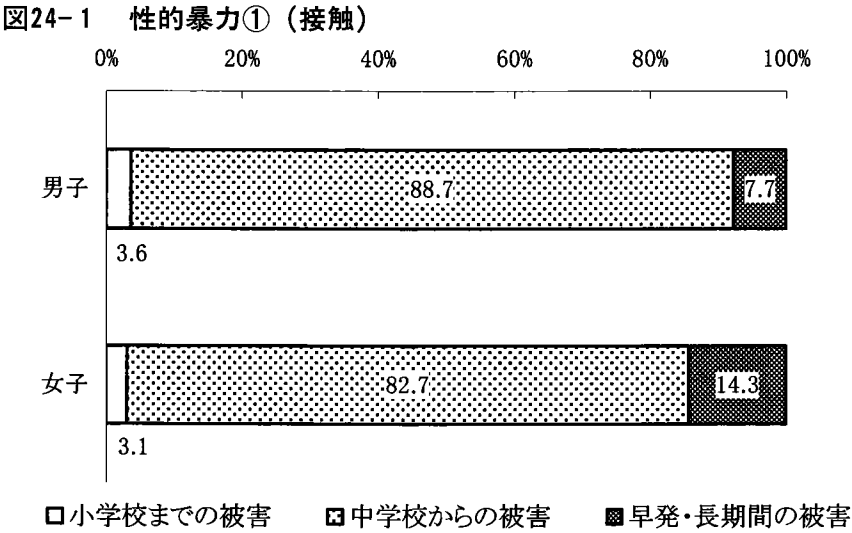


	小学校 入学前	小学生の時	中学生の時	中学卒業後	総数
男子	0 -	7 (10.9)	34 (53.1)	49 (76.6)	64
女子	0 -	7 (7.3)	61 (63.5)	69 (71.9)	96
合計	0 -	14 (8.8)	95 (59.4)	118 (73.8)	160
検定 結果	-	$\chi^2(1)=0.639$ p=0.424	$\chi^2(1)=1.727$ p=0.189	$\chi^2(1)=0.436$ p=0.509	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 重複選択による。
4 「いつだったか覚えていない」を除く。
5 ()内は、総数に対する比率である。
6 図4の注6に同じ。
7 図14の注6に同じ。

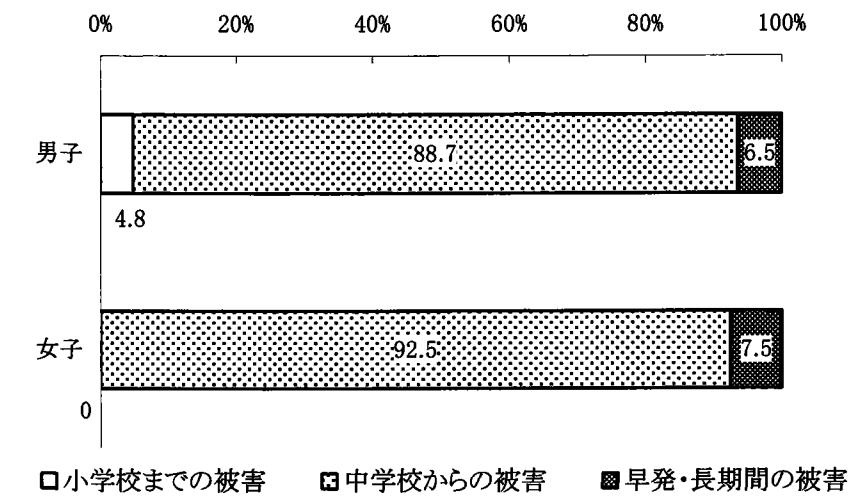
図24は、性的暴力①（接触）及び②（性交）の被害期間を、男女別に見たものである。男女とも、性的暴力①は80％台、②は約90％が中学生からの被害である。

図24 性的暴力を受けた期間（一般反復群）



	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果
男子	7 (3.6)	172 (88.7)	15 (7.7)	194 (100.0)	$\chi^2(2)=3.144$ p=0.208
女子	3 (3.1)	81 (82.7)	14 (14.3)	98 (100.0)	
合計	10 (3.4)	253 (86.6)	29 (9.9)	292 (100.0)	

図24-2 性的暴力②（性交）



	小学生までの被害	中学生からの被害	早発・長期間の被害	合計	検定結果
男子	3 (4.8)	55 (88.7)	4 (6.5)	62 (100.0)	(m) p=0.123
女子	0 -	86 (92.5)	7 (7.5)	93 (100.0)	
合計	3 (1.9)	141 (91.0)	11 (7.1)	155 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 図9の注3に同じ。

(2) 性的暴力の加害者

図25は、性的暴力①（接触）及び②（性交）の加害者（問3のa，重複選択）を尋ねた結果を，男女について群別に見たものである。

図25 性的暴力の加害者

図25-1 性的暴力①（接触）

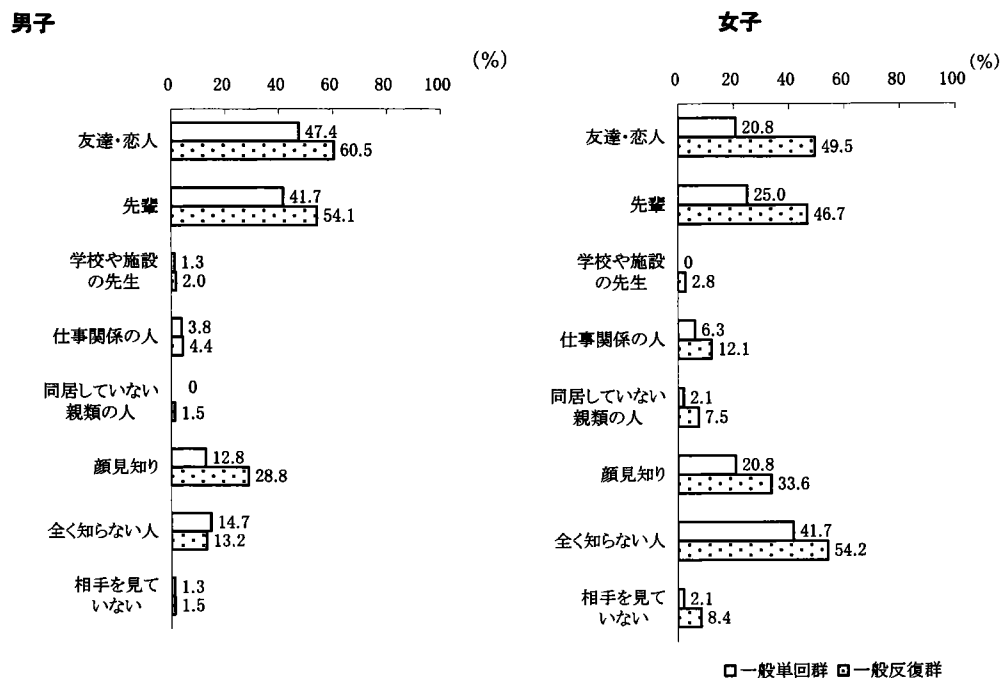
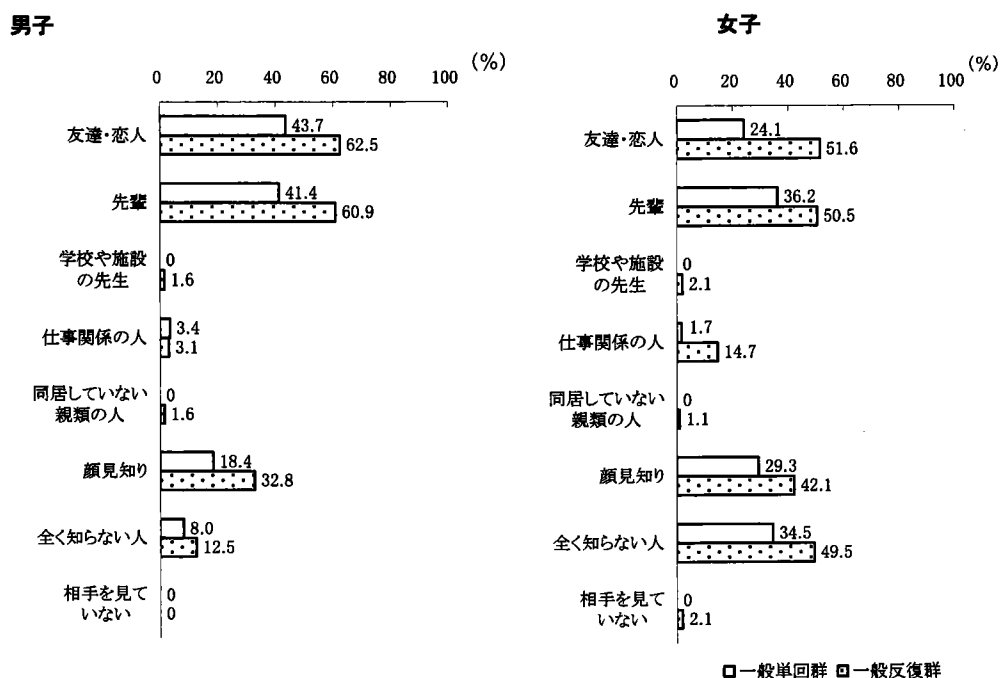


図25-2 性的暴力②（性交）



			加害者の種類								総数
			友達 恋人	先輩	学校や施 設の先生	仕事関係 の人	同居して いない 親類の人	顔見知り	全く知ら ない人	相手を見 ていない	
性的 暴力① (接触)	男子	一般単回群	74 (47.4)	65 (41.7)	2 (1.3)	6 (3.8)	0 -	20 (12.8)	23 (14.7)	2 (1.3)	156
		一般反復群	124 (60.5)	111 (54.1)	4 (2.0)	9 (4.4)	3 (1.5)	59 (28.8)	27 (13.2)	3 (1.5)	205
		合計	198 (54.8)	176 (48.8)	6 (1.7)	15 (4.2)	3 (0.8)	79 (21.9)	50 (13.9)	5 (1.4)	361
	女子	一般単回群	10 (20.8)	12 (25.0)	0 -	3 (6.3)	1 (2.1)	10 (20.8)	20 (41.7)	1 (2.1)	48
		一般反復群	53 (49.5)	50 (46.7)	3 (2.8)	13 (12.1)	8 (7.5)	36 (33.6)	58 (54.2)	9 (8.4)	107
		合計	63 (40.6)	62 (40.0)	3 (1.9)	16 (10.3)	9 (5.8)	46 (29.7)	78 (50.3)	10 (6.5)	155
性的 暴力② (性交)	男子	一般単回群	38 (43.7)	36 (41.4)	0 -	3 (3.4)	0 -	16 (18.4)	7 (8.0)	0 -	87
		一般反復群	40 (62.5)	39 (60.9)	1 (1.6)	2 (3.1)	1 (1.6)	21 (32.8)	8 (12.5)	0 -	64
		合計	78 (51.7)	75 (49.7)	1 (0.7)	5 (3.3)	1 (0.7)	37 (24.5)	15 (9.9)	0 -	151
	女子	一般単回群	14 (24.1)	21 (36.2)	0 -	1 (1.7)	0 -	17 (29.3)	20 (34.5)	0 -	58
		一般反復群	49 (51.6)	48 (50.5)	2 (2.1)	14 (14.7)	1 (1.1)	40 (42.1)	47 (49.5)	2 (2.1)	95
		合計	63 (41.2)	69 (45.1)	2 (1.3)	15 (9.8)	1 (0.7)	57 (37.3)	67 (43.8)	2 (1.3)	153

注1 法務総合研究所の調査による。

2 無回答を除く。

3 重複選択による。

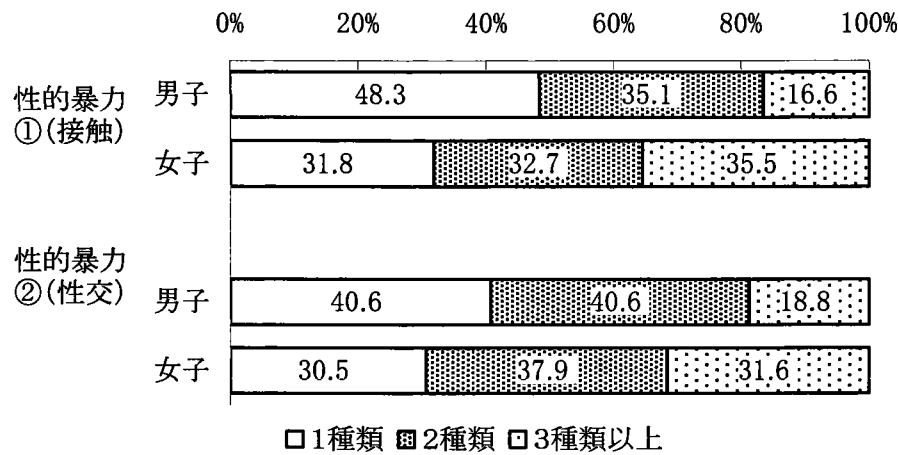
4 グラフ及び表は、各項目に該当するもののみを挙げている。

5 ()内は、総数に対する比率である。

男子は、性的暴力①及び②とも、どちらの群でも友達等とする者の比率が最も高く、次いで先輩である。女子は、性的暴力①の場合、どちらの群でも全く知らない人とする者が最も高く、次いで、一般単回群では先輩、一般反復群では友達等の比率が高くなっている。性的暴力②の場合、一般単回群では先輩、全く知らない人の順であり、一般反復群では友達等、先輩、全く知らない人が、いずれもほぼ50%となっている。

図26は、性的暴力①（接触）及び②（性交）の反復被害経験のある者が、問3のa（重複選択）で選択した加害者の種類数を男女別に見たものである。複数種類の加害者を挙げた者の比率は、男子で約50％（①）ないし60％（②），女子で約70％である。また、性的暴力①で加害者の種類数に男女で有意差が見られ，残差分析の結果，男子の1種類，女子の3種類以上が有意に多くなっている。

図26 性的暴力の加害者の種類数（一般反復群）



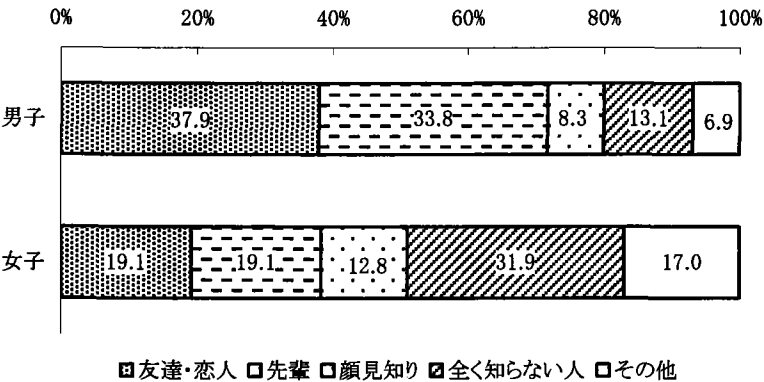
		1種類	2種類	3種類以上	合計	検定結果
性的暴力①(接触)	男子	99 (48.3) △[2.8]	72 (35.1) [0.4]	34 (16.6) ▼[-3.8]	205 (100.0)	$\chi^2(2)=15.534$ p=0.000**
	女子	34 (31.8) ▼[-2.8]	35 (32.7) [-0.4]	38 (35.5) △[3.8]	107 (100.0)	
	合計	133 (42.6)	107 (34.3)	72 (23.1)	312 (100.0)	
性的暴力②(性交)	男子	26 (40.6)	26 (40.6)	12 (18.8)	64 (100.0)	$\chi^2(2)=3.583$ p=0.169
	女子	29 (30.5)	36 (37.9)	30 (31.6)	95 (100.0)	
	合計	55 (34.6)	62 (39.0)	42 (26.4)	159 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 表1の注6に同じ。
5 図1の注3に同じ。

図27は、性的暴力①（接触）及び②（性交）の一般単回群について、最もひどい加害者を男女別に見たものである。男子では、性的暴力①、②とも、最もひどい加害者が友達等及び先輩であるとする者が30％台を占め、それ以外の加害者は、10％台ないしそれ以下の比率になっている。女子は、性的暴力①で全く知らない人が最も高くなっているが、友達等、先輩及びその他也約20％を占め、性的暴力②で先輩が最も高くなっているが、友達等、顔見知り及び全く知らない人も約20％を占めている。また、統計的には、性的暴力①及び②とも、男女で有意差が見られ、男子は友達等が、女子は全く知らない人が有意に多くなっている。

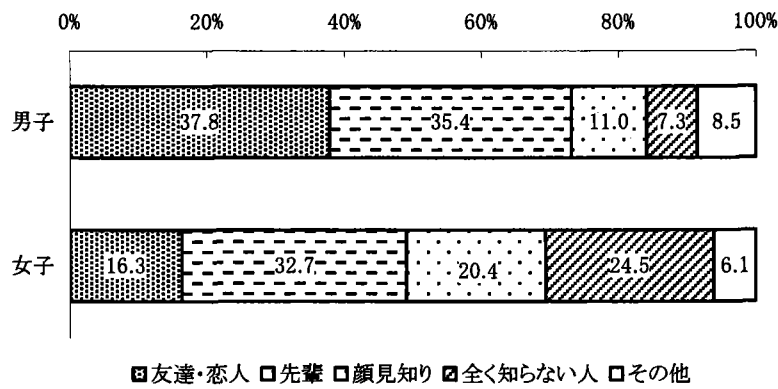
図27 性的暴力の最もひどい加害者（一般単回群）

図27-1 性的暴力①（接触）



	友達・恋人	先輩	顔見知り	全く知らない人	その他	合計	検定結果
男子	55 (37.9) △[2.4]	49 (33.8) [1.9]	12 (8.3) [-0.9]	19 (13.1) ▼[-2.9]	10 (6.9) ▼[-2.1]	145 (100.0)	$\chi^2(4)=18.014$ p=0.001**
女子	9 (19.1) ▼[-2.4]	9 (19.1) [-1.9]	6 (12.8) [0.9]	15 (31.9) △[2.9]	8 (17.0) △[2.1]	47 (100.0)	
合計	64 (33.3)	58 (30.2)	18 (9.4)	34 (17.7)	18 (9.4)	192 (100.0)	

図27-2 性的暴力②（性交）



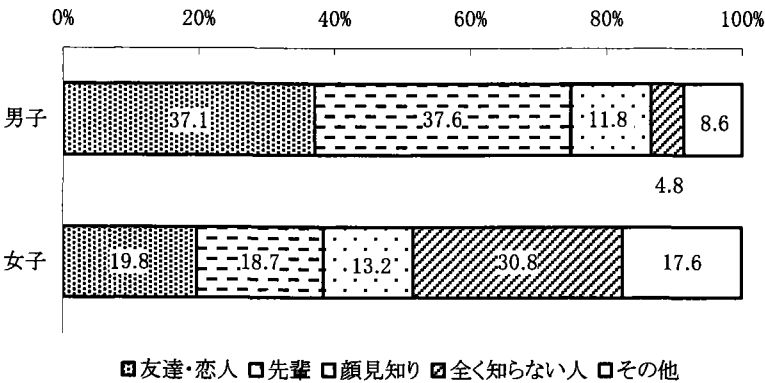
	友達・恋人	先輩	顔見知り	全く知らない人	その他	合計	検定結果
男子	31 (37.8) △[2.6]	29 (35.4) [0.3]	9 (11.0) [-1.5]	6 (7.3) ▼[-2.8]	7 (8.5) [0.5]	82 (100.0)	$\chi^2(4)=13.517$ p=0.009**
女子	8 (16.3) ▼[-2.6]	16 (32.7) [-0.3]	10 (20.4) [1.5]	12 (24.5) △[2.8]	3 (6.1) [-0.5]	49 (100.0)	
合計	39 (29.8)	45 (34.4)	19 (14.5)	18 (13.7)	10 (7.6)	131 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 「その他」は、「学校や施設の先生」、「仕事関係の人」、「同居していない親類の人」及び「相手を見ていない」を含む。
5 表1の注6に同じ。
6 図1の注3に同じ。

図28は、同様に、一般反復群について見たものである。男子では、一般単回群と同様の傾向にあり、性的暴力①、②とも、最もひどい加害者が友達等及び先輩であるとする者が30％台を占め、それ以外の加害者は、10％台ないしそれ以下の比率になっている。女子の性的暴力①も、一般単回群と同様、全く知らない人が最も高くなっているが、それ以外の加害者も約10から20％を占めている。性的暴力②では先輩及び全く知らない人が最も高くなっているが、友達等及び顔見知りも約10から20％を占めている。また、統計的には、性的暴力①及び②とも、男女で有意差が見られ、男子は友達等が、女子は全く知らない人が有意に多くなっている。

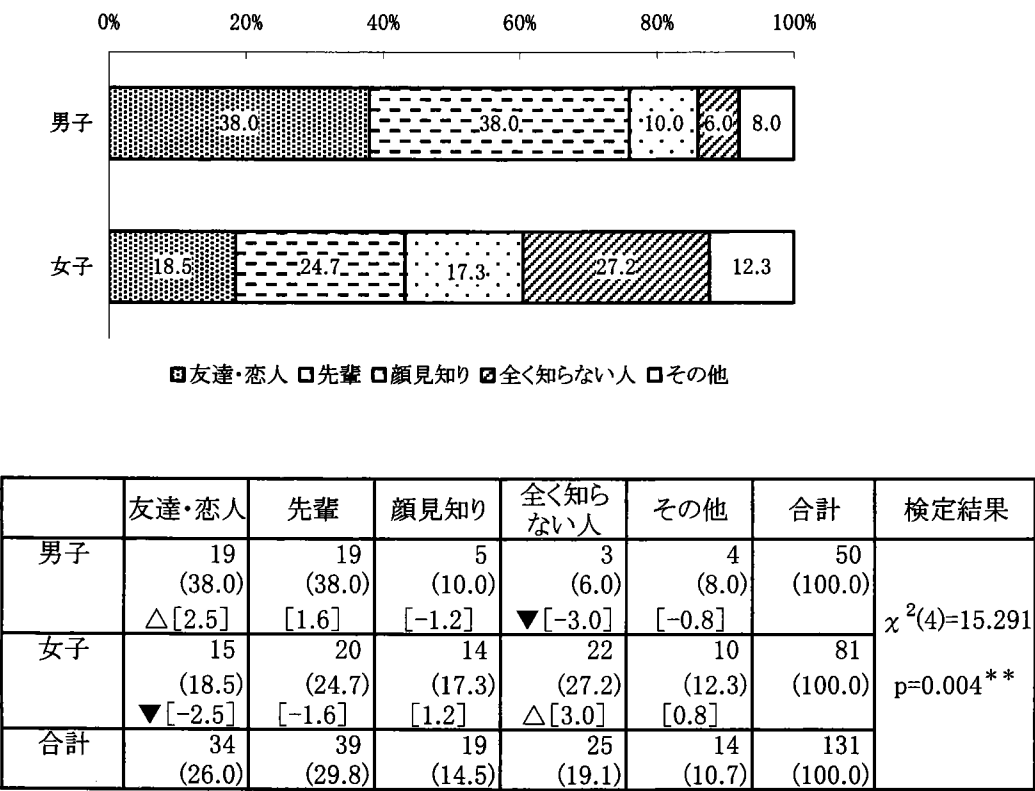
図28 性的暴力の最もひどい加害者（一般反復群）

図28-1 性的暴力①（接触）



	友達・恋人	先輩	顔見知り	全く知らない人	その他	合計	検定結果
男子	69 (37.1) △[2.9]	70 (37.6) △[3.2]	22 (11.8) [-0.3]	9 (4.8) ▼[-6.0]	16 (8.6) ▼[-2.2]	186 (100.0)	$\chi^2(4)=47.939$ p=0.000**
女子	18 (19.8) ▼[-2.9]	17 (18.7) ▼[-3.2]	12 (13.2) [0.3]	28 (30.8) △[6.0]	16 (17.6) △[2.2]	91 (100.0)	
合計	87 (31.4)	87 (31.4)	34 (12.3)	37 (13.4)	32 (11.6)	277 (100.0)	

図28-2 性的暴力②（性交）



注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は,構成比である。
4 「その他」は,「学校や施設の先生」,「仕事関係の人」,「同居していない親類の人」及び「相手を見ていない」を含む。
5 表1の注6に同じ。
6 図1の注3に同じ。

3 性的暴力を受けた経験の表出

(1) 性的暴力を受けた経験の表出の有無

表10は、性的暴力①（接触）及び②（性交）の被害経験のある者に対し「被害について、誰かに言ったことがありますか」（問4）と尋ねた結果を、男女について群別に見たものである。性的暴力①、②とも、男子ではどちらの群も「言ったことはない」が、女子は、「言ったことがある」とする者の比率が高い。また、群別に見ると、男女とも一般反復群の方が「言ったことがある」とする者の比率が高くなっている。

表10 性的暴力の被害経験の表出の有無

		性的暴力①(接触)				性的暴力②(性交)			
		言ったことがある	言ったことはない	合計	検定結果	言ったことがある	言ったことはない	合計	検定結果
男子	一般単回群	57 (36.5)	99 (63.5)	156 (100.0)	$\chi^2(1)=1.428$ p=0.232	40 (46.0)	47 (54.0)	87 (100.0)	$\chi^2(1)=0.040$ p=0.842
	一般反復群	86 (42.8)	115 (57.2)	201 (100.0)		30 (47.6)	33 (52.4)	63 (100.0)	
	合計	143 (40.1)	214 (59.9)	357 (100.0)		70 (46.7)	80 (53.3)	150 (100.0)	
女子	一般単回群	32 (66.7)	16 (33.3)	48 (100.0)	$\chi^2(1)=1.084$ p=0.298	46 (79.3)	12 (20.7)	58 (100.0)	$\chi^2(1)=0.011$ p=0.918
	一般反復群	80 (74.8)	27 (25.2)	107 (100.0)		76 (80.0)	19 (20.0)	95 (100.0)	
	合計	112 (72.3)	43 (27.7)	155 (100.0)		122 (79.7)	31 (20.3)	153 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 「言ったことはない」は、「覚えていない」を含む。

(2) 性的暴力を受けた経験を表出した者

性的暴力の被害を受けたことを話した相手（問4のa、重複選択）については、男女ともどちらの群も友達・恋人・先輩の比率が最も高い（資料p110参照）。また、性的暴力①（接触）の母の場合を除き、群間に有意差は見られなかった。

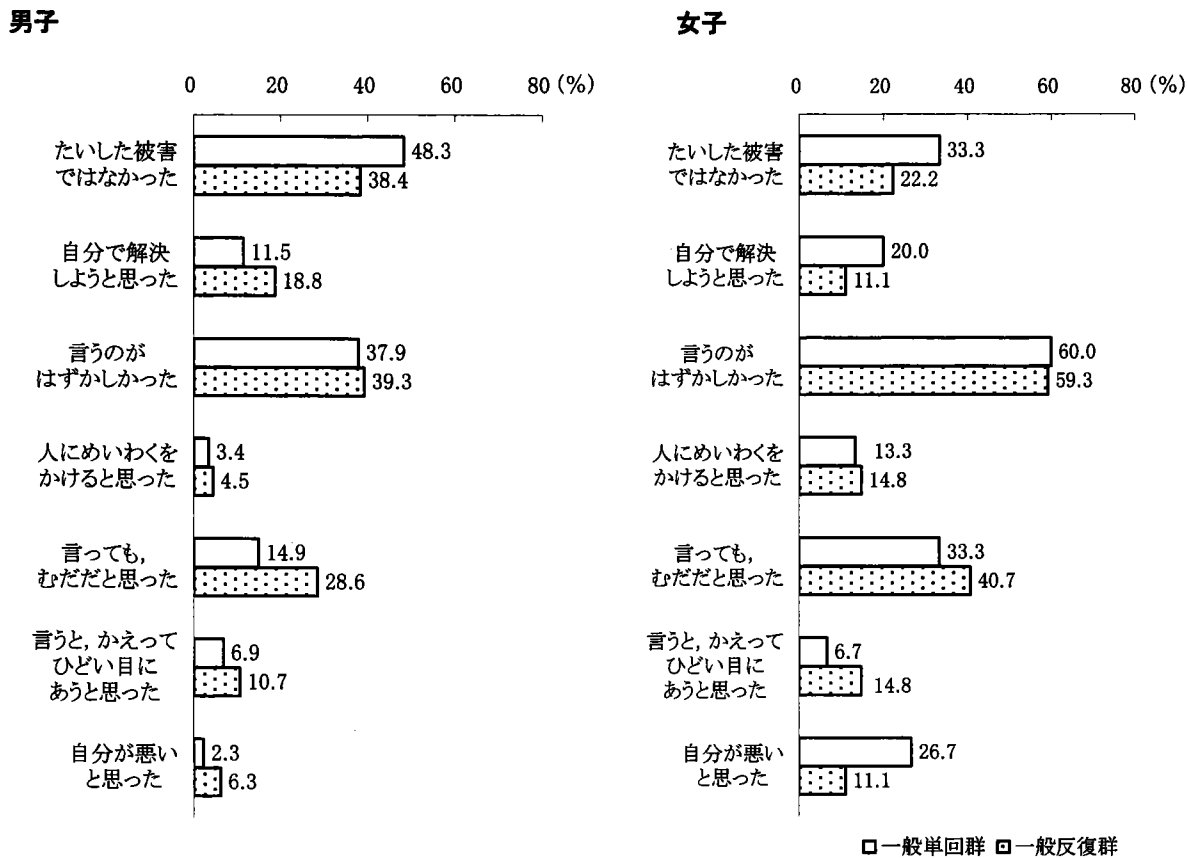
さらに、性的暴力の被害経験を信じてくれた人の有無については、信じてくれた人がいたとする者が、男女とも、性的暴力①、②のいずれについても、80ないし90%になっている（資料p111参照）。

(3) 性的暴力を受けた経験を表出しなかった者

図29は、性的暴力①（接触）及び②（性交）の被害を受けた経験を誰にも話さなかった者に対し、その理由（問4のc、重複選択）を尋ねた結果を、男女について群別に見たものである。男子は、性的暴力①及び②とも、どちらの群も、「たいした被害ではなかった」及び「言うのがはずかしかった」とする者の比率が高くなっている。女子は、性的暴力①で、どちらの群も、「言うのがはずかしかった」が最も高く、次いで、「言ってもむだだと思った」が高くなっているほか、一般単回群では「たいした被害ではなかった」も同率である。また、性的暴力②で、どちらの群も、「言うのがはずかしかった」が最も高く、

図29 性的暴力の被害経験を話さなかった理由

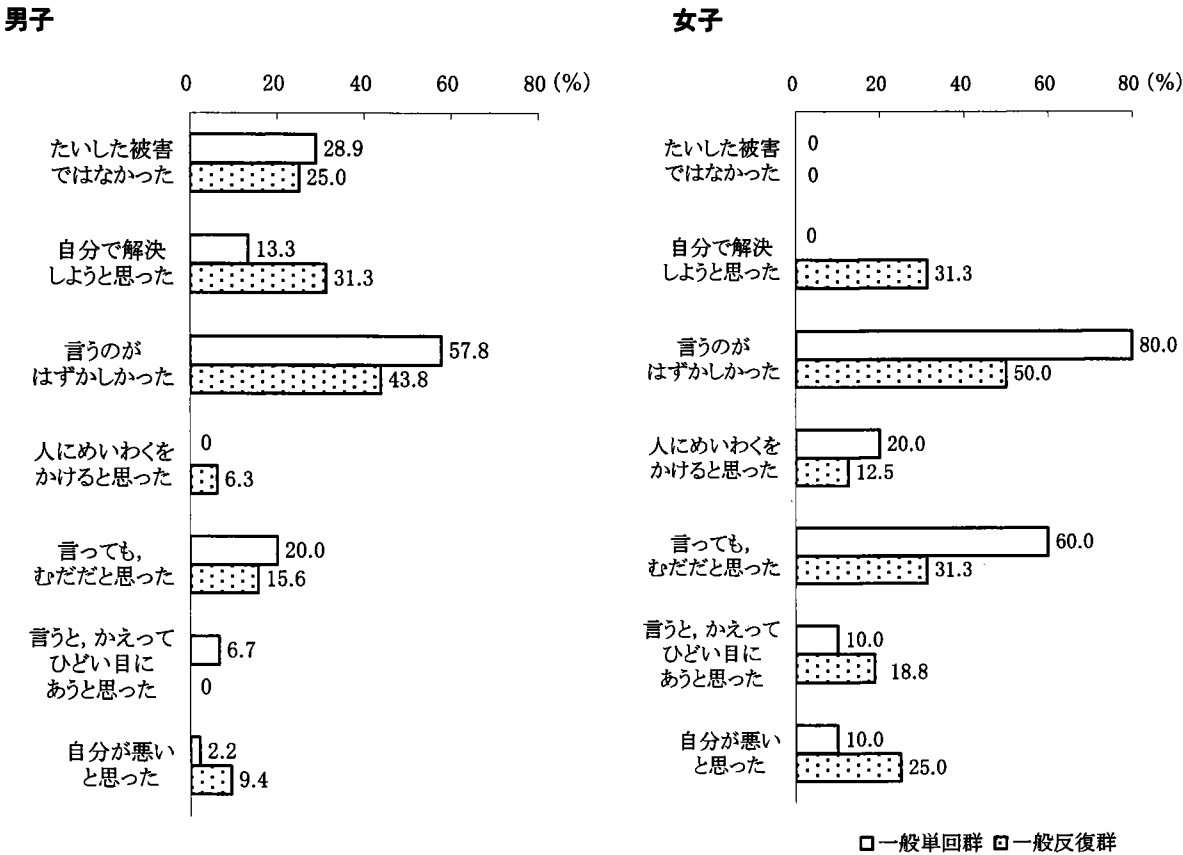
図29-1 性的暴力①（接触）



			たいした被害 ではなかった	自分で解決 しようと思った	言うのがはず かしかった	人にめいわく をかけると思っ た	言っても、む だだと思った	言う、かえっ てひどい目に あうと思った	自分が悪いと 思った	総数
性的暴力 ①(接触)	男子	一般単回群	42 (48.3)	10 (11.5)	33 (37.9)	3 (3.4)	13 (14.9)	6 (6.9)	2 (2.3)	87
		一般反復群	43 (38.4)	21 (18.8)	44 (39.3)	5 (4.5)	32 (28.6)	12 (10.7)	7 (6.3)	112
		合計	85 (42.7)	31 (15.6)	77 (38.7)	8 (4.0)	45 (22.6)	18 (9.0)	9 (4.5)	199
		検定結果	$\chi^2(1)=1.955$ $p=0.162$	$\chi^2(1)=1.960$ $p=0.162$	$\chi^2(1)=0.038$ $p=0.846$	(f) $p=1.000$	$\chi^2(1)=5.197$ $p=0.023^*$	$\chi^2(1)=0.867$ $p=0.352$	(f) $p=0.304$	
	女子	一般単回群	5 (33.3)	3 (20.0)	9 (60.0)	2 (13.3)	5 (33.3)	1 (6.7)	4 (26.7)	15
		一般反復群	6 (22.2)	3 (11.1)	16 (59.3)	4 (14.8)	11 (40.7)	4 (14.8)	3 (11.1)	27
		合計	11 (26.2)	6 (14.3)	25 (59.5)	6 (14.3)	16 (38.1)	5 (11.9)	7 (16.7)	42
		検定結果	(f) $p=0.481$	(f) $p=0.649$	$\chi^2(1)=0.002$ $p=0.963$	(f) $p=1.000$	$\chi^2(1)=0.224$ $p=0.636$	(f) $p=0.639$	(f) $p=0.225$	

次いで、「言ってもむだだと思った」が高くなっているほか、一般単回群では「自分で解決しようと思った」も同率である。

図29-2 性的暴力②（性交）



			たいした被害 ではなかった	自分で解決 しようと思った	言うのがはず かしかった	人にめいわく をかけると思っ た	言っても、む だだと思った	言う、かえっ てひどい目に あうと思った	自分が悪いと 思った	総数
性的暴力 ②(性交)	男子	一般単回群	13 (28.9)	6 (13.3)	26 (57.8)	0 -	9 (20.0)	3 (6.7)	1 (2.2)	45
		一般反復群	8 (25.0)	10 (31.3)	14 (43.8)	2 (6.3)	5 (15.6)	0 -	3 (9.4)	32
		合計	21 (27.3)	16 (20.8)	40 (51.9)	2 (2.6)	14 (18.2)	3 (3.9)	4 (5.2)	77
		検定結果	$\chi^2(1)=0.143$ $p=0.706$	$\chi^2(1)=3.647$ $p=0.056$	$\chi^2(1)=1.474$ $p=0.225$	(f) $p=0.170$	$\chi^2(1)=0.241$ $p=0.624$	(f) $p=0.262$	(f) $p=0.302$	
	女子	一般単回群	0	0	8	2	6	1	1	10
		一般反復群	0 -	5 (31.3)	8 (50.0)	2 (12.5)	5 (31.3)	3 (18.8)	4 (25.0)	16
		合計	0 -	5 (19.2)	16 (61.5)	4 (15.4)	11 (42.3)	4 (15.4)	5 (19.2)	26
		検定結果	-	(f) $p=0.121$	(f) $p=0.218$	(f) $p=0.625$	(f) $p=0.228$	(f) $p=1.000$	(f) $p=0.617$	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 重複選択による。
4 グラフ及び表は、各理由に該当するもののみを挙げている。
5 ()内は、総数に対する比率である。
6 「検定結果」欄の「*」は、有意水準5%以下で有意差が見られることを示す。
7 表1の注6に同じ。
8 図4の注6に同じ。
9 図14の注6に同じ。

4 性的暴力の被害にあった時の行動

図30は、性的暴力①（接触）及び②（性交）の被害を受けた経験のある者に対し、「その被害にあって、あなたはどうしましたか」（問5、重複選択）と尋ねた結果を、男女について群別に見たものである。

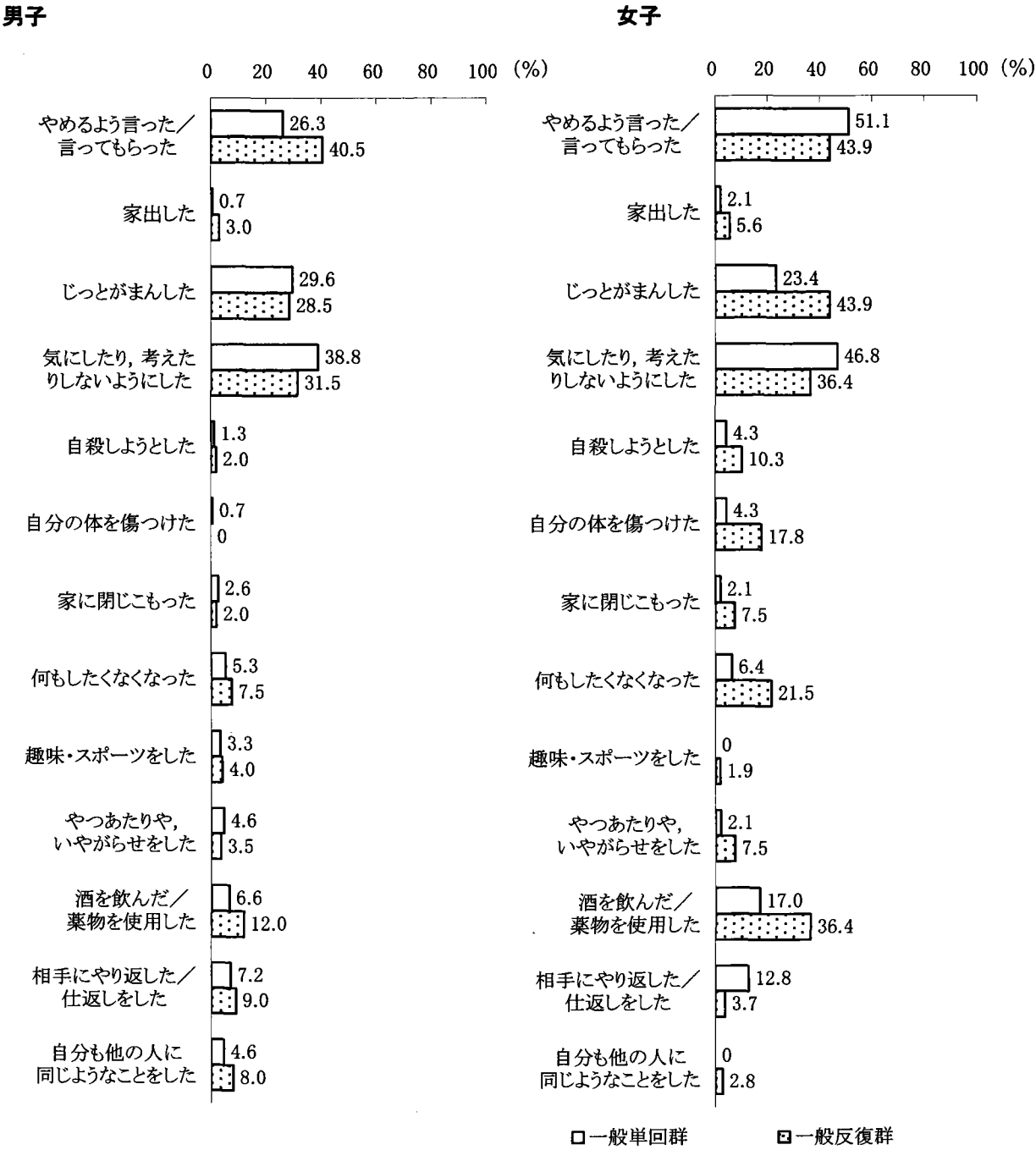
男子は、性的暴力①の場合、一般単回群では「気にしたり、考えたりしないようにした」とする者の比率が最も高く、次いで、「じっとがまんした」、「やめるよう言った／言ってもらった」の順であり、一般反復群では「やめるよう言った／言ってもらった」が最も高く、次いで「気にしたり、考えたりしないようにした」、「じっとがまんした」となっている。性的暴力②の場合、順位はやや異なるが、どちらの群も比率の高い項目は①と同じである。

女子は、性的暴力①の場合、一般単回群では「やめるよう言った／言ってもらった」が最も高く、次いで、「気にしたり、考えたりしないようにした」、「じっとがまんした」の順であり、一般反復群では「やめるよう言った／言ってもらった」と「じっとがまんした」が同率で最も高く、次いで「気にしたり、考えたりしないようにした」と「酒を飲んだ／薬物を使用した」が同率で高くなっている。性的暴力②の場合、一般単回群では「じっとがまんした」が最も高く、次いで「やめるよう言った／言ってもらった」、「じっとがまんした」の順であり、一般反復群では「酒を飲んだ／薬物を使用した」が最も高く、次いで、「やめるよう言った／言ってもらった」、「じっとがまんした」の順となっている。

また、男子は、性的暴力①の「やめるよう言った／言ってもらった」、女子は、「じっとがまんした」(①)、「気にしたり、考えたりしないようにした」(②)、「自殺しようとした」(②)、「自分の体を傷つけた」(①, ②)、「何もしたくなくなった」(①)、「酒を飲んだ／薬物を使用した」(①, ②)において群間に有意差が見られ、女子の「気にしたり、考えたりしないようにした」を除き、一般反復群が有意に多くなっている。

図30 性的暴力の被害にあった時の行動

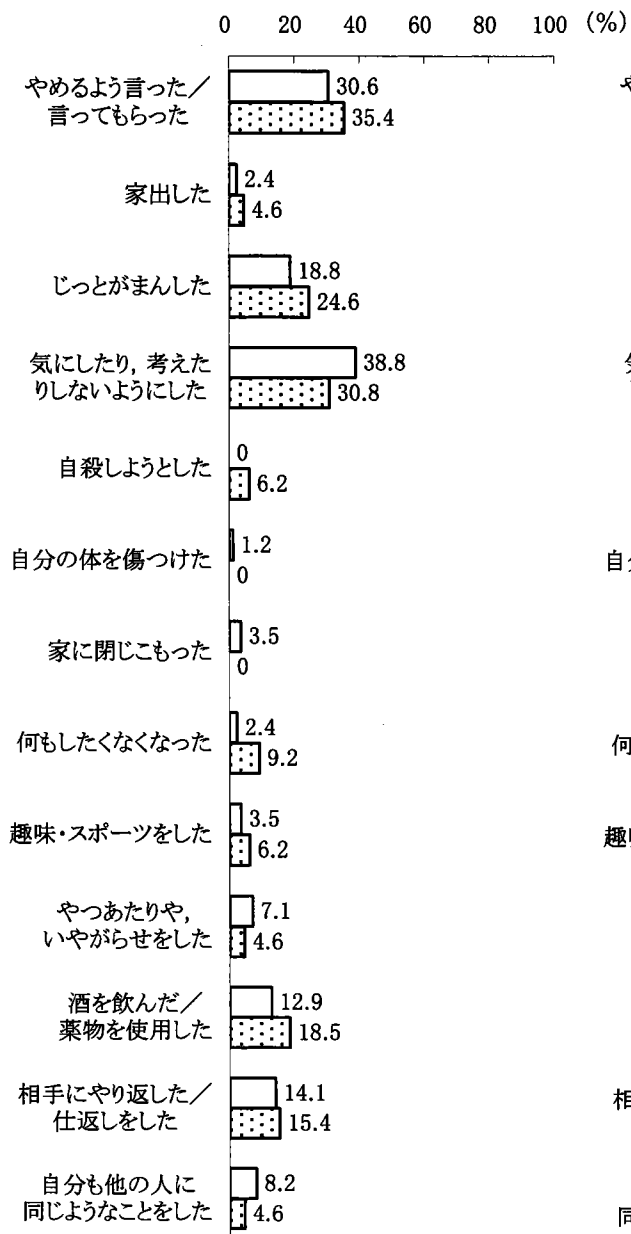
図30-1 性的暴力①（接触）



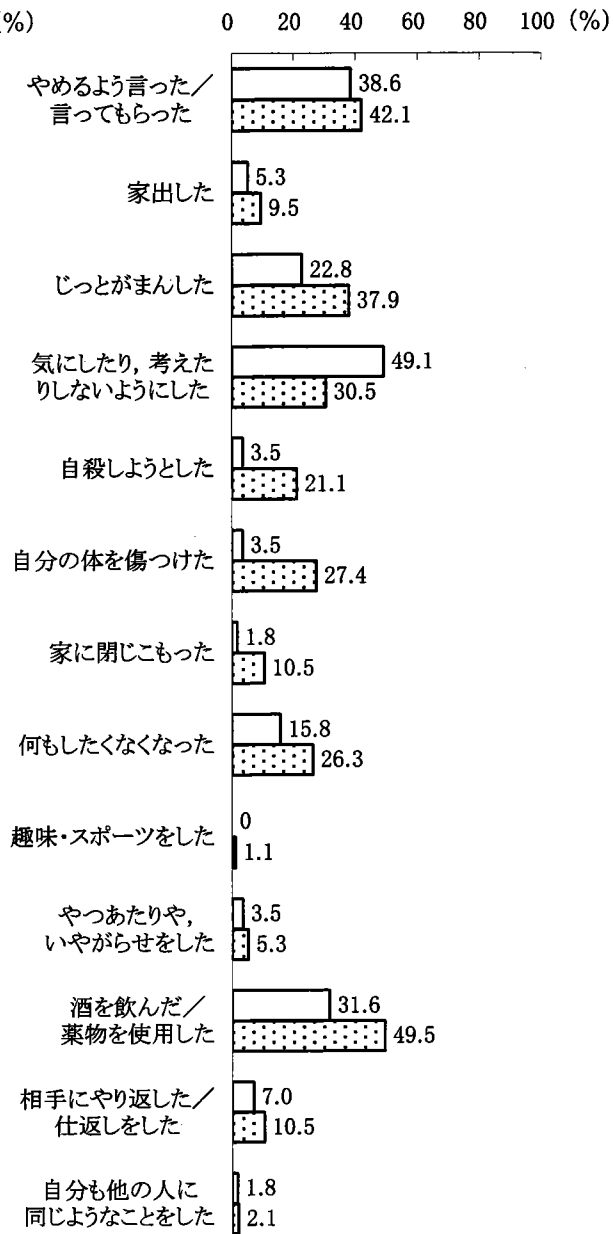
	男子				女子			
	一般単回群	一般反復群	合計	検定結果	一般単回群	一般反復群	合計	検定結果
やめるよう言った／ 言ってもらった	40 (26.3)	81 (40.5)	121 (34.4)	$\chi^2(1)=7.702$ $p=0.006^{**}$	24 (51.1)	47 (43.9)	71 (46.1)	$\chi^2(1)=0.670$ $p=0.413$
家出した	1 (0.7)	6 (3.0)	7 (2.0)	(f) $p=0.146$	1 (2.1)	6 (5.6)	7 (4.5)	(f) $p=0.676$
じつとがまんした	45 (29.6)	57 (28.5)	102 (29.0)	$\chi^2(1)=0.051$ $p=0.821$	11 (23.4)	47 (43.9)	58 (37.7)	$\chi^2(1)=5.857$ $p=0.016^*$
気にしたり、考えたり しないようにした	59 (38.8)	63 (31.5)	122 (34.7)	$\chi^2(1)=2.041$ $p=0.153$	22 (46.8)	39 (36.4)	61 (39.6)	$\chi^2(1)=1.465$ $p=0.226$
自殺しようとした	2 (1.3)	4 (2.0)	6 (1.7)	(f) $p=0.702$	2 (4.3)	11 (10.3)	13 (8.4)	(f) $p=0.346$
自分の体を傷つけた	1 (0.7)	0 -	1 (0.3)	(f) $p=0.432$	2 (4.3)	19 (17.8)	21 (13.6)	$\chi^2(1)=5.055$ $p=0.025^*$
家に閉じこもった	4 (2.6)	4 (2.0)	8 (2.3)	(f) $p=0.730$	1 (2.1)	8 (7.5)	9 (5.8)	(f) $p=0.277$
何もしたくなかった	8 (5.3)	15 (7.5)	23 (6.5)	$\chi^2(1)=0.708$ $p=0.400$	3 (6.4)	23 (21.5)	26 (16.9)	$\chi^2(1)=5.315$ $p=0.021^*$
趣味・スポーツをし た	5 (3.3)	8 (4.0)	13 (3.7)	$\chi^2(1)=0.123$ $p=0.726$	0 -	2 (1.9)	2 (1.3)	(f) $p=1.000$
やつあたりや、 いやがらせをした	7 (4.6)	7 (3.5)	14 (4.0)	$\chi^2(1)=0.276$ $p=0.599$	1 (2.1)	8 (7.5)	9 (5.8)	(f) $p=0.277$
酒を飲んだ／ 薬物を使用した	10 (6.6)	24 (12.0)	34 (9.7)	$\chi^2(1)=2.909$ $p=0.088$	8 (17.0)	37 (34.6)	45 (29.2)	$\chi^2(1)=4.868$ $p=0.027^*$
相手にやり返した／ 仕返しをした	11 (7.2)	18 (9.0)	29 (8.2)	$\chi^2(1)=0.355$ $p=0.551$	6 (12.8)	4 (3.7)	10 (6.5)	(f) $p=0.068$
自分も他の人に同 じようなことをした	7 (4.6)	16 (8.0)	23 (6.5)	$\chi^2(1)=1.630$ $p=0.202$	0 -	3 (2.8)	3 (1.9)	(f) $p=0.553$
総数	152	200	352		47	107	154	

図30-2 性的暴力②（性交）

男子



女子



□ 一般単回群

■ 一般反復群

	男子				女子			
	一般単回群	一般反復群	合計	検定結果	一般単回群	一般反復群	合計	検定結果
やめるよう言った／ 言ってもらった	26 (30.6)	23 (35.4)	49 (32.7)	$\chi^2(1)=0.385$ $p=0.535$	22 (38.6)	40 (42.1)	62 (40.8)	$\chi^2(1)=0.182$ $p=0.670$
家出した	2 (2.4)	3 (4.6)	5 (3.3)	(f) $p=0.653$	3 (5.3)	9 (9.5)	12 (7.9)	(f) $p=0.536$
じつとがまんした	16 (18.8)	16 (24.6)	32 (21.3)	$\chi^2(1)=0.736$ $p=0.391$	13 (22.8)	36 (37.9)	49 (32.2)	$\chi^2(1)=3.712$ $p=0.054$
気にしたり、考えたり しないようにした	33 (38.8)	20 (30.8)	53 (35.3)	$\chi^2(1)=1.046$ $p=0.306$	28 (49.1)	29 (30.5)	57 (37.5)	$\chi^2(1)=5.257$ $p=0.022^*$
自殺しようとした	0 -	4 (6.2)	4 (2.7)	(f) $p=0.033^*$	2 (3.5)	20 (21.1)	22 (14.5)	$\chi^2(1)=8.858$ $p=0.003^{**}$
自分の体を傷つけた	1 (1.2)	0 -	1 (0.7)	(f) $p=1.000$	2 (3.5)	26 (27.4)	28 (18.4)	$\chi^2(1)=13.496$ $p=0.000^{**}$
家に閉じこもった	3 (3.5)	0 -	3 (2.0)	(f) $p=0.258$	1 (1.8)	10 (10.5)	11 (7.2)	(f) $p=0.054$
何もしたくなかった	2 (2.4)	6 (9.2)	8 (5.3)	(f) $p=0.077$	9 (15.8)	25 (26.3)	34 (22.4)	$\chi^2(1)=2.273$ $p=0.132$
趣味・スポーツをし た	3 (3.5)	4 (6.2)	7 (4.7)	(f) $p=0.467$	0 -	1 (1.1)	1 (0.7)	(f) $p=1.000$
やつあたりや、 いやがらせをした	6 (7.1)	3 (4.6)	9 (6.0)	(f) $p=0.732$	2 (3.5)	5 (5.3)	7 (4.6)	(f) $p=0.712$
酒を飲んだ／ 薬物を使用した	11 (12.9)	12 (18.5)	23 (15.3)	$\chi^2(1)=0.865$ $p=0.352$	18 (31.6)	47 (49.5)	65 (42.8)	$\chi^2(1)=4.661$ $p=0.031^*$
相手にやり返した／ 仕返しをした	12 (14.1)	10 (15.4)	22 (14.7)	$\chi^2(1)=0.047$ $p=0.828$	4 (7.0)	10 (10.5)	14 (9.2)	$\chi^2(1)=0.524$ $p=0.469$
自分も他の人に同 じようなことをした	7 (8.2)	3 (4.6)	10 (6.7)	(f) $p=0.515$	1 (1.8)	2 (2.1)	3 (2.0)	(f) $p=1.000$
総数	85	65	150		57	95	152	

注1 法務総合研究所の調査による。

2 無回答を除く。

3 重複選択による。

4 グラフ及び表は、各項目を選択した者のみを挙げている。

5 ()内は、総数に対する比率である。

6 図4の注6に同じ。

7 図5の注7に同じ。

5 性的暴力の終了

(1) 終了の有無

表11は、性的暴力①（接触）及び②（性交）の被害経験のある者に対し、「その被害は、終わったと思いますか」（問6）と尋ねた結果を、男女について群別に見たものである。「終わった」とする者の比率は、性的暴力①、②とも、男子がどちらの群でも70％台、女子が一般単回群で70％台、一般反復群で60％台である。

表11 性的暴力の終了

		性的暴力①(接触)			性的暴力②(性交)		
		終わった	終わっていない	合計	終わった	終わっていない	合計
男子	一般単回群	119 (76.8)	36 (23.2)	155 (100.0)	66 (76.7)	20 (23.3)	86 (100.0)
	一般反復群	147 (71.7)	58 (28.3)	205 (100.0)	47 (74.6)	16 (25.4)	63 (100.0)
	合計	266 (73.9)	94 (26.1)	360 (100.0)	113 (75.8)	36 (24.2)	149 (100.0)
	検定結果	$\chi^2(2)=1.175$ p=0.278			$\chi^2(2)=0.091$ p=0.763		
女子	一般単回群	36 (75.0)	12 (25.0)	48 (100.0)	45 (78.9)	12 (21.1)	57 (100.0)
	一般反復群	71 (67.6)	34 (32.4)	105 (100.0)	58 (61.7)	36 (38.3)	94 (100.0)
	合計	107 (69.9)	46 (30.1)	153 (100.0)	103 (68.2)	48 (31.8)	151 (100.0)
	検定結果	$\chi^2(2)=0.854$ p=0.356			$\chi^2(2)=4.867$ p=0.027*		

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 「終わっていない」は、「わからない」を含む。
4 ()内は、構成比である。
5 図29の注6に同じ。

(2) 終了の理由

図31は、性的暴力①（接触）及び②（性交）が「終わった」とする者に対し、「被害はなぜ終わったと思いますか」（問6のa、重複選択）と尋ねた結果を、男女について群別に見たものである。男子は、性的暴力①の場合、一般単回群では「相手に会わなくなった」とする者の比率が最も高く、次いで、「自分が成長した／自分が反省した」と「相手が反省した」が同率で高くなっており、一般反復群では、同様に「相手に会わなくなった」が最も高く、次いで、「自分が施設に入った」、「相手が反省した」となっている。性的暴力②の場合も、ほぼ同様の傾向にある。女子は、性的暴力①の場合、一般単回群では「相手に会わなくなった」とする者の比率が最も高く、次いで、「相手が反省した」、「自分が施設に入った」となっており、一般反復群では、同様に「相手に会わなくなった」が最も高く、次いで、「自分が施設に入った」、「自分が成長した／自分が反省した」の順である。性的暴力②の場合も、一般単回群では「相手に会わなくなった」が最も高く、次いで、「相手が反省した」、「自分が施設に入った」であり、一般反復群では、同様に「相手に会わなくなった」が最も高く、次いで、「自分が施設に入った」、「相手が反省した」の順である。

図31 性的暴力の終了の理由

図31-1 性的暴力①（接触）

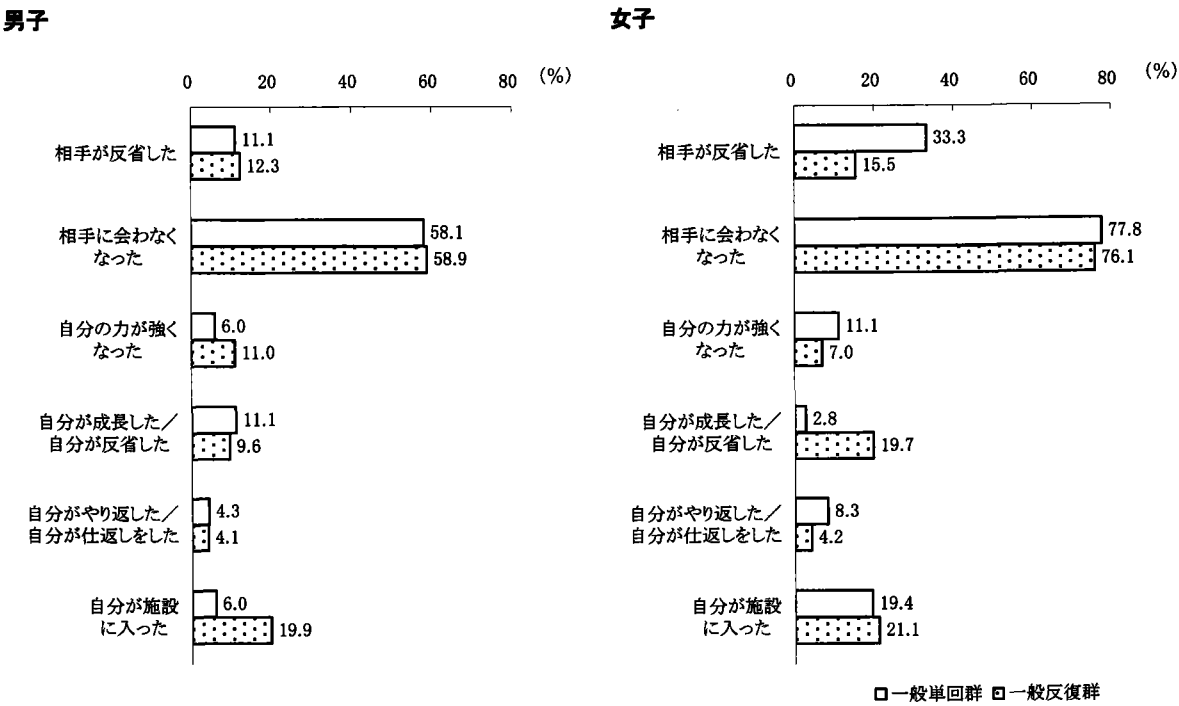
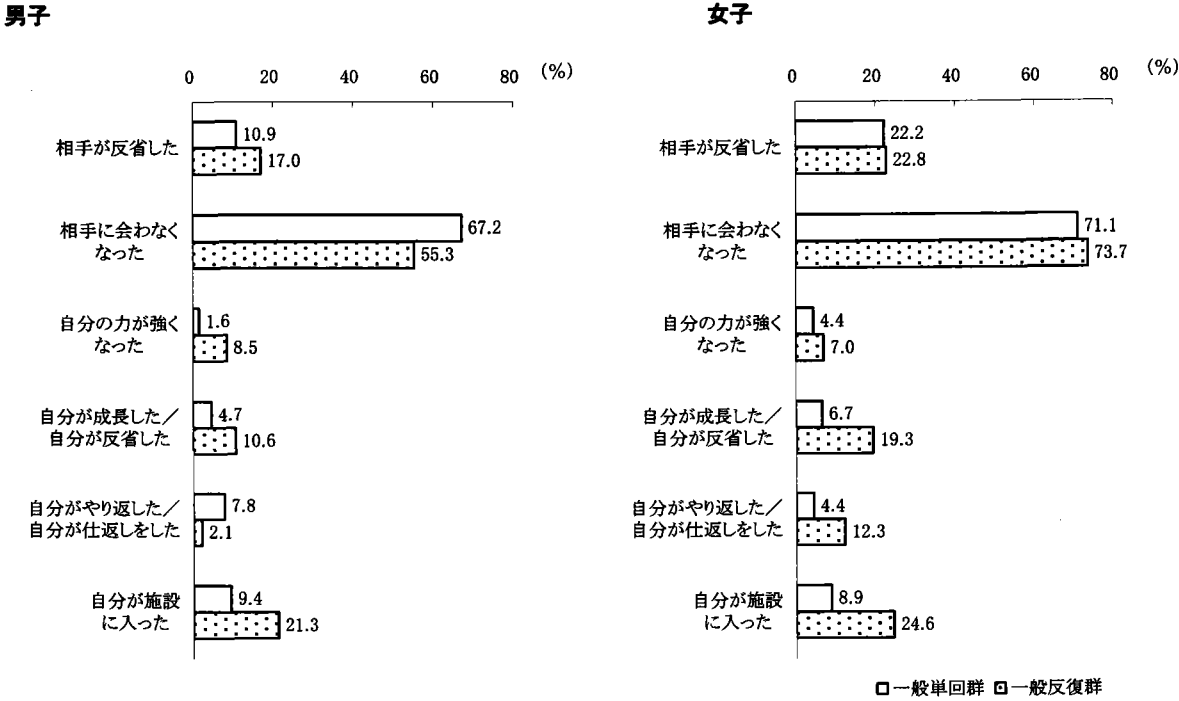


図31-2 性的暴力②（性交）



			相手が反省した	相手に会わなくなった	自分の力が強くなった	自分が成長した／自分が反省した	自分がやり返した／自分が仕返しをした	自分が施設に入った	総数
性的暴力① (接触)	男子	一般単回群	13 (11.1)	68 (58.1)	7 (6.0)	13 (11.1)	5 (4.3)	7 (6.0)	117
		一般反復群	18 (12.3)	86 (58.9)	16 (11.0)	14 (9.6)	6 (4.1)	29 (19.9)	146
		合計	31 (11.8)	154 (58.6)	23 (8.7)	27 (10.3)	11 (4.2)	36 (13.7)	263
		検定結果	$\chi^2(1)=0.093$ $p=0.761$	$\chi^2(1)=0.016$ $p=0.898$	$\chi^2(1)=2.015$ $p=0.156$	$\chi^2(1)=0.163$ $p=0.686$	(f) $p=1.000$	$\chi^2(1)=10.591$ $p=0.001^{**}$	
	女子	一般単回群	12 (33.3)	28 (77.8)	4 (11.1)	1 (2.8)	3 (8.3)	7 (19.4)	36
		一般反復群	11 (15.5)	54 (76.1)	5 (7.0)	14 (19.7)	3 (4.2)	15 (21.1)	71
		合計	23 (21.5)	82 (76.6)	9 (8.4)	15 (14.0)	6 (5.6)	22 (20.6)	107
		検定結果	$\chi^2(1)=4.506$ $p=0.034^*$	$\chi^2(1)=0.040$ $p=0.842$	(f) $p=0.481$	$\chi^2(1)=5.687$ $p=0.017^*$	(f) $p=0.402$	$\chi^2(1)=0.041$ $p=0.839$	
性的暴力② (性交)	男子	一般単回群	7 (10.9)	43 (67.2)	1 (1.6)	3 (4.7)	5 (7.8)	6 (9.4)	64
		一般反復群	8 (17.0)	26 (55.3)	4 (8.5)	5 (10.6)	1 (2.1)	10 (21.3)	47
		合計	15 (13.5)	69 (62.2)	5 (4.5)	8 (7.2)	6 (5.4)	16 (14.4)	111
		検定結果	$\chi^2(1)=0.858$ $p=0.354$	$\chi^2(1)=1.623$ $p=0.203$	(f) $p=0.161$	(f) $p=0.280$	(f) $p=0.239$	$\chi^2(1)=3.111$ $p=0.078$	
	女子	一般単回群	10 (22.2)	32 (71.1)	2 (4.4)	3 (6.7)	2 (4.4)	4 (8.9)	45
		一般反復群	13 (22.8)	42 (73.7)	4 (7.0)	11 (19.3)	7 (12.3)	14 (24.6)	57
		合計	23 (22.5)	74 (72.5)	6 (5.9)	14 (13.7)	9 (8.8)	18 (17.6)	102
		検定結果	$\chi^2(1)=0.005$ $p=0.944$	$\chi^2(1)=0.084$ $p=0.772$	(f) $p=0.692$	$\chi^2(1)=3.388$ $p=0.066$	(f) $p=0.292$	$\chi^2(1)=4.250$ $p=0.039^*$	

注1 法務総合研究所の調査による。

2 無回答を除く。

3 重複選択による。

4 グラフ及び表は、各項目を選択したもののみを挙げている。

5 ()内は、総数に対する比率である。

6 図4の注6に同じ。

7 図29の注6に同じ。

6 非行との関連についての認識

図32は、性的暴力①（接触）及び②（性交）の被害経験者の非行関連認識を、男女について群別に見たものである。男子では性的暴力①及び②とも、「思わない」とする者が一般単回群で90％台、一般反復群で80％台と最も高い比率を占めている。女子でも性的暴力①及び②とも、「思わない」とする者がどちらの群でも最も高い比率を占めているが、「思う」とする者も、10ないし20％台を占めている。なお、女子の性的暴力②（性交）を除き、一般単回群と一般反復群に有意差は見られない。

また、被害期間別に見ると、男子の性的暴力①（モンテカルロ法による。p=0.002）及び女子の性的暴力②（同p=0.015）で有意差が見られ、残差分析の結果、いずれの場合も、「中学生からの被害」について非行との関連はないとする者が有意に多い。また、男子の性的暴力①の「小学校までの被害」及び女子の性的暴力②の「早発・長期間の被害」についても同様に、非行との関連はないとする者が有為に多い。

図32 性的暴力の被害経験と非行の関連認識

図32-1 性的暴力①（接触）

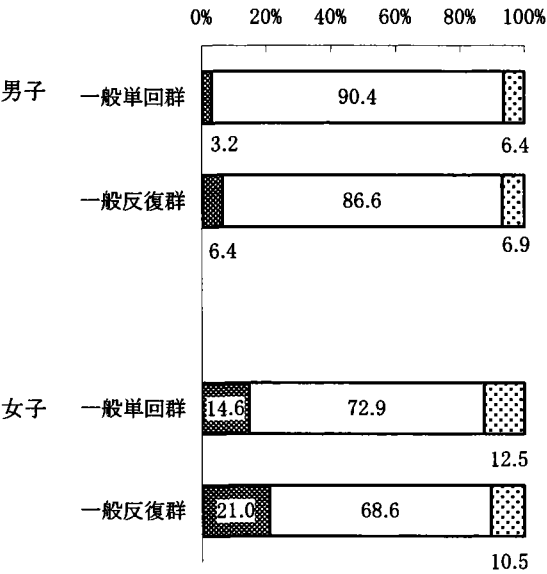
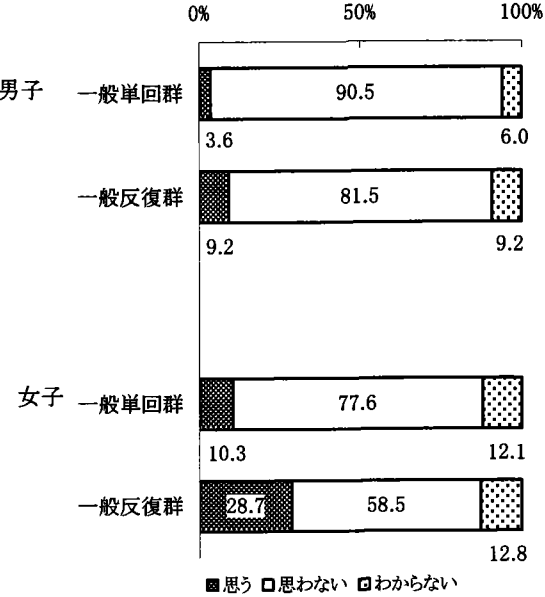


図32-2 性的暴力②（性交）



		性的暴力①(接触)				性的暴力②(性交)				検定結果
		思う	思わない	わからない	合計	思う	思わない	わからない	合計	
男子	一般単回群	5 (3.2)	141 (90.4)	10 (6.4)	156 (100.0)	3 (3.6)	76 (90.5)	5 (6.0)	84 (100.0)	$\chi^2(2)=2.003$ $p=0.367$
	一般反復群	13 (6.4)	175 (86.6)	14 (6.9)	202 (100.0)	6 (9.2)	53 (81.5)	6 (9.2)	65 (100.0)	
	合計	18 (5.0)	316 (88.3)	24 (6.7)	358 (100.0)	9 (6.0)	129 (86.6)	11 (7.4)	149 (100.0)	
女子	一般単回群	7 (14.6)	35 (72.9)	6 (12.5)	48 (100.0)	6 (10.3)	45 (77.6)	7 (12.1)	58 (100.0)	$\chi^2(2)=7.578$ $p=0.023^*$
	一般反復群	22 (21.0)	72 (68.6)	11 (10.5)	105 (100.0)	27 (28.7)	55 (58.5)	12 (12.8)	94 (100.0)	
	合計	29 (19.0)	107 (69.9)	17 (11.1)	153 (100.0)	33 (21.7)	100 (65.8)	19 (12.5)	152 (100.0)	

注1 法務総合研究所の調査による。
2 無回答を除く。
3 ()内は、構成比である。
4 図1の注3に同じ。
5 図9の注3に同じ。
6 図29の注6に同じ。

第12 家族以外の者からの加害行為の状況のまとめと考察

1 まとめ

ここでは、家族以外の者からの恐喝、身体的暴力①（軽度）、②（重度）、性的暴力①（接触）及び②（性交）について、それぞれの被害の状況や被害を受けた時に少年がとった行動等を見てみた。なお、分析に際しては、家族以外の者からの加害行為を受けた経験のある者を「一般単回群」（一度だけ被害を受けたとする者及び被害回数について「覚えていない」とする者）と「一般反復群」（繰り返し被害を受けたとする者）に分け、群間の対比を含め、家族以外の者からの身体的暴力等の被害経験の特徴を把握することに努めた。

その結果の概要は、次のとおりである。

- (1) 身体的暴力等及び性的暴力を受けた経験のある者は、身体的暴力①を除き、男女で有意差が見られ、恐喝及び身体的暴力②は男子が、性的暴力①及び②は女子が、それぞれ有意に多い。
- (2) 家族から3種類の身体的暴力等及び2種類の性的暴力のいずれか一つでも受けた経験のある者は、全体の約90%である。また、これら5つの加害行為について少なくとも一つ以上の反復被害経験のある者は全体の約80%で、男女の有意差は見られない。
- (3) 被害類型を見ると、男子では「身体的暴力等の反復被害経験があり、性的暴力の被害経験のない者」が約60%、女子では「身体的暴力等及び性的暴力双方の反復被害経験がある者」が約40%と、それぞれ最も多くなっている。
- (4) 家族以外の者からの身体的暴力等の被害状況については、次のとおりである。
 - ① 身体的暴力等の三つの加害行為のうちいずれか一つでも受けた経験のある者は、男子で約90%、女子で約80%を占め、それら加害行為のうち一つ以上について反復被害経験のある者は、男女とも約70%である。
 - ② 最も多くの者が身体的暴力等を受けた時期は、一般単回群の場合、男女とも、恐喝及び身体的暴力①が中学生の時で、②が中学卒業後であるが、一般反復群の場合、女子の身体的暴力②が中学卒業後であることを除き、いずれも中学生の時である。
 - ③ 一般反復群について、被害期間を見ると、男女とも、いずれの加害行為についても、中学生からの被害が最も多い。
 - ④ 一般反復群について、身体的暴力等の加害者の種類数を見ると、いずれの加害行為についても、男女とも、半数以上の者が複数種類の加害者を挙げている。また、被害期間別に見ると、小学生までの被害の場合、男女とも、いずれの加害行為についても、加害者は1種類とする者が半数以上であるが、早発・長期間の被害の場合、男女とも身体的暴力①及び②について、加害者は3種類とする者がおおむね半数以上である。
 - ⑤ 身体的暴力等の最もひどい加害者について最も多いのは、一般単回群では、恐喝の場合、男女とも全く知らない人、身体的暴力①及び②の場合、男子が先輩で女子が友達・恋人である。一般反復群では、恐喝の場合、男女とも先輩、身体的暴力①及び②の場合、男子が先輩で女子が友達・恋人である。
 - ⑥ 一般反復群について、身体的暴力等（女子の身体的暴力②を除く。）の最もひどい加害者と被害期間の間に有意な関連が見られ、男子の場合、恐喝及び身体的暴力①では、「小学生までの被害」で友達・恋人、「中学生からの被害」で先輩が、身体的暴力②では、「中学生からの被害」で先輩、「早発・

長期間の被害」で友達・恋人及び学校や施設の先生が、それぞれ有意に多い。

(5) 身体的暴力等を受けた時の行動等については、次のとおりである。

- ① 身体的暴力等を受けた経験を誰かに言ったことがあるとする者は、男子で60から70%, 女子で70から90%である。群別に見ると、男子で、いずれの加害行為についても、「言ったことがある」とする者が一般反復群で有意に多い。また、一般反復群について被害期間別に見ると、男女とも、いずれの加害行為についても、「言ったことがある」とする者の比率は、「小学生までの被害」が他の二つに比べて低い。
- ② 身体的暴力等を受けた経験を言った相手は、男女とも、いずれの加害行為についても、友達・恋人・先輩が最も高いが、一般反復群について被害期間別に見ると、「小学生までの被害」の場合は、いずれの加害行為についても、男女とも父、母及びきょうだいの比率が高い。
- ③ 一般反復群で身体的暴力等を受けた経験を言った者について、その話を信じてくれた人の有無を被害期間別に見ると、男子の恐喝及び身体的暴力①で、「小学生までの被害」で「いなかった」とする者が有意に多い。
- ④ 身体的暴力等を受けた経験を言った相手が1人の者について、相手別に話を信じてくれたかどうかを見ると、男子でいずれの加害行為についても有意差が見られ、言った相手が父(身体的暴力②), 母(恐喝及び身体的暴力②), 警察(恐喝), 先生(身体的暴力①)で、信じてくれた人がいたとする者が有意に少ない。
- ⑤ 身体的暴力等を受けた経験を言わなかった理由として、男子では、いずれの加害行為においても、「たいした被害ではなかった」は一般単回群で、「言ってもむだだと思った」、「言うとかえってひどい目にあうと思った」は一般反復群で有意に多くなっている。
- ⑥ 身体的暴力等の被害を受けたときの行動について、男女とも、いずれの加害行為についても、どちらの群も「じっとがまんした」とする者が最も多い。これに次いで、男子では、いずれの加害行為も、一般単回群では「気にしたり、考えたりしないようにした」、「自分も他の人に同じようなことをした」、「相手にやり返した／仕返しをした」が、一般反復群では「自分も他の人に同じようなことをした」、「相手にやり返した／仕返しをした」が高い比率となっている。また、女子でも、一般単回群ではいずれの加害行為も、「気にしたり、考えたりしないようにした」が高くなっている。一般反復群では恐喝で「やめるよう言った／言ってもらった」、「酒を飲んだ／薬物を使用した」、身体的暴力①で「相手にやり返した／仕返しをした」、「やめるよう言った／言ってもらった」、同②で「酒を飲んだ／薬物を使用した」、「相手にやり返した／仕返しをした」がそれぞれ高くなっている。
- ⑦ 身体的暴力等を受けたときの行動には、被害期間によって異なる傾向が見られる。男子では、「家出した」(②), 「自殺しようとした」(②), 「自分の体を傷つけた」(恐喝, ②), 「趣味・スポーツをした」(②), 「やつあたりや、いやがらせをした」(①, ②), 「相手にやり返した／仕返しをした」(恐喝, ①, ②) 及び「自分も他の人に同じようなことをした」(①, ②) が、いずれも中学生からの被害で有意に少なく、早発・長期間の被害で有意に多くなっている。女子でも、「家出した」(②), 「やつあたりや、いやがらせをした」(①, ②), 「相手にやり返した／仕返しをした」(①) 及び「自分も他の人に同じようなことをした」(①, ②) で男子と同じ傾向にあるほか、「やめるよう言った／言ってもらった」(②) が、中学生からの被害で、「酒を飲んだ／薬物を使用した」(①, ②) が早発・長期間の被害で、それぞれ有意に多くなっている。
- ⑧ 身体的暴力等を受けた経験のある者のうち、その加害行為が「終わった」とする者は、女子の恐喝の一般反復群で約60%とやや低くなっている他は、すべて70から80%台である。終了した理由と

して、男女ともいずれの加害行為も、「相手に会わなくなった」とする者の比率が最も高くなっている。また、男子について、いずれの加害行為についても、「自分の力が強くなった」、「自分がやり返した／自分が仕返しをした」、「自分が施設に入った」で、一般反復群が有意に多くなっている。

⑨ 身体的暴力等の被害経験と非行との関連についての認識を尋ねると、「思う」とする者は、女子の恐喝で約28%（一般単回群）ないし約30%（一般反復群）であるほかは、いずれの加害行為も、一般単回群が10%台、一般反復群が20%台である。また、いずれの加害行為についても、男子で群間に有意差が見られ、「思わない」は一般単回群で、「思う」及び「分からない」は一般反復群で、それぞれ有意に多い。

⑩ 一般反復群について、非行関連認識を最もひどい加害者別に見ると、いずれの加害行為についても男子で有意差が見られ、「思う」は、友達・恋人（恐喝，身体的暴力②），先生（身体的暴力①，②）が、「思わない」は、先輩（身体的暴力①），全く知らない人（恐喝，身体的暴力①，②）が、それぞれ有意に多くなっている。

⑪ 男子の一般反復群について、非行関連認識と被害を受けたときの行動の関係を見ると、いずれの加害行為についても、「思わない」とする者は、被害時に「じっとがまんした」、「気にしたり、考えたりしないようにした」、「相手にやり返した／仕返しをした」が多く、「思う」とする者は、「家に閉じこもった」（恐喝，①，②），「やつあたりや、いやがらせをした」（①，②），「酒を飲んだ／薬物を使用した」（①，②），「自分も他の人に同じようなことをした」（①，②）が多く、「わからない」とする者は、「何もしたくなくなった」（恐喝，②），「趣味・スポーツをした」（恐喝，①）が多くなっている。

(6) 家族以外の者からの性的暴力の被害状況は、次のとおりである。

① 性的暴力①及び②のどちらか一つでも受けた経験のある者は、男子で約20%，女子で約80%であり、それら加害行為のうち一つ以上について反復被害経験のある者は、男子で約10%，女子で約60%である。

② 最も多くの者が性的暴力を受けた時期は、性的暴力①で、男子はどちらの群も、中学卒業後、女子は中学生の時（一般単回群）あるいは中学生の時及び中学卒業後（一般反復群）である。②では、男女ともどちらの群も中学卒業後である。

③ 一般反復群について、被害期間を見ると、男女とも、どちらの加害行為についても、中学生からの被害が80%以上を占めている。

④ 一般反復群について、性的暴力の加害者の種類数を見ると、複数種類の加害者を挙げた者の比率は、男子で約50%（性的暴力①）ないし60%（②），女子で約70%である。また、性的暴力①について、男子の加害者が1種類、女子の3種類以上が有意に多い。

⑤ 性的暴力の最もひどい加害者について最も多いのは、一般単回群では、①の場合、男子が友達・恋人、女子が全く知らない人、②の場合、男子が友達・恋人で女子が先輩である。一般反復群では、①の場合、男子が友達・恋人及び先輩、女子が全く知らない人、②の場合、男子が友達・恋人及び先輩で女子が先輩である。また、①，②とも、男女で有意差が見られ、男子は友達・恋人が、女子は全く知らない人が有意に多い。

(7) 性的暴力を受けた時の行動等については、次のとおりである。

① 性的暴力を受けた経験を誰かに言ったことがあるかどうかについては、①，②とも、男子ではどちらの群も「言ったことはない」が、女子は、「言ったことがある」とする者の比率が高い。

② 性的暴力を受けた経験を言った相手は、男女とも、どちらの加害行為についても、友達・恋人・先輩が最も高い。

- ③ 性的暴力を受けた経験を言わなかった理由として、男子では、性的暴力①の一般単回群を除き、いずれの場合も「言うのがはずかしかった」とする比率が最も高く、次いで「たいした被害ではなかった」となっている。女子はいずれの場合も「言うのがはずかしかった」とする比率が最も高く、次いで「言ってもむだだと思った」が高くなっているほか、「たいした被害ではなかった」(①の一般単回群)、「自分で解決しようと思った」(②の一般反復群)も同率である。
- ④ 性的暴力の被害を受けたときの行動について、男子は、①、②ともどちらの群も、「やめるよう言った／言ってもらった」、「じっとがまんした」、「気にしたり、考えたりしないようにした」とする者の比率が、他の項目に比べて高い。女子は、①の一般単回群の場合、男子と同様である。①の一般反復群と②のどちらの群も、先の三つに加えて、「何もしたくなくなった」、「酒を飲んだ／薬物を使用した」が高いほか、②の一般反復群では、「自殺しようとした」、「自分の体を傷つけた」も高い。
- ⑤ 性的暴力を受けた経験のある者のうち、その加害行為が「終わった」とする者は、①、②とも、男子がどちらの群でも70%台、女子が一般単回群で70%台、一般反復群で60%台である。終了した理由として、男女ともどちらの加害行為も、「相手に会わなくなった」とする者の比率が最も高くなっている。
- ⑥ 性的暴力の被害経験と非行との関連についての認識を尋ねると、男子では性的暴①、②とも、「思わない」とする者が一般単回群で90%台、一般反復群で80%台と最も高い比率を占めている。女子でも①、②とも、「思わない」とする者がどちらの群でも最も高い比率を占めているが、「思う」とする者も、10ないし20%台を占めている。

2 考察

家族以外の者からの被害経験については、既に第1報告で「一般被害群」として分析の対象とし、家族からの被害との対比で考察をしているので、ここでは、今回の分析結果を踏まえ、次の3点について若干の考察を述べるにとどめたい。

第1点は、家族以外の者からの被害経験者の比率の高さについてである。

家族以外の者から身体的暴力等(恐喝、身体的暴力①及び②)及び性的暴力のうち、一つでも被害経験のある者は、回答者全体の約94%を占め、ほとんどの者に被害経験があることがわかった。

ただし、これらの数値については、少年の自己申告によるものであることにも留意する必要がある。加えて、それぞれの被害に到った個別の経緯を調べていないので断定的なことは言えないものの、被害経験があるとした回答者の中には、少年から仕掛けられたか、不覚にも自分がけがをしたとか、少年の方も相手に被害を与えたという場合も少なからず含まれていると考えられる。したがって、本調査においては、少年が身体的暴力等や性的暴力を受けるに到った個別の経緯や、責任の所在を考慮しないで、「被害」という言葉が用いられていることをも念頭に置いて結果を見る必要がある。

その上で、被害経験者の比率を詳しく検討してみると、繰り返して被害を受けた者が、家族からの被害の場合(被虐待群)においては、回答者全体の約50%であったが、家族以外の者からの被害の場合(一般反復群)においては約80%と高いこと、及び一般反復群について、加害者が1種類とする者は50%以下で、半数以上の者は2ないし3種類以上の加害者を挙げていることがわかる。

虐待の場合は、その被害の場である家庭が少年にとっては寝食の場でもあり、また被害を受けると分かっていても、家出もしない限り、加害者との接触を避けることはできない。これに対し、家族以外の者からの被害は、むしろ加害者を避けることが比較的容易であることを考えると、少年が繰り返し被害を受けた背景について、更に検討する必要があるものと思われる。また、友達・恋人と職場関係の人、

先輩と全く知らない人といったように、異なる種類の加害者がいるということは、多くの場合、被害の場所が異なることを意味し、少年が、例えば交友関係と職場関係等日常生活のいくつかの対人関係において、被害にあったことを示すものと思われ、同様にその原因について検討する必要がある。

一つの仮説として、一般反復群の少年は、身体的暴力等又は性的暴力に出会いやすい生活、行動をしていた者が多いことが考えられるが、具体的にどのような生活、行動であったか、またその背景には何が考えられるか等については、先にも述べたとおり今回の調査の範囲を超えており、今後別途の方法で検討する必要がある。

第2点は、身体的暴力等の被害経験の少年の受け止めかたについてである。

家族以外の者からの身体的暴力等による被害経験については、家族からの場合に比べて、それが非行の原因であると受け止めている者は、全体としては少ない。その理由の一つとして、その被害経験が、先輩や全く知らない人が加害者となった、おそらくは不良交友の中で生じたものであることが考えられる。このような被害経験に対しては、少年は我慢したり、気にしないようにしたり、あるいは仕返しをすることで対応している。一方、被害経験が非行の原因だとする者については、加害者が友達、先生といった、おそらくは学校生活の範囲内で被害にあっており、気にしないようにすることも、やり返すこともできず、引きこもったり、自傷他害の行為に出たとする者が多い。

また、非行の原因ではないにしても、繰り返し被害を受けながら、それを誰にもいわなかった者の中には、暴力に対する無力感や恐怖を抱いている者が少なくないことが伺われる。また、特に男子で、「自分が強くなる」ことでこうした暴力を終了させた者が多いと思われる。

このように、少年の身体的暴力等による被害経験の受け止め方には、大きく二つのタイプがあるように思われる。すなわち、先輩・後輩といった上下関係のある不良集団に入って生活する中で、先輩等から被害を受けるが、がまんしたり、やり返すことで処理している者と、学校生活やその延長上の人間関係の中で被害に遭い、引きこもったり自傷他害の行為に出る者である。後者の少年が被害経験によって受けた暴力に対する無力感や恐怖はもちろん、前者の少年の暴力に対する認識、とりわけ、不良集団における上下関係を背景とした暴力に対する認識については、十分な指導が必要であると考えられる。

第3点は、男子の性的暴力の被害経験についてである。

性的暴力について、女子は回答者の約78%に被害経験があった。非行少女における性の問題については、従来からさまざまな調査、研究がなされており、今回の結果についてもこれらを裏付ける高い数値といえる。一方、家族以外の者による男子の性的被害について、今回の調査では回答者の約19%に被害経験があるとの結果を得たが、同様の調査がないので、この数値が高いか低いかを判断することはできない。

男子について、性的暴力の被害期間や加害者を見ると、中学生以後の先輩を含めた友人関係の中で被害に遭っている者が多く、全く知らない人からの被害は女子に比べて少ない。また、その被害経験を人に話した者は、男子の他の被害経験に比べるとかなり少なく、被害を受けたとき、飲酒・薬物使用、やつあたり、仕返し、他者への同種の加害行為等に出た者の比率は、女子より低くなっている。被害経験が非行の原因だとするものの比率を見ると、性的暴力の被害男子は、女子と比べても、また他の加害行為の被害男子と比べてもきわめて低くなっている。

これらのことから、男子の性的暴力については、被害にあってもあまり打撃を受けないですまされている印象を受ける。しかし、性的被害が終わったかどうかについては、性的暴力②の一般反復群を除き、男女の比率に大きな開きはない。いずれにしても、従来余り関心の払われなかった部分であり、被害経験者の事例を通して、女子の場合のように重要な問題であるのか、あるいは一つの出来事として触れないうで済ませてよいものなのか、問題性の軽重を検討しておく必要があると考える。

資料 集計表

問1「あなたが、そのような被害にあったのはいつですか」

区 分	総 数			小学校入学前			小学生の時		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	1,349	1,299	50	19 (1.4)	18 (1.4)	1 (2.0)	341 (25.3)	330 (25.4)	11 (22.0)
一般単回群	490	476	14	1 (0.2)	1 (0.2)	-	88 (18.0)	87 (18.3)	1 (7.1)
一般反復群	859	823	36	18 (2.1)	17 (2.1)	1 (2.8)	253 (29.5)	243 (29.5)	10 (27.8)
身体的暴力①(軽度)	1,438	1,304	134	94 (6.5)	88 (6.7)	6 (4.5)	610 (42.4)	565 (43.3)	45 (33.6)
一般単回群	323	297	26	4 (1.2)	4 (1.3)	- (0.0)	56 (17.3)	52 (17.5)	4 (15.4)
一般反復群	1,115	1,007	108	90 (8.1)	84 (8.3)	6 (5.6)	554 (49.7)	513 (50.9)	41 (38.0)
身体的暴力②(重度)	1,872	1,711	161	34 (1.8)	30 (1.8)	4 (2.5)	357 (19.1)	340 (19.9)	17 (10.6)
一般単回群	511	471	40	1 (0.2)	1 (0.2)	- (0.0)	16 (3.1)	15 (3.2)	1 (2.5)
一般反復群	1,361	1,240	121	33 (2.4)	29 (2.3)	4 (3.3)	341 (25.1)	325 (26.2)	16 (13.2)
性的暴力①(接触)	516	361	155	11 (2.1)	5 (1.4)	6 (3.9)	55 (10.7)	31 (8.6)	24 (15.5)
一般単回群	205	157	48	2 (1.0)	1 (0.6)	1 (2.1)	8 (3.9)	5 (3.2)	3 (6.3)
一般反復群	311	204	107	9 (2.9)	4 (2.0)	5 (4.7)	47 (15.1)	26 (12.7)	21 (19.6)
性的暴力②(性交)	305	151	154	-	-	-	17 (5.6)	9 (6.0)	8 (5.2)
一般単回群	145	87	58	-	-	-	3 (2.1)	2 (2.3)	1 (1.7)
一般反復群	160	64	96	-	-	-	14 (8.8)	7 (10.9)	7 (7.3)

区 分	中学生の時			中学卒業後			いつだったか 覚えていない		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	931 (69.0)	902 (69.4)	29 (58.0)	700 (51.9)	677 (52.1)	23 (46.0)	35 (2.6)	31 (2.4)	4 (8.0)
一般単回群	251 (51.2)	242 (50.8)	9 (64.3)	135 (27.6)	131 (27.5)	4 (28.6)	15 (3.1)	15 (3.2)	-
一般反復群	680 (79.2)	660 (80.2)	20 (55.6)	565 (65.8)	546 (66.3)	19 (52.8)	20 (2.3)	16 (1.9)	4 (11.1)
身体的暴力①(軽度)	1,039 (72.3)	948 (72.7)	91 (67.9)	775 (53.9)	702 (53.8)	73 (54.5)	41 (2.9)	37 (2.8)	4 (3.0)
一般単回群	133 (41.2)	119 (40.1)	14 (53.8)	106 (32.8)	98 (33.0)	8 (30.8)	24 (7.4)	24 (8.1)	-
一般反復群	906 (81.3)	829 (82.3)	77 (71.3)	669 (60.0)	604 (60.0)	65 (60.2)	17 (1.5)	13 (1.3)	4 (3.7)
身体的暴力②(重度)	1,292 (69.0)	1,195 (69.8)	97 (60.2)	1,289 (68.9)	1,182 (69.1)	107 (66.5)	35 (1.9)	33 (1.9)	2 (1.2)
一般単回群	202 (39.5)	183 (38.9)	19 (47.5)	274 (53.6)	254 (53.9)	20 (50.0)	18 (3.5)	18 (3.8)	-
一般反復群	1,090 (80.1)	1,012 (81.6)	78 (64.5)	1,015 (74.6)	928 (74.8)	87 (71.9)	17 (1.2)	15 (1.2)	2 (1.7)
性的暴力①(接触)	292 (56.6)	195 (54.0)	97 (62.6)	317 (61.4)	222 (61.5)	95 (61.3)	4 (0.8)	3 (0.8)	1 (0.6)
一般単回群	96 (46.8)	73 (46.5)	23 (47.9)	99 (48.3)	78 (49.7)	21 (43.8)	-	-	-
一般反復群	196 (63.0)	122 (59.8)	74 (69.2)	218 (70.1)	144 (70.6)	74 (69.2)	4 (1.3)	3 (75.0)	1 (0.9)
性的暴力②(性交)	149 (48.9)	63 (41.7)	86 (55.8)	206 (67.5)	105 (69.5)	101 (65.6)	5 (1.6)	2 (1.3)	3 (1.9)
一般単回群	54 (37.2)	29 (33.3)	25 (43.1)	88 (60.7)	56 (64.4)	32 (55.2)	-	-	-
一般反復群	95 (59.4)	34 (53.1)	61 (63.5)	118 (73.8)	49 (76.6)	69 (71.9)	5 (3.1)	2 (3.1)	3 (3.1)

- 注 1 法務総合研究所の調査による。
 2 () 内は、総数に対する比率である。
 3 重複選択による。

問3a「相手は誰ですか」

区 分	総 数			友達・恋人			先輩			学校や施設の先生		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	1,349	1,299	50	209	187	22	851	822	29	57	56	1
一般単回群	490	476	14	(15.5)	(14.4)	(44.0)	(63.1)	(63.3)	(58.0)	(4.2)	(4.3)	(2.0)
一般反復群	859	823	36	(6.1)	(5.3)	(35.7)	(39.4)	(39.5)	(35.7)	(1.4)	(1.5)	-
身体的暴力①(軽度)	1,440	1,307	133	773	706	67	301	276	25	595	515	80
一般単回群	325	299	26	(53.7)	(54.0)	(50.4)	(20.9)	(21.1)	(18.8)	(41.3)	(39.4)	(60.2)
一般反復群	1,115	1,008	107	(85)	(74)	(11)	(190)	(180)	(10)	(52)	(48)	(4)
身体的暴力②(重度)	1,875	1,714	161	(26.2)	(24.7)	(42.3)	(58.5)	(60.2)	(38.5)	(16.0)	(16.1)	(15.4)
一般単回群	514	474	40	(688)	(632)	(56)	(111)	(96)	(15)	(543)	(467)	(76)
一般反復群	1,361	1,240	121	(61.7)	(62.7)	(52.3)	(10.0)	(9.5)	(14.0)	(48.7)	(46.3)	(71.0)
性的暴力①(接触)	516	361	155	592	476	116	1,411	1,344	67	256	242	14
一般単回群	204	156	48	(31.6)	(27.8)	(72.0)	(75.3)	(78.4)	(41.6)	(13.7)	(14.1)	(8.7)
一般反復群	312	205	107	(92)	(74)	(18)	(324)	(311)	(13)	(29)	(28)	(1)
性的暴力②(性交)	304	151	153	(17.9)	(15.6)	(45.0)	(63.0)	(65.6)	(32.5)	(5.6)	(5.9)	(2.5)
一般単回群	145	87	58	500	402	98	1,087	1,033	54	227	214	13
一般反復群	159	64	95	(36.7)	(32.4)	(81.0)	(79.9)	(83.3)	(44.6)	(16.7)	(17.3)	(10.7)
性的暴力①(接触)	516	361	155	261	198	63	238	176	62	9	6	3
一般単回群	204	156	48	(50.6)	(54.8)	(40.6)	(46.1)	(48.8)	(40.0)	(1.7)	(1.7)	(1.9)
一般反復群	312	205	107	(84)	(74)	(10)	(77)	(65)	(12)	(2)	(2)	-
性的暴力②(性交)	304	151	153	(41.2)	(47.4)	(20.8)	(37.7)	(41.7)	(25.0)	(1.0)	(1.3)	-
一般単回群	145	87	58	(177)	(124)	(53)	(161)	(111)	(50)	(7)	(4)	(3)
一般反復群	159	64	95	(56.7)	(60.5)	(49.5)	(51.6)	(54.1)	(46.7)	(2.2)	(2.0)	(2.8)
性的暴力②(性交)	304	151	153	141	78	63	144	75	69	3	1	2
一般単回群	145	87	58	(46.4)	(51.7)	(41.2)	(47.4)	(49.7)	(45.1)	(1.0)	(0.7)	(1.3)
一般反復群	159	64	95	(52)	(38)	(14)	(57)	(36)	(21)	-	-	-
				(35.9)	(43.7)	(24.1)	(39.3)	(41.4)	(36.2)			
				(89)	(40)	(49)	(87)	(39)	(48)	(3)	(1)	(2)
				(56.0)	(62.5)	(51.6)	(54.7)	(60.9)	(50.5)	(1.9)	(1.6)	(2.1)

区 分	仕事関係の人			同居していない親類の人			顔見知り(名前は知らない人)			全く知らない人		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	44	43	1	5	4	1	222	209	13	666	650	16
一般単回群	(3.3)	(3.3)	(2.0)	(0.4)	(0.3)	(2.0)	(16.5)	(16.1)	(26.0)	(49.4)	(50.0)	(32.0)
一般反復群	3	3	-	2	2	-	38	37	1	279	274	5
身体的暴力①(軽度)	(0.6)	(0.6)	-	(0.4)	(0.4)	-	(7.8)	(7.8)	(7.1)	(56.9)	(57.6)	(35.7)
身体的暴力②(重度)	41	40	1	3	2	1	184	172	12	387	376	11
性的暴力①(接触)	(4.8)	(4.9)	(2.8)	(0.3)	(0.2)	(2.8)	(21.4)	(20.9)	(33.3)	(45.1)	(45.7)	(30.6)
性的暴力②(性交)	64	57	7	173	143	30	53	47	6	119	110	9
一般単回群	(4.4)	(4.4)	(5.3)	(12.0)	(10.9)	(22.6)	(3.7)	(3.6)	(4.5)	(8.3)	(8.4)	(6.8)
一般反復群	13	13	-	7	6	1	34	32	2	52	50	2
身体的暴力①(軽度)	(4.0)	(4.3)	-	(2.2)	(2.0)	(3.8)	(10.5)	(10.7)	(7.7)	(16.0)	(16.7)	(7.7)
身体的暴力②(重度)	51	44	7	166	137	29	19	15	4	67	60	7
性的暴力①(接触)	(4.6)	(4.4)	(6.5)	(14.9)	(13.6)	(27.1)	(1.7)	(1.5)	(3.7)	(6.0)	(6.0)	(6.5)
性的暴力②(性交)	123	120	3	23	18	5	434	398	36	580	553	27
一般単回群	(6.6)	(7.0)	(1.9)	(1.2)	(1.1)	(3.1)	(23.1)	(23.2)	(22.4)	(30.9)	(32.3)	(16.8)
一般反復群	19	19	-	5	2	3	80	73	7	120	113	7
性的暴力①(接触)	(3.7)	(4.0)	-	(1.0)	(0.4)	(7.5)	(15.6)	(15.4)	(17.5)	(23.0)	(23.8)	(17.5)
性的暴力②(性交)	104	101	3	18	16	2	354	325	29	460	440	20
一般単回群	(7.6)	(8.1)	(2.5)	(1.3)	(1.3)	(1.7)	(26.0)	(26.2)	(24.0)	(33.8)	(35.5)	(16.5)
性的暴力①(接触)	31	15	16	12	3	9	164	118	46	128	50	78
一般単回群	(6.0)	(4.2)	(10.3)	(2.3)	(0.8)	(5.8)	(31.8)	(32.7)	(29.7)	(24.8)	(13.9)	(50.3)
一般反復群	9	6	3	1	-	1	69	59	10	43	23	20
性的暴力②(性交)	(4.4)	(3.8)	(6.3)	(0.5)	-	(2.1)	(33.8)	(37.8)	(20.8)	(21.1)	(14.7)	(41.7)
性的暴力①(接触)	22	9	13	11	3	8	95	59	36	85	27	58
性的暴力②(性交)	(7.1)	(4.4)	(12.1)	(3.5)	(1.5)	(7.5)	(30.4)	(28.8)	(33.6)	(27.2)	(13.2)	(54.2)
性的暴力②(性交)	20	5	15	151	1	1	94	37	57	77	15	62
一般単回群	(6.6)	(3.3)	(9.8)	(49.7)	(0.7)	(0.7)	(30.9)	(24.5)	(37.3)	(25.3)	(9.9)	(40.5)
一般反復群	4	3	1	87	-	-	33	16	17	22	7	15
性的暴力①(接触)	(2.8)	(3.4)	(1.7)	(60.0)			(22.8)	(18.4)	(29.3)	(15.2)	(8.0)	(25.9)
性的暴力②(性交)	16	2	14	64	1	1	61	21	40	55	8	47
性的暴力②(性交)	(10.1)	(3.1)	(14.7)	(40.3)	(1.6)	(1.1)	(38.4)	(32.8)	(42.1)	(34.6)	(12.5)	(49.5)

区 分	相手を見ていない			その他		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	15 (1.1)	14 (1.1)	1 (2.0)	82 (6.1)	76 (5.9)	6 (12.0)
一般単回群	1 (0.2)	1 (0.2)	-	23 (4.7)	22 (4.6)	1 (7.1)
一般反復群	14 (1.6)	13 (1.6)	1 (2.8)	59 (6.9)	54 (6.6)	5 (13.9)
身体的暴力①(軽度)	63 (4.4)	54 (4.1)	9 (6.8)	100 (6.9)	85 (6.5)	15 (11.3)
一般単回群	6 (1.8)	6 (2.0)	-	11 (3.4)	10 (3.3)	1 (3.8)
一般反復群	57 (5.1)	48 (4.8)	9 (8.4)	89 (8.0)	75 (7.4)	14 (13.1)
身体的暴力②(重度)	49 (2.6)	48 (2.8)	1 (0.6)	149 (7.9)	137 (8.0)	12 (7.5)
一般単回群	8 (1.6)	8 (1.6)	-	25 (4.9)	22 (4.3)	3 (0.6)
一般反復群	41 (3.0)	40 (2.9)	1 (0.1)	124 (9.1)	115 (8.4)	9 (0.7)
性的暴力①(接触)	15 (2.9)	5 (1.4)	10 (6.5)	47 (9.1)	21 (5.8)	26 (16.8)
一般単回群	3 (1.5)	2 (1.3)	1 (2.1)	15 (7.4)	7 (4.5)	8 (16.7)
一般反復群	12 (3.8)	3 (1.5)	9 (8.4)	32 (10.3)	14 (6.8)	18 (16.8)
性的暴力②(性交)	2 (0.7)	-	2 (1.3)	25 (8.2)	11 (7.3)	14 (9.2)
一般単回群	-	-	-	9 (6.2)	6 (6.9)	3 (5.2)
一般反復群	2 (1.3)	- (0.0)	2 (2.1)	16 (10.1)	5 (7.8)	11 (11.6)

注 1 法務総合研究所の調査による。
2 () 内は、総数に対する比率である。
3 重複選択による。
4 無回答を除く。

問3b「相手が2人以上いる場合は、あなたに最もひどい被害を与えた人を1人だけ選んでください」

区 分	総 数			友達・恋人			先輩			学校や施設の先生		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	1,267 (100.0)	1,222 (100.0)	45 (100.0)	103 (8.1)	91 (7.4)	12 (26.7)	623 (49.2)	608 (49.8)	15 (33.3)	9 (0.7)	9 (0.7)	-
一 般 単 回 群	474 (100.0)	461 (100.0)	13 (100.0)	21 (4.4)	17 (3.7)	4 (30.8)	159 (33.5)	156 (33.8)	3 (23.1)	-	-	-
一 般 反 復 群	793 (100.0)	761 (100.0)	32 (100.0)	82 (10.3)	74 (9.7)	8 (25.0)	464 (58.5)	452 (59.4)	12 (37.5)	9 (1.1)	9 (1.2)	-
身体的暴力①（軽度）	1,290 (100.0)	1,168 (100.0)	122 (100.0)	277 (21.5)	221 (18.9)	56 (45.9)	639 (49.5)	609 (52.1)	30 (24.6)	125 (9.7)	111 (9.5)	14 (11.5)
一 般 単 回 群	304 (100.0)	279 (100.0)	25 (100.0)	57 (18.8)	48 (17.2)	9 (36.0)	149 (49.0)	141 (50.5)	8 (32.0)	30 (9.9)	27 (9.7)	3 (12.0)
一 般 反 復 群	986 (100.0)	889 (100.0)	97 (100.0)	220 (22.3)	173 (19.5)	47 (48.5)	490 (49.7)	468 (52.6)	22 (22.7)	95 (9.6)	84 (9.4)	11 (11.3)
身体的暴力②（重度）	1,677 (100.0)	1,530 (100.0)	147 (100.0)	250 (14.9)	167 (10.9)	83 (56.5)	895 (53.4)	861 (56.3)	34 (23.1)	48 (2.9)	47 (3.1)	1 (0.7)
一 般 単 回 群	471 (100.0)	437 (100.0)	34 (100.0)	61 (13.0)	46 (10.5)	15 (44.1)	253 (53.7)	245 (56.1)	8 (23.5)	9 (1.9)	9 (2.1)	-
一 般 反 復 群	1,206 (100.0)	1,093 (100.0)	113 (100.0)	189 (15.7)	121 (11.1)	68 (60.2)	642 (53.2)	616 (56.4)	26 (23.0)	39 (3.2)	38 (3.5)	1 (0.9)
性的暴力①（接触）	469 (100.0)	331 (100.0)	138 (100.0)	151 (32.2)	124 (37.5)	27 (19.6)	145 (30.9)	119 (36.0)	26 (18.8)	2 (0.4)	2 (0.6)	-
一 般 単 回 群	192 (100.0)	145 (100.0)	47 (100.0)	64 (33.3)	55 (37.9)	9 (19.1)	58 (30.2)	49 (33.8)	9 (19.1)	1 (0.5)	1 (0.7)	-
一 般 反 復 群	277 (100.0)	186 (100.0)	91 (100.0)	87 (31.4)	69 (37.1)	18 (19.8)	87 (31.4)	70 (37.6)	17 (18.7)	1 (0.4)	1 (0.5)	-
性的暴力②（性交）	262 (100.0)	132 (100.0)	130 (100.0)	73 (27.9)	50 (37.9)	23 (17.7)	84 (32.1)	48 (36.4)	36 (27.7)	-	-	-
一 般 単 回 群	131 (100.0)	82 (100.0)	49 (100.0)	39 (29.8)	31 (37.8)	8 (16.3)	45 (34.4)	29 (35.4)	16 (32.7)	-	-	-
一 般 反 復 群	131 (100.0)	50 (100.0)	81 (100.0)	34 (26.0)	19 (38.0)	15 (18.5)	39 (29.8)	19 (38.0)	20 (24.7)	-	-	-

区 分	仕事関係の人			同居していない親類の人			顔見知り（名前は知らない人）			全く知らない人		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	7 (0.6)	7 (0.6)	-	1 (0.1)	1 (0.1)	-	78 (6.2)	71 (5.8)	7 (15.6)	390 (30.8)	381 (31.2)	9 (20.0)
一 般 単 回 群	2 (0.4)	2 (0.4)	-	-	-	-	26 (5.5)	26 (5.6)	-	245 (51.7)	240 (52.1)	5 (38.5)
一 般 反 復 群	5 (0.6)	5 (0.7)	-	1 (0.1)	1 (0.1)	-	52 (6.6)	45 (5.9)	7 (21.9)	145 (18.3)	141 (18.5)	4 (12.5)
身体的暴力①（軽度）	26 (2.0)	26 (2.2)	-	12 (0.9)	10 (0.9)	2 (1.6)	62 (4.8)	56 (4.8)	6 (4.9)	94 (7.3)	89 (7.6)	5 (4.1)
一 般 単 回 群	6 (2.0)	6 (2.2)	-	5 (1.6)	4 (1.4)	1 (4.0)	17 (5.6)	16 (5.7)	1 (4.0)	31 (10.2)	29 (10.4)	2 (8.0)
一 般 反 復 群	20 (2.0)	20 (2.2)	-	7 (0.7)	6 (0.7)	1 (1.0)	45 (4.6)	40 (4.5)	5 (5.2)	63 (6.4)	60 (6.7)	3 (3.1)
身体的暴力②（重度）	32 (1.9)	31 (2.0)	1 (0.7)	10 (0.6)	7 (0.5)	3 (2.0)	125 (7.5)	117 (7.6)	8 (5.4)	214 (12.8)	203 (13.3)	11 (7.5)
一 般 単 回 群	10 (2.1)	10 (2.3)	-	3 (0.6)	1 (0.2)	2 (5.9)	39 (8.3)	38 (8.7)	1 (2.9)	73 (15.5)	68 (15.6)	5 (14.7)
一 般 反 復 群	22 (1.8)	21 (1.9)	1 (0.9)	7 (0.6)	6 (0.5)	1 (0.9)	86 (7.1)	79 (7.2)	7 (6.2)	141 (11.7)	135 (12.4)	6 (5.3)
性的暴力①（接触）	12 (2.6)	7 (2.1)	5 (3.6)	3 (0.6)	1 (0.3)	2 (1.4)	52 (11.1)	34 (10.3)	18 (13.0)	71 (15.1)	28 (8.5)	43 (31.2)
一 般 単 回 群	7 (3.6)	4 (2.8)	3 (6.4)	-	-	-	18 (9.4)	12 (8.3)	6 (12.8)	34 (17.7)	19 (13.1)	15 (31.9)
一 般 反 復 群	5 (1.8)	3 (1.6)	2 (2.2)	3 (1.1)	1 (0.5)	2 (2.2)	34 (12.3)	22 (11.8)	12 (13.2)	37 (13.4)	9 (4.8)	28 (30.8)
性的暴力②（性交）	9 (3.4)	3 (2.3)	6 (4.6)	1 (0.4)	1 (0.8)	-	38 (14.5)	14 (10.6)	24 (18.5)	43 (16.4)	9 (6.8)	34 (26.2)
一 般 単 回 群	4 (3.1)	3 (3.7)	1 (2.0)	-	-	-	19 (14.5)	9 (11.0)	10 (20.4)	18 (13.7)	6 (7.3)	12 (24.5)
一 般 反 復 群	5 (3.8)	-	5 (6.2)	1 (0.8)	1 (2.0)	-	19 (14.5)	5 (10.0)	14 (17.3)	25 (19.1)	3 (6.0)	22 (27.2)

区 分	相手を見ていない			その他		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	2 (0.2)	2 (0.2)	-	54 (4.3)	52 (4.3)	2 (4.4)
一般単回群	1 (0.2)	1 (0.2)	-	20 (4.2)	19 (4.1)	1 (7.7)
一般反復群	1 (0.1)	1 (0.1)	-	34 (4.3)	33 (4.3)	1 (3.1)
身体的暴力①(軽度)	2 (0.2)	2 (0.2)	-	53 (4.1)	44 (3.8)	9 (7.4)
一般単回群	1 (0.3)	1 (0.4)	-	8 (2.6)	7 (2.5)	1 (4.0)
一般反復群	1 (0.1)	1 (0.1)	-	45 (4.6)	37 (4.2)	8 (8.2)
身体的暴力②(重度)	8 (0.5)	8 (0.5)	-	95 (5.7)	89 (5.8)	6 (4.1)
一般単回群	2 (0.4)	2 (0.5)	-	21 (4.5)	18 (4.1)	3 (8.8)
一般反復群	6 (0.5)	6 (0.5)	-	74 (6.1)	71 (6.5)	3 (2.7)
性的暴力①(接触)	4 (0.9)	2 (0.6)	2 (1.4)	29 (6.2)	14 (4.2)	15 (10.9)
一般単回群	1 (0.5)	1 (0.7)	-	9 (4.7)	4 (2.8)	5 (10.6)
一般反復群	3 (1.1)	1 (0.5)	2 (2.2)	20 (7.2)	10 (5.4)	10 (11.0)
性的暴力②(性交)	-	-	-	15 (5.7)	7 (5.3)	8 (6.2)
一般単回群	-	-	-	7 (5.3)	4 (4.9)	3 (6.1)
一般反復群	-	-	-	8 (6.1)	3 (6.0)	5 (6.2)

注 1 法務総合研究所の調査による。
2 () 内は、構成比である。
3 無回答を除く。

問4「被害について、誰かに言ったことがありますか」

区 分	総 数			言ったことがある			言ったことがない		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	1,340 (100.0)	1,290 (100.0)	50 (100.0)	936 (69.9)	893 (69.2)	43 (86.0)	404 (30.1)	397 (30.8)	7 (14.0)
一 般 単 回 群	488 (100.0)	474 (100.0)	14 (100.0)	318 (65.2)	306 (64.6)	12 (85.7)	170 (34.8)	168 (35.4)	2 (14.3)
一 般 反 復 群	852 (100.0)	816 (100.0)	36 (100.0)	618 (72.5)	587 (71.9)	31 (86.1)	234 (27.5)	229 (28.1)	5 (13.9)
身体的暴力①（軽度）	1,442 (100.0)	1,308 (100.0)	134 (100.0)	856 (59.4)	757 (57.9)	99 (73.9)	586 (40.6)	551 (42.1)	35 (26.1)
一 般 単 回 群	325 (100.0)	299 (100.0)	26 (100.0)	169 (52.0)	150 (50.2)	19 (73.1)	156 (48.0)	149 (49.8)	7 (26.9)
一 般 反 復 群	1,117 (100.0)	1,009 (100.0)	108 (100.0)	687 (61.5)	607 (60.2)	80 (74.1)	430 (38.5)	402 (39.8)	28 (25.9)
身体的暴力②（重度）	1,877 (100.0)	1,716 (100.0)	161 (100.0)	1,328 (70.8)	1,197 (69.8)	131 (81.4)	549 (29.2)	519 (30.2)	30 (18.6)
一 般 単 回 群	514 (100.0)	474 (100.0)	40 (100.0)	336 (65.4)	302 (63.7)	34 (85.0)	178 (34.6)	172 (36.3)	6 (15.0)
一 般 反 復 群	1,363 (100.0)	1,242 (100.0)	121 (100.0)	992 (72.8)	895 (72.1)	97 (80.2)	371 (27.2)	347 (27.9)	24 (19.8)
性的暴力①（接触）	512 (100.0)	357 (100.0)	155 (100.0)	255 (49.8)	143 (40.1)	112 (72.3)	257 (50.2)	214 (59.9)	43 (27.7)
一 般 単 回 群	204 (100.0)	156 (100.0)	48 (100.0)	89 (43.6)	57 (36.5)	32 (66.7)	115 (56.4)	99 (63.5)	16 (33.3)
一 般 反 復 群	308 (100.0)	201 (100.0)	107 (100.0)	166 (53.9)	86 (42.8)	80 (74.8)	142 (46.1)	115 (57.2)	27 (25.2)
性的暴力②（性交）	303 (100.0)	150 (100.0)	153 (100.0)	192 (63.4)	70 (46.7)	122 (79.7)	111 (36.6)	80 (53.3)	31 (20.3)
一 般 単 回 群	145 (100.0)	87 (100.0)	58 (100.0)	86 (59.3)	40 (46.0)	46 (79.3)	59 (40.7)	47 (54.0)	12 (20.7)
一 般 反 復 群	158 (100.0)	63 (100.0)	95 (100.0)	106 (67.1)	30 (47.6)	76 (80.0)	52 (32.9)	33 (52.4)	19 (20.0)

- 注 1 法務総合研究所の調査による。
 2 () 内は、構成比である。
 3 重複選択による。

問4a「誰に言いましたか」

区 分	総 数			父			母			きょうだい		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	931	888	43	172 (18.5)	164 (18.5)	8 (18.6)	255 (27.4)	238 (26.8)	17 (39.5)	149 (16.0)	139 (15.7)	10 (23.3)
一般単回群	316	304	12	48 (15.2)	48 (15.8)	-	70 (22.2)	67 (22.0)	3 (25.0)	39 (12.3)	37 (12.2)	2 (16.7)
一般反復群	615	584	31	124 (20.2)	116 (19.9)	8 (25.8)	185 (30.1)	171 (29.3)	14 (45.2)	110 (17.9)	102 (17.5)	8 (25.8)
身体的暴力①(軽度)	854	755	99	145 (17.0)	131 (17.4)	14 (14.1)	258 (30.2)	220 (29.1)	38 (38.4)	155 (18.1)	133 (17.6)	22 (22.2)
一般単回群	169	150	19	25 (14.8)	25 (16.7)	-	37 (21.9)	33 (22.0)	4 (21.1)	21 (12.4)	20 (13.3)	1 (5.3)
一般反復群	685	605	80	120 (17.5)	106 (17.5)	14 (17.5)	221 (32.3)	187 (30.9)	34 (42.5)	134 (19.6)	113 (18.7)	21 (26.3)
身体的暴力②(重度)	1,326	1,195	131	259 (19.5)	241 (20.2)	18 (13.7)	393 (29.6)	347 (29.0)	46 (35.1)	244 (18.4)	220 (18.4)	24 (18.3)
一般単回群	334	300	34	58 (17.4)	57 (19.0)	1 (2.9)	89 (26.6)	80 (26.7)	9 (26.5)	60 (18.0)	57 (19.0)	3 (8.8)
一般反復群	992	895	97	201 (20.3)	184 (20.6)	17 (17.5)	304 (30.6)	267 (29.8)	37 (38.1)	184 (18.5)	163 (18.2)	21 (21.6)
性的暴力①(接触)	255	143	112	17 (6.7)	4 (2.8)	13 (11.6)	29 (11.4)	8 (5.6)	21 (18.8)	14 (5.5)	8 (5.6)	6 (5.4)
一般単回群	89	57	32	6 (6.7)	3 (5.3)	3 (9.4)	9 (10.1)	7 (12.3)	2 (6.3)	5 (5.6)	4 (7.0)	1 (3.1)
一般反復群	166	86	80	11 (6.6)	1 (1.2)	10 (12.5)	20 (12.0)	1 (1.2)	19 (23.8)	9 (5.4)	4 (4.7)	5 (6.3)
性的暴力②(性交)	192	70	122	7 (3.6)	-	7 (5.7)	20 (10.4)	1 (1.4)	19 (15.6)	9 (4.7)	3 (4.3)	6 (4.9)
一般単回群	86	40	46	3 (3.5)	-	3 (6.5)	7 (8.1)	-	7 (15.2)	5 (5.8)	2 (5.0)	3 (6.5)
一般反復群	106	30	76	4 (3.8)	-	4 (5.3)	13 (12.3)	1 (3.3)	12 (15.8)	4 (3.8)	1 (3.3)	3 (3.9)

区 分	友達・恋人・先輩			警察			学校や施設の先生			その他		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	755 (81.1)	724 (81.5)	31 (72.1)	151 (16.2)	141 (15.9)	10 (23.3)	86 (9.2)	78 (8.8)	8 (18.6)	39 (4.2)	36 (4.1)	3 (7.0)
一般単回群	256 (81.0)	248 (81.6)	8 (66.7)	34 (10.8)	33 (10.9)	1 (8.3)	20 (6.3)	18 (5.9)	2 (16.7)	10 (3.2)	10 (3.3)	-
一般反復群	499 (81.1)	476 (81.5)	23 (74.2)	117 (19.0)	108 (18.5)	9 (29.0)	66 (10.7)	60 (10.3)	6 (19.4)	29 (4.7)	26 (4.5)	3 (9.7)
身体的暴力①(軽度)	672 (78.7)	598 (79.2)	74 (74.7)	73 (8.5)	64 (8.5)	9 (9.1)	120 (14.1)	103 (13.6)	17 (17.2)	42 (4.9)	29 (3.8)	13 (13.1)
一般単回群	130 (76.9)	119 (79.3)	11 (57.9)	12 (7.1)	12 (8.0)	-	13 (7.7)	9 (6.0)	4 (21.1)	10 (5.9)	8 (5.3)	2 (10.5)
一般反復群	542 (79.1)	479 (79.2)	63 (78.8)	61 (8.9)	52 (8.6)	9 (11.3)	107 (15.6)	94 (15.5)	13 (16.3)	32 (4.7)	21 (3.5)	11 (13.8)
身体的暴力②(重度)	1,131 (85.3)	1,026 (85.9)	105 (80.2)	190 (14.3)	165 (13.8)	25 (19.1)	122 (9.2)	110 (9.2)	12 (9.2)	62 (4.7)	51 (4.3)	11 (8.4)
一般単回群	277 (82.9)	251 (83.7)	26 (76.5)	36 (10.8)	33 (11.0)	3 (8.8)	22 (6.6)	20 (6.7)	2 (5.9)	24 (7.2)	20 (6.7)	4 (11.8)
一般反復群	854 (86.1)	775 (86.6)	79 (81.4)	154 (15.5)	132 (14.7)	22 (22.7)	100 (10.1)	90 (10.1)	10 (10.3)	38 (3.8)	31 (3.5)	7 (7.2)
性的暴力①(接触)	237 (92.9)	133 (93.0)	104 (92.9)	25 (9.8)	7 (4.9)	18 (16.1)	13 (5.1)	4 (2.8)	9 (8.0)	15 (5.9)	4 (2.8)	11 (9.8)
一般単回群	80 (89.9)	51 (89.5)	29 (90.6)	9 (10.1)	4 (7.0)	5 (15.6)	7 (7.9)	2 (3.5)	5 (15.6)	3 (3.4)	1 (1.8)	2 (6.3)
一般反復群	157 (94.6)	82 (95.3)	75 (93.8)	16 (9.6)	3 (3.5)	13 (16.3)	6 (3.6)	2 (2.3)	4 (5.0)	12 (7.2)	3 (3.5)	9 (11.3)
性的暴力②(性交)	175 (91.1)	68 (97.1)	107 (87.7)	22 (11.5)	2 (2.9)	20 (16.4)	6 (3.1)	1 (1.4)	5 (4.1)	9 (4.7)	-	9 (7.4)
一般単回群	78 (90.7)	39 (97.5)	39 (84.8)	8 (9.3)	-	8 (17.4)	3 (3.5)	-	3 (6.5)	1 (1.2)	-	1 (2.2)
一般反復群	97 (91.5)	29 (96.7)	68 (89.5)	14 (13.2)	2 (6.7)	12 (15.8)	3 (2.8)	1 (3.3)	2 (2.6)	8 (7.5)	-	8 (10.5)

注 1 法務総合研究所の調査による。
2 () 内は、総数に対する比率である。
3 重複選択による。
4 無回答を除く。

問4b「あなたの被害の話を信じてくれた人はいましたか」

区 分	総 数			いた			いなかった		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	817	777	40	746 (91.3)	713 (91.8)	33 (82.5)	71 (8.7)	64 (8.2)	7 (17.5)
一 般 単 回 群	264	254	10	241 (91.3)	231 (90.9)	10 (100.0)	23 (8.7)	23 (9.1)	-
一 般 反 復 群	553	523	30	505 (91.3)	482 (92.2)	23 (76.7)	48 (8.7)	41 (7.8)	7 (23.3)
身体的暴力①（軽度）	855	757	98	649 (75.9)	572 (75.6)	77 (78.6)	206 (24.1)	185 (24.4)	21 (21.4)
一 般 単 回 群	169	150	19	128 (75.7)	113 (75.3)	15 (78.9)	41 (24.3)	37 (24.7)	4 (21.1)
一 般 反 復 群	686	607	79	521 (75.9)	459 (75.6)	62 (78.5)	165 (24.1)	148 (24.4)	17 (21.5)
身体的暴力②（重度）	1,328	1,197	131	944 (71.1)	844 (70.5)	100 (76.3)	384 (28.9)	353 (29.5)	31 (23.7)
一 般 単 回 群	336	302	34	229 (68.2)	207 (68.5)	22 (64.7)	107 (31.8)	95 (31.5)	12 (35.3)
一 般 反 復 群	992	895	97	715 (72.1)	637 (71.2)	78 (80.4)	277 (27.9)	258 (28.8)	19 (19.6)
性的暴力①（接触）	194	104	90	178 (91.8)	98 (94.2)	80 (88.9)	16 (8.2)	6 (5.8)	10 (11.1)
一 般 単 回 群	58	36	22	54 (93.1)	34 (94.4)	20 (90.9)	4 (6.9)	2 (5.6)	2 (9.1)
一 般 反 復 群	136	68	68	124 (91.2)	64 (94.1)	60 (88.2)	12 (8.8)	4 (5.9)	8 (11.8)
性的暴力②（性交）	134	50	84	113 (84.3)	41 (82.0)	72 (85.7)	21 (15.7)	9 (18.0)	12 (14.3)
一 般 単 回 群	62	29	33	52 (83.9)	23 (79.3)	29 (87.9)	10 (16.1)	6 (20.7)	4 (12.1)
一 般 反 復 群	72	21	51	61 (84.7)	18 (85.7)	43 (84.3)	11 (15.3)	3 (14.3)	8 (15.7)

- 注 1 法務総合研究所の調査による。
 2 () 内は、総数に対する比率である。
 3 重複選択による。
 4 「いなかった」には、「わからない」を含む。

図4c「言わなかったのは、どうしてですか」

区 分	総 数			たいした被害では なかったから			自分で解決しようと 思ったから			言うのがはずかしかったから		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	372	365	7	94 (25.3)	94 (25.8)	-	118 (31.7)	115 (31.5)	3 (42.9)	93 (25.0)	92 (25.2)	1 (14.3)
一般単回群	153	151	2	65 (42.5)	65 (43.0)	-	38 (24.8)	37 (24.5)	1 (50.0)	33 (21.6)	33 (21.9)	-
一般反復群	219	214	5	29 (13.2)	29 (13.6)	-	80 (36.5)	78 (36.4)	2 (40.0)	60 (27.4)	59 (27.6)	1 (20.0)
身体的暴力①（軽度）	524	491	33	164 (31.3)	157 (32.0)	7 (21.2)	180 (34.4)	175 (35.6)	5 (15.2)	100 (19.1)	88 (17.9)	12 (36.4)
一般単回群	132	125	7	56 (42.4)	54 (43.2)	2 (28.6)	41 (31.1)	41 (32.8)	-	15 (11.4)	14 (11.2)	1 (14.3)
一般反復群	392	366	26	108 (27.6)	103 (28.1)	5 (19.2)	139 (35.5)	134 (36.6)	5 (19.2)	85 (21.7)	74 (20.2)	11 (42.3)
身体的暴力②（重度）	491	466	25	63 (12.8)	58 (12.4)	5 (20.0)	192 (39.1)	187 (40.1)	5 (20.0)	90 (18.3)	84 (18.0)	6 (24.0)
一般単回群	149	145	4	31 (20.8)	29 (20.0)	2 (50.0)	50 (33.6)	50 (34.5)	-	25 (16.8)	24 (16.6)	1 (25.0)
一般反復群	342	321	21	32 (9.4)	29 (9.0)	3 (14.3)	142 (41.5)	137 (42.7)	5 (23.8)	65 (19.0)	60 (18.7)	5 (23.8)
性的暴力①（接触）	241	199	42	176 (73.0)	85 (42.7)	91 (216.7)	37 (15.4)	31 (15.6)	6 (14.3)	102 (42.3)	77 (38.7)	25 (59.5)
一般単回群	102	87	15	127 (124.5)	42 (48.3)	85 (566.7)	13 (12.7)	10 (11.5)	3 (20.0)	42 (41.2)	33 (37.9)	9 (60.0)
一般反復群	139	112	27	49 (35.3)	43 (38.4)	6 (22.2)	24 (17.3)	21 (18.8)	3 (11.1)	60 (43.2)	44 (39.3)	16 (59.3)
性的暴力②（性交）	103	77	26	21 (20.4)	21 (27.3)	-	21 (20.4)	16 (20.8)	5 (19.2)	56 (54.4)	40 (51.9)	16 (61.5)
一般単回群	55	45	10	13 (23.6)	13 (28.9)	-	6 (10.9)	6 (13.3)	-	34 (61.8)	26 (57.8)	8 (80.0)
一般反復群	48	32	16	8 (16.7)	8 (25.0)	-	15 (31.3)	10 (31.3)	5 (31.3)	22 (45.8)	14 (43.8)	8 (50.0)

区 分	人にめいわくをかけると 思ったから			言っても、むだだと 思ったから			言うと、かえって ひどい目にあうと思ったから （仕返しなど）			自分が悪いと思ったから		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	35 (9.4)	31 (8.5)	4 (57.1)	168 (45.2)	164 (44.9)	4 (57.1)	111 (29.8)	106 (29.0)	5 (71.4)	93 (25.0)	92 (25.2)	1 (14.3)
一般単回群	9 (5.9)	9 (6.0)	-	46 (30.1)	45 (29.8)	1 (50.0)	24 (15.7)	23 (15.2)	1 (50.0)	10 (6.5)	9 (6.0)	1 (50.0)
一般反復群	26 (11.9)	22 (10.3)	4 (80.0)	122 (55.7)	119 (55.6)	3 (60.0)	87 (39.7)	83 (38.8)	4 (80.0)	83 (37.9)	83 (38.8)	-
身体的暴力①（軽度）	50 (9.5)	47 (9.6)	3 (9.1)	212 (40.5)	194 (39.5)	18 (54.5)	139 (26.5)	121 (24.6)	18 (54.5)	76 (14.5)	71 (14.5)	5 (15.2)
一般単回群	6 (4.5)	6 (4.8)	-	34 (25.8)	32 (25.6)	2 (28.6)	17 (12.9)	15 (12.0)	2 (28.6)	25 (18.9)	24 (19.2)	1 (14.3)
一般反復群	44 (11.2)	41 (11.2)	3 (11.5)	178 (45.4)	162 (44.3)	16 (61.5)	122 (31.1)	106 (29.0)	16 (61.5)	51 (13.0)	47 (12.8)	4 (15.4)
身体的暴力②（重度）	63 (12.8)	58 (12.4)	5 (20.0)	191 (38.9)	181 (38.8)	10 (40.0)	122 (24.8)	111 (23.8)	11 (44.0)	72 (14.7)	66 (14.2)	6 (24.0)
一般単回群	11 (7.4)	11 (7.6)	-	38 (25.5)	37 (25.5)	1 (25.0)	18 (12.1)	18 (12.4)	-	30 (20.1)	29 (20.0)	1 (25.0)
一般反復群	52 (15.2)	47 (14.6)	5 (23.8)	153 (44.7)	144 (44.9)	9 (42.9)	104 (30.4)	93 (29.0)	11 (52.4)	42 (12.3)	37 (11.5)	5 (23.8)
性的暴力①（接触）	14 (5.8)	8 (4.0)	6 (14.3)	61 (25.3)	45 (22.6)	16 (38.1)	23 (9.5)	18 (9.0)	5 (11.9)	16 (6.6)	9 (4.5)	7 (16.7)
一般単回群	5 (4.9)	3 (3.4)	2 (13.3)	18 (17.6)	13 (14.9)	5 (33.3)	7 (6.9)	6 (6.9)	1 (6.7)	6 (5.9)	2 (2.3)	4 (26.7)
一般反復群	9 (6.5)	5 (4.5)	4 (14.8)	43 (30.9)	32 (28.6)	11 (40.7)	16 (11.5)	12 (10.7)	4 (14.8)	10 (7.2)	7 (6.3)	3 (11.1)
性的暴力②（性交）	6 (5.8)	2 (2.6)	4 (15.4)	25 (24.3)	14 (18.2)	11 (42.3)	7 (6.8)	3 (3.9)	4 (15.4)	9 (8.7)	2 (2.6)	7 (26.9)
一般単回群	2 (3.6)	-	2 (20.0)	15 (27.3)	9 (20.0)	6 (60.0)	4 (7.3)	3 (6.7)	1 (10.0)	4 (7.3)	1 (2.2)	3 (30.0)
一般反復群	4 (8.3)	2 (6.3)	2 (12.5)	10 (20.8)	5 (15.6)	5 (31.3)	3 (6.3)	-	3 (18.8)	5 (10.4)	1 (3.1)	4 (25.0)

区 分	その他		
	総数	男子	女子
恐 喝	30 (8.1)	30 (8.2)	-
一 般 単 回 群	12 (7.8)	12 (7.9)	-
一 般 反 復 群	18 (8.2)	18 (8.4)	-
身体的暴力①（軽度）	53 (10.1)	49 (10.0)	4 (12.1)
一 般 単 回 群	10 (7.6)	9 (7.2)	1 (14.3)
一 般 反 復 群	43 (11.0)	40 (10.9)	3 (11.5)
身体的暴力②（重度）	69 (14.1)	65 (13.9)	4 (16.0)
一 般 単 回 群	16 (10.7)	16 (11.0)	- (0.0)
一 般 反 復 群	53 (15.5)	49 (15.3)	4 (19.0)
性的暴力①（接触）	33 (13.7)	31 (15.6)	2 (4.8)
一 般 単 回 群	16 (15.7)	16 (18.4)	-
一 般 反 復 群	17 (12.2)	15 (13.4)	2 (7.4)
性的暴力②（性交）	18 (17.5)	17 (22.1)	1 (3.8)
一 般 単 回 群	11 (20.0)	10 (22.2)	1 (10.0)
一 般 反 復 群	7 (14.6)	7 (21.9)	-

- 注 1 法務総合研究所の調査による。
 2 () 内は、総数に対する比率である。
 3 重複選択による。
 4 無回答を除く。

問4d「もしも、言うとしたら誰に言いたかったですか」

区 分	総 数			父			母			きょうだい		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	349	343	6	42 (12.0)	41 (12.0)	1 (16.7)	45 (12.9)	43 (12.5)	2 (33.3)	36 (10.3)	35 (10.2)	1 (16.7)
一般単回群	141	140	1	17 (12.1)	17 (12.1)	-	16 (11.3)	15 (10.7)	1 (100.0)	17 (12.1)	17 (12.1)	-
一般反復群	208	203	5	25 (12.0)	24 (11.8)	1 (20.0)	29 (13.9)	28 (13.8)	1 (20.0)	19 (9.1)	18 (8.9)	1 (20.0)
身体的暴力①（軽度）	487	456	31	56 (11.5)	53 (11.6)	3 (9.7)	67 (13.8)	61 (13.4)	6 (19.4)	51 (10.5)	47 (10.3)	4 (12.9)
一般単回群	125	119	6	8 (6.4)	8 (6.7)	-	13 (10.4)	11 (9.2)	2 (33.3)	15 (12.0)	13 (10.9)	2 (33.3)
一般反復群	362	337	25	48 (13.3)	45 (13.4)	3 (12.0)	54 (14.9)	50 (14.8)	4 (16.0)	36 (9.9)	34 (10.1)	2 (8.0)
身体的暴力②（重度）	440	417	23	41 (9.3)	40 (9.6)	1 (4.3)	40 (9.1)	37 (8.9)	3 (13.0)	33 (7.5)	32 (7.7)	1 (4.3)
一般単回群	134	130	4	14 (10.4)	14 (10.8)	-	11 (8.2)	10 (7.7)	1 (25.0)	8 (6.0)	7 (5.4)	1 (25.0)
一般反復群	306	287	19	27 (8.8)	26 (9.1)	1 (5.3)	29 (9.5)	27 (9.4)	2 (10.5)	25 (8.2)	25 (8.7)	-
性的暴力①（接触）	224	185	39	7 (3.1)	7 (3.8)	-	12 (5.4)	4 (2.2)	8 (20.5)	12 (5.4)	7 (3.8)	5 (12.8)
一般単回群	95	81	14	2 (2.1)	2 (2.5)	-	5 (5.3)	2 (2.5)	3 (21.4)	6 (6.3)	4 (4.9)	2 (14.3)
一般反復群	129	104	25	5 (3.9)	5 (4.8)	-	7 (5.4)	2 (1.9)	5 (20.0)	6 (4.7)	3 (2.9)	3 (12.0)
性的暴力②（性交）	84	60	24	-	-	-	6 (7.1)	3 (5.0)	3 (12.5)	5 (6.0)	5 (8.3)	-
一般単回群	43	34	9	-	-	-	3 (7.0)	1 (2.9)	2 (22.2)	4 (9.3)	4 (11.8)	-
一般反復群	41	26	15	-	-	-	3 (7.3)	2 (7.7)	1 (6.7)	1 (2.4)	1 (3.8)	-

区 分	友達・恋人・先輩			警察			学校や施設の先生			その他		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	130 (37.2)	127 (37.0)	3 (50.0)	40 (11.5)	40 (11.7)	-	12 (3.4)	12 (3.5)	-	4 (1.1)	4 (1.2)	-
一般単回群	51 (36.2)	50 (35.7)	1 (100.0)	12 (8.5)	12 (8.6)	-	2 (1.4)	2 (1.4)	-	1 (0.7)	1 (0.7)	-
一般反復群	79 (38.0)	77 (37.9)	2 (40.0)	28 (13.5)	28 (13.8)	-	10 (4.8)	10 (4.9)	-	3 (1.4)	3 (1.5)	-
身体的暴力①（軽度）	200 (41.1)	189 (41.4)	11 (35.5)	36 (7.4)	34 (7.5)	2 (6.5)	23 (4.7)	21 (4.6)	2 (6.5)	14 (2.9)	13 (2.9)	1 (3.2)
一般単回群	48 (38.4)	47 (39.5)	1 (16.7)	7 (5.6)	7 (5.9)	-	3 (2.4)	3 (2.5)	-	6 (4.8)	6 (5.0)	-
一般反復群	152 (42.0)	142 (42.1)	10 (40.0)	29 (8.0)	27 (8.0)	2 (8.0)	20 (5.5)	18 (5.3)	2 (8.0)	8 (2.2)	7 (2.1)	1 (4.0)
身体的暴力②（重度）	169 (38.4)	160 (38.4)	9 (39.1)	45 (10.2)	42 (10.1)	3 (13.0)	7 (1.6)	7 (1.7)	-	15 (3.4)	13 (3.1)	2 (8.7)
一般単回群	53 (39.6)	53 (40.8)	-	8 (6.0)	8 (6.2)	-	1 (0.7)	1 (0.8)	-	3 (2.2)	3 (2.3)	-
一般反復群	116 (37.9)	107 (37.3)	9 (47.4)	37 (12.1)	34 (11.8)	3 (15.8)	6 (2.0)	6 (2.1)	-	12 (3.9)	10 (3.5)	2 (10.5)
性的暴力①（接触）	73 (32.6)	63 (34.1)	10 (25.6)	8 (3.6)	7 (3.8)	1 (2.6)	3 (1.3)	3 (1.6)	-	4 (1.8)	4 (2.2)	-
一般単回群	27 (28.4)	23 (28.4)	4 (28.6)	1 (1.1)	1 (1.2)	-	1 (1.1)	1 (1.2)	-	2 (2.1)	2 (2.5)	-
一般反復群	46 (35.7)	40 (38.5)	6 (24.0)	7 (5.4)	6 (5.8)	1 (4.0)	2 (1.6)	2 (1.9)	-	2 (1.6)	2 (1.9)	-
性的暴力②（性交）	29 (34.5)	20 (33.3)	9 (37.5)	1 (1.2)	-	1 (4.2)	1 (1.2)	-	1 (4.2)	2 (2.4)	1 (1.7)	1 (4.2)
一般単回群	13 (30.2)	10 (29.4)	3 (33.3)	-	-	-	1 (2.3)	-	1 (11.1)	1 (2.3)	-	1 (11.1)
一般反復群	16 (39.0)	10 (38.5)	6 (40.0)	1 (2.4)	-	1 (6.7)	-	-	-	1 (2.4)	1 (3.8)	-

区 分	誰にも言いたいと思わなかった		
	総数	男子	女子
恐 喝	145 (41.5)	142 (41.4)	3 (50.0)
一般単回群	58 (41.1)	58 (41.4)	-
一般反復群	87 (41.8)	84 (41.4)	3 (60.0)
身体的暴力①（軽度）	189 (38.8)	179 (39.3)	10 (32.3)
一般単回群	49 (39.2)	47 (39.5)	2 (33.3)
一般反復群	140 (38.7)	132 (39.2)	8 (32.0)
身体的暴力②（重度）	191 (43.4)	183 (43.9)	8 (34.8)
一般単回群	57 (42.5)	55 (42.3)	2 (50.0)
一般反復群	134 (43.8)	128 (44.6)	6 (31.6)
性的暴力①（接触）	121 (54.0)	103 (55.7)	18 (46.2)
一般単回群	56 (58.9)	51 (63.0)	5 (35.7)
一般反復群	65 (50.4)	52 (50.0)	13 (52.0)
性的暴力②（性交）	47 (56.0)	35 (58.3)	12 (50.0)
一般単回群	23 (53.5)	20 (58.8)	3 (33.3)
一般反復群	24 (58.5)	15 (57.7)	9 (60.0)

注 1 法務総合研究所の調査による。
2 () 内は、総数に対する比率である。
3 重複選択による。
4 無回答を除く。

問5「その被害にあって、あなたは怎么样了か」

区 分	総 数			やめるよう自分で 相手に言った/ ほかの人に言ってもらった			家出した			じっとがまんした		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	1,341	1,292	49	263 (19.6)	248 (19.2)	15 (30.6)	91 (6.8)	84 (6.5)	7 (14.3)	638 (47.6)	609 (47.1)	29 (59.2)
一般単回群	483	469	14	60 (12.4)	58 (12.4)	2 (14.3)	11 (2.3)	10 (2.1)	1 (7.1)	178 (36.9)	169 (36.0)	9 (64.3)
一般反復群	858	823	35	203 (23.7)	190 (23.1)	13 (37.1)	80 (9.3)	74 (9.0)	6 (17.1)	460 (53.6)	440 (53.5)	20 (57.1)
身体的暴力①(軽度)	1,431	1,299	132	287 (20.1)	242 (18.6)	45 (34.1)	98 (6.8)	83 (6.4)	15 (11.4)	740 (51.7)	668 (51.4)	72 (54.5)
一般単回群	319	293	26	42 (13.2)	37 (12.6)	5 (19.2)	8 (2.5)	7 (2.4)	1 (3.8)	142 (44.5)	128 (43.7)	14 (53.8)
一般反復群	1,112	1,006	106	245 (22.0)	205 (20.4)	40 (37.7)	90 (8.1)	76 (7.6)	14 (13.2)	598 (53.8)	540 (53.7)	58 (54.7)
身体的暴力②(重度)	1,853	1,692	161	305 (16.5)	250 (14.8)	55 (34.2)	127 (6.9)	106 (6.3)	21 (13.0)	954 (51.5)	873 (51.6)	81 (50.3)
一般単回群	502	462	40	58 (11.6)	49 (10.6)	9 (22.5)	18 (3.6)	14 (3.0)	4 (10.0)	225 (44.8)	213 (46.1)	12 (30.0)
一般反復群	1,351	1,230	121	247 (18.3)	201 (16.3)	46 (38.0)	109 (8.1)	92 (7.5)	17 (14.0)	729 (54.0)	660 (53.7)	69 (57.0)
性的暴力①(接触)	506	352	154	192 (37.9)	121 (34.4)	71 (46.1)	14 (2.8)	7 (2.0)	7 (4.5)	160 (31.6)	102 (29.0)	58 (37.7)
一般単回群	199	152	47	64 (32.2)	40 (26.3)	24 (51.1)	2 (1.0)	1 (0.7)	1 (2.1)	56 (28.1)	45 (29.6)	11 (23.4)
一般反復群	307	200	107	128 (41.7)	81 (40.5)	47 (43.9)	12 (3.9)	6 (3.0)	6 (5.6)	104 (33.9)	57 (28.5)	47 (43.9)
性的暴力②(性交)	302	150	152	111 (36.8)	49 (32.7)	62 (40.8)	17 (5.6)	5 (3.3)	12 (7.9)	81 (26.8)	32 (21.3)	49 (32.2)
一般単回群	142	85	57	48 (33.8)	26 (30.6)	22 (38.6)	5 (3.5)	2 (2.4)	3 (5.3)	29 (20.4)	16 (18.8)	13 (22.8)
一般反復群	160	65	95	63 (39.4)	23 (35.4)	40 (42.1)	12 (7.5)	3 (4.6)	9 (9.5)	52 (32.5)	16 (24.6)	36 (37.9)

区 分	気にしたり、 考えないようにした			自殺しようとした			自分の体を傷つけた			家に閉じこもった		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	338 (25.2)	325 (25.2)	13 (26.5)	54 (4.0)	44 (3.4)	10 (20.4)	42 (3.1)	31 (2.4)	11 (22.4)	119 (8.9)	112 (8.7)	7 (14.3)
一般単回群	140 (29.0)	137 (29.2)	3 (21.4)	2 (0.4)	1 (0.2)	1 (7.1)	6 (1.2)	4 (0.9)	2 (14.3)	18 (3.7)	17 (3.6)	1 (7.1)
一般反復群	198 (23.1)	188 (22.8)	10 (28.6)	52 (6.1)	43 (5.2)	9 (25.7)	36 (4.2)	27 (3.3)	9 (25.7)	101 (11.8)	95 (11.5)	6 (17.1)
身体的暴力①(軽度)	304 (21.2)	279 (21.5)	25 (18.9)	59 (4.1)	42 (3.2)	17 (12.9)	65 (4.5)	39 (3.0)	26 (19.7)	108 (7.5)	92 (7.1)	16 (12.1)
一般単回群	78 (24.5)	68 (23.2)	10 (38.5)	3 (0.9)	2 (0.7)	1 (3.8)	3 (0.9)	2 (0.7)	1 (3.8)	12 (3.8)	11 (3.8)	1 (3.8)
一般反復群	226 (20.3)	211 (21.0)	15 (14.2)	56 (5.0)	40 (4.0)	16 (15.1)	62 (5.6)	37 (3.7)	25 (23.6)	96 (8.6)	81 (8.1)	15 (14.2)
身体的暴力②(重度)	383 (20.7)	351 (20.7)	32 (19.9)	85 (4.6)	66 (3.9)	19 (11.8)	83 (4.5)	54 (3.2)	29 (18.0)	160 (8.6)	141 (8.3)	19 (11.8)
一般単回群	115 (22.9)	101 (21.9)	14 (35.0)	4 (0.8)	2 (0.4)	2 (5.0)	10 (2.0)	7 (1.5)	3 (7.5)	18 (3.6)	16 (3.5)	2 (5.0)
一般反復群	268 (19.8)	250 (20.3)	18 (14.9)	81 (6.0)	64 (5.2)	17 (14.0)	73 (5.4)	47 (3.8)	26 (21.5)	142 (10.5)	125 (10.2)	17 (14.0)
性的暴力①(接触)	183 (36.2)	122 (34.7)	61 (39.6)	19 (3.8)	6 (1.7)	13 (8.4)	22 (4.3)	1 (0.3)	21 (13.6)	17 (3.4)	8 (2.3)	9 (5.8)
一般単回群	81 (40.7)	59 (38.8)	22 (46.8)	4 (2.0)	2 (1.3)	2 (4.3)	3 (1.5)	1 (0.7)	2 (4.3)	5 (2.5)	4 (2.6)	1 (2.1)
一般反復群	102 (33.2)	63 (31.5)	39 (36.4)	15 (4.9)	4 (2.0)	11 (10.3)	19 (6.2)	-	19 (17.8)	12 (3.9)	4 (2.0)	8 (7.5)
性的暴力②(性交)	110 (36.4)	53 (35.3)	57 (37.5)	26 (8.6)	4 (2.7)	22 (14.5)	29 (9.6)	1 (0.7)	28 (18.4)	14 (4.6)	3 (2.0)	11 (7.2)
一般単回群	61 (43.0)	33 (38.8)	28 (49.1)	2 (1.4)	-	2 (3.5)	3 (2.1)	1 (1.2)	2 (3.5)	4 (2.8)	3 (3.5)	1 (1.8)
一般反復群	49 (30.6)	20 (30.8)	29 (30.5)	24 (15.0)	4 (6.2)	20 (21.1)	26 (16.3)	-	26 (27.4)	10 (6.3)	-	10 (10.5)

区 分	何もしたくなかった			趣味・スポーツをした			やつあたりや、 いやがらせをした			酒を飲んだ/ 薬物を使用した		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	151 (11.3)	140 (10.8)	11 (22.4)	70 (5.2)	70 (5.4)	-	222 (16.6)	217 (16.8)	5 (10.2)	225 (16.8)	210 (16.3)	15 (30.6)
一般単回群	36 (7.5)	33 (7.0)	3 (21.4)	18 (3.7)	18 (3.8)	-	50 (10.4)	49 (10.4)	1 (7.1)	40 (8.3)	38 (8.1)	2 (14.3)
一般反復群	115 (13.4)	107 (13.0)	8 (22.9)	52 (6.1)	52 (6.3)	-	172 (20.0)	168 (20.4)	4 (11.4)	185 (21.6)	172 (20.9)	13 (37.1)
身体的暴力①(軽度)	157 (11.0)	134 (10.3)	23 (17.4)	68 (4.8)	66 (5.1)	2 (1.5)	279 (19.5)	258 (19.9)	21 (15.9)	252 (17.6)	209 (16.1)	43 (32.6)
一般単回群	23 (7.2)	19 (6.5)	4 (15.4)	12 (3.8)	11 (3.8)	1 (3.8)	23 (7.2)	21 (7.2)	2 (7.7)	29 (9.1)	25 (8.5)	4 (15.4)
一般反復群	134 (12.1)	115 (11.4)	19 (17.9)	56 (5.0)	55 (5.5)	1 (0.9)	256 (23.0)	237 (23.6)	19 (17.9)	223 (20.1)	184 (18.3)	39 (36.8)
身体的暴力②(重度)	224 (12.1)	195 (11.5)	29 (18.0)	80 (4.3)	79 (4.7)	1 (0.6)	323 (17.4)	304 (18.0)	19 (11.8)	421 (22.7)	354 (20.9)	67 (41.6)
一般単回群	35 (7.0)	33 (7.1)	2 (5.0)	20 (4.0)	20 (4.3)	-	43 (8.6)	39 (8.4)	4 (10.0)	65 (12.9)	53 (11.5)	12 (30.0)
一般反復群	189 (14.0)	162 (13.2)	27 (22.3)	60 (4.4)	59 (4.8)	1 (0.8)	280 (20.7)	265 (21.5)	15 (12.4)	356 (26.4)	301 (24.5)	55 (45.5)
性的暴力①(接触)	49 (9.7)	23 (6.5)	26 (16.9)	15 (3.0)	13 (3.7)	2 (1.3)	23 (4.5)	14 (4.0)	9 (5.8)	79 (15.6)	34 (9.7)	45 (29.2)
一般単回群	11 (5.5)	8 (5.3)	3 (6.4)	5 (2.5)	5 (3.3)	-	8 (4.0)	7 (4.6)	1 (2.1)	18 (9.0)	10 (6.6)	8 (17.0)
一般反復群	38 (12.4)	15 (7.5)	23 (21.5)	10 (3.3)	8 (4.0)	2 (1.9)	15 (4.9)	7 (3.5)	8 (7.5)	61 (19.9)	24 (12.0)	37 (34.6)
性的暴力②(性交)	42 (13.9)	8 (5.3)	34 (22.4)	8 (2.6)	7 (4.7)	1 (0.7)	16 (5.3)	9 (6.0)	7 (4.6)	88 (29.1)	23 (15.3)	65 (42.8)
一般単回群	11 (7.7)	2 (2.4)	9 (15.8)	3 (2.1)	3 (3.5)	-	8 (5.6)	6 (7.1)	2 (3.5)	29 (20.4)	11 (12.9)	18 (31.6)
一般反復群	31 (19.4)	6 (9.2)	25 (26.3)	5 (3.1)	4 (6.2)	1 (1.1)	8 (5.0)	3 (4.6)	5 (5.3)	59 (36.9)	12 (18.5)	47 (49.5)

区 分	相手にやり返した/ 相手に仕返しをした			自分も他の人に同じようなこ とをした			その他		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	280 (20.9)	275 (21.3)	5 (10.2)	374 (27.9)	368 (28.5)	6 (12.2)	180 (13.4)	175 (13.5)	5 (10.2)
一般単回群	74 (15.3)	74 (15.8)	-	99 (20.5)	99 (21.1)	-	84 (17.4)	82 (17.5)	2 (14.3)
一般反復群	206 (24.0)	201 (24.4)	5 (14.3)	275 (32.1)	269 (32.7)	6 (17.1)	96 (11.2)	93 (11.3)	3 (8.6)
身体的暴力①(軽度)	504 (35.2)	458 (35.3)	46 (34.8)	316 (22.1)	293 (22.6)	23 (17.4)	123 (8.6)	115 (8.9)	8 (6.1)
一般単回群	82 (25.7)	80 (27.3)	2 (7.7)	41 (12.9)	39 (13.3)	2 (7.7)	36 (11.3)	33 (11.3)	3 (11.5)
一般反復群	422 (37.9)	378 (37.6)	44 (41.5)	275 (24.7)	254 (25.2)	21 (19.8)	87 (7.8)	82 (8.2)	5 (4.7)
身体的暴力②(重度)	624 (33.7)	567 (33.5)	57 (35.4)	405 (21.9)	379 (22.4)	26 (16.1)	229 (12.4)	216 (12.8)	13 (8.1)
一般単回群	122 (24.3)	112 (24.2)	10 (25.0)	64 (12.7)	56 (12.1)	8 (20.0)	73 (14.5)	72 (15.6)	1 (2.5)
一般反復群	502 (37.2)	455 (37.0)	47 (38.8)	341 (25.2)	323 (26.3)	18 (14.9)	156 (11.5)	144 (11.7)	12 (9.9)
性的暴力①(接触)	39 (7.7)	29 (8.2)	10 (6.5)	26 (5.1)	23 (6.5)	3 (1.9)	89 (17.6)	69 (19.6)	20 (13.0)
一般単回群	17 (8.5)	11 (7.2)	6 (12.8)	7 (3.5)	7 (4.6)	-	39 (19.6)	31 (20.4)	8 (17.0)
一般反復群	22 (7.2)	18 (9.0)	4 (3.7)	19 (6.2)	16 (8.0)	3 (2.8)	50 (16.3)	38 (19.0)	12 (11.2)
性的暴力②(性交)	36 (11.9)	22 (14.7)	14 (9.2)	13 (4.3)	10 (6.7)	3 (2.0)	59 (19.5)	32 (21.3)	27 (17.8)
一般単回群	16 (11.3)	12 (14.1)	4 (7.0)	8 (5.6)	7 (8.2)	1 (1.8)	27 (19.0)	18 (21.2)	9 (15.8)
一般反復群	20 (12.5)	10 (15.4)	10 (10.5)	5 (3.1)	3 (4.6)	2 (2.1)	32 (20.0)	14 (21.5)	18 (18.9)

注 1 法務総合研究所の調査による。
2 () 内は、総数に対する比率である。
3 重複選択による。
4 無回答を除く。

問6「その被害は、終わったと思いますか」

区 分	総 数			はい			いいえ		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	1,345	1,296	49	1,037 (77.1)	1,004 (77.5)	33 (67.3)	308 (22.9)	292 (22.5)	16 (32.7)
一般単回群	486	473	13	392 (80.7)	382 (80.8)	10 (76.9)	94 (19.3)	91 (19.2)	3 (23.1)
一般反復群	859	823	36	645 (75.1)	622 (75.6)	23 (63.9)	214 (24.9)	201 (24.4)	13 (36.1)
身体的暴力①（軽度）	1,433	1,301	132	1,136 (79.3)	1,030 (79.2)	106 (80.3)	297 (20.7)	271 (20.8)	26 (19.7)
一般単回群	319	293	26	268 (84.0)	245 (83.6)	23 (88.5)	51 (16.0)	48 (16.4)	3 (11.5)
一般反復群	1,114	1,008	106	868 (77.9)	785 (77.9)	83 (78.3)	246 (22.1)	223 (22.1)	23 (21.7)
身体的暴力②（重度）	1,855	1,695	160	1,397 (75.3)	1,276 (75.3)	121 (75.6)	458 (24.7)	419 (24.7)	39 (24.4)
一般単回群	507	468	39	421 (83.0)	389 (83.1)	32 (82.1)	86 (17.0)	79 (16.9)	7 (17.9)
一般反復群	1,348	1,227	121	976 (72.4)	887 (72.3)	89 (73.6)	372 (27.6)	340 (27.7)	32 (26.4)
性的暴力①（接触）	513	360	153	373 (72.7)	266 (73.9)	107 (69.9)	140 (27.3)	94 (26.1)	46 (30.1)
一般単回群	203	155	48	155 (76.4)	119 (76.8)	36 (75.0)	48 (23.6)	36 (23.2)	12 (25.0)
一般反復群	310	205	105	218 (70.3)	147 (71.7)	71 (67.6)	92 (29.7)	58 (28.3)	34 (32.4)
性的暴力②（性交）	300	149	151	216 (72.0)	113 (75.8)	103 (68.2)	84 (28.0)	36 (24.2)	48 (31.8)
一般単回群	143	86	57	111 (77.6)	66 (76.7)	45 (78.9)	32 (22.4)	20 (23.3)	12 (21.1)
一般反復群	157	63	94	105 (66.9)	47 (74.6)	58 (61.7)	52 (33.1)	16 (25.4)	36 (38.3)

注 1 法務総合研究所の調査による。

2 () 内は、構成比である。

3 無回答を除く。

4 「いいえ」には、「わからない」を含む。

問6a「被害は、なぜ終わったと思いますか」

区 分	総 数			相手が反省したから			相手に会わなくなったから			自分の力が強くなったから		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	1,035	1,002	33	89 (8.6)	83 (8.3)	6 (18.2)	493 (47.6)	471 (47.0)	22 (66.7)	249 (24.1)	245 (24.5)	4 (12.1)
一般単回群	391	381	10	26 (6.6)	24 (6.3)	2 (20.0)	184 (47.1)	177 (46.5)	7 (70.0)	64 (16.4)	64 (16.8)	-
一般反復群	644	621	23	63 (9.8)	59 (9.5)	4 (17.4)	309 (48.0)	294 (47.3)	15 (65.2)	185 (28.7)	181 (29.1)	4 (17.4)
身体的暴力①(軽度)	1,129	1,024	105	148 (13.1)	126 (12.3)	22 (21.0)	473 (41.9)	406 (39.6)	67 (63.8)	299 (26.5)	285 (27.8)	14 (13.3)
一般単回群	265	243	22	29 (10.9)	26 (10.7)	3 (13.6)	107 (40.4)	94 (38.7)	13 (59.1)	47 (17.7)	44 (18.1)	3 (13.6)
一般反復群	864	781	83	119 (13.8)	100 (12.8)	19 (22.9)	366 (42.4)	312 (39.9)	54 (65.1)	252 (29.2)	241 (30.9)	11 (13.3)
身体的暴力②(重度)	1,390	1,269	121	215 (15.5)	186 (14.7)	29 (24.0)	574 (41.3)	499 (39.3)	75 (62.0)	326 (23.5)	314 (24.7)	12 (9.9)
一般単回群	420	388	32	64 (15.2)	60 (15.5)	4 (12.5)	149 (35.5)	133 (34.3)	16 (50.0)	59 (14.0)	57 (14.7)	2 (6.3)
一般反復群	970	881	89	151 (15.6)	126 (14.3)	25 (28.1)	425 (43.8)	366 (41.5)	59 (66.3)	267 (27.5)	257 (29.2)	10 (11.2)
性的暴力①(接触)	370	263	107	54 (14.6)	31 (11.8)	23 (21.5)	236 (63.8)	154 (58.6)	82 (76.6)	32 (8.6)	23 (8.7)	9 (8.4)
一般単回群	153	117	36	25 (16.3)	13 (11.1)	12 (33.3)	96 (62.7)	68 (58.1)	28 (77.8)	11 (7.2)	7 (6.0)	4 (11.1)
一般反復群	217	146	71	29 (13.4)	18 (12.3)	11 (15.5)	140 (64.5)	86 (58.9)	54 (76.1)	21 (9.7)	16 (11.0)	5 (7.0)
性的暴力②(性交)	213	111	102	38 (17.8)	15 (13.5)	23 (22.5)	143 (67.1)	69 (62.2)	74 (72.5)	11 (5.2)	5 (4.5)	6 (5.9)
一般単回群	109	64	45	17 (15.6)	7 (10.9)	10 (22.2)	75 (68.8)	43 (67.2)	32 (71.1)	3 (2.8)	1 (1.6)	2 (4.4)
一般反復群	104	47	57	21 (20.2)	8 (17.0)	13 (22.8)	68 (65.4)	26 (55.3)	42 (73.7)	8 (7.7)	4 (8.5)	4 (7.0)

区 分	自分が成長したから/ 自分が反省したから			自分がやり返したから/ 自分が仕返したから			自分が施設に入ったから			その他		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	132 (12.8)	129 (12.9)	3 (9.1)	183 (17.7)	181 (18.1)	2 (6.1)	135 (13.0)	128 (12.8)	7 (21.2)	185 (17.9)	177 (17.7)	8 (24.2)
一般単回群	39 (10.0)	38 (10.0)	1 (10.0)	53 (13.6)	53 (13.9)	-	30 (7.7)	28 (7.3)	2 (20.0)	72 (18.4)	69 (18.1)	3 (30.0)
一般反復群	93 (14.4)	91 (14.7)	2 (8.7)	130 (20.2)	128 (20.6)	2 (8.7)	105 (16.3)	100 (16.1)	5 (21.7)	113 (17.5)	108 (17.4)	5 (21.7)
身体的暴力①(軽度)	212 (18.8)	188 (18.4)	24 (22.9)	285 (25.2)	266 (26.0)	19 (18.1)	137 (12.1)	117 (11.4)	20 (19.0)	184 (16.3)	166 (16.2)	18 (17.1)
一般単回群	48 (18.1)	43 (17.7)	5 (22.7)	43 (16.2)	42 (17.3)	1 (4.5)	19 (7.2)	16 (6.6)	3 (13.6)	41 (15.5)	38 (15.6)	3 (13.6)
一般反復群	164 (19.0)	145 (18.6)	19 (22.9)	242 (28.0)	224 (28.7)	18 (21.7)	118 (13.7)	101 (12.9)	17 (20.5)	143 (16.6)	128 (16.4)	15 (18.1)
身体的暴力②(重度)	259 (18.6)	234 (18.4)	25 (20.7)	326 (23.5)	304 (24.0)	22 (18.2)	180 (12.9)	157 (12.4)	23 (19.0)	257 (18.5)	233 (18.4)	24 (19.8)
一般単回群	67 (16.0)	57 (14.7)	10 (31.3)	59 (14.0)	54 (13.9)	5 (15.6)	31 (7.4)	28 (7.2)	3 (9.4)	82 (19.5)	76 (19.6)	6 (18.8)
一般反復群	192 (19.8)	177 (20.1)	15 (16.9)	267 (27.5)	250 (28.4)	17 (19.1)	149 (15.4)	129 (14.6)	20 (22.5)	175 (18.0)	157 (17.8)	18 (20.2)
性的暴力①(接触)	42 (11.4)	27 (10.3)	15 (14.0)	17 (4.6)	11 (4.2)	6 (5.6)	58 (15.7)	36 (13.7)	22 (20.6)	43 (11.6)	31 (11.8)	12 (11.2)
一般単回群	14 (9.2)	13 (11.1)	1 (2.8)	8 (5.2)	5 (4.3)	3 (8.3)	14 (9.2)	7 (6.0)	7 (19.4)	19 (12.4)	16 (13.7)	3 (8.3)
一般反復群	28 (12.9)	14 (9.6)	14 (19.7)	9 (4.1)	6 (4.1)	3 (4.2)	44 (20.3)	29 (19.9)	15 (21.1)	24 (11.1)	15 (10.3)	9 (12.7)
性的暴力②(性交)	22 (10.3)	8 (7.2)	14 (13.7)	15 (7.0)	6 (5.4)	9 (8.8)	34 (16.0)	16 (14.4)	18 (17.6)	20 (9.4)	7 (6.3)	13 (12.7)
一般単回群	6 (5.5)	3 (4.7)	3 (6.7)	7 (6.4)	5 (7.8)	2 (4.4)	10 (9.2)	6 (9.4)	4 (8.9)	12 (11.0)	5 (7.8)	7 (15.6)
一般反復群	16 (15.4)	5 (10.6)	11 (19.3)	8 (7.7)	1 (2.1)	7 (12.3)	24 (23.1)	10 (21.3)	14 (24.6)	8 (7.7)	2 (4.3)	6 (10.5)

区 分	わからない		
	総数	男子	女子
恐 喝	107 (10.3)	105 (10.5)	2 (6.1)
一 般 単 回 群	45 (11.5)	45 (11.8)	-
一 般 反 復 群	62 (9.6)	60 (9.7)	2 (8.7)
身体的暴力①（軽度）	94 (8.3)	89 (8.7)	5 (4.8)
一 般 単 回 群	29 (10.9)	29 (11.9)	-
一 般 反 復 群	65 (7.5)	60 (7.7)	5 (6.0)
身体的暴力②（重度）	125 (9.0)	121 (9.5)	4 (3.3)
一 般 単 回 群	49 (11.7)	47 (12.1)	2 (6.3)
一 般 反 復 群	76 (7.8)	74 (8.4)	2 (2.2)
性的暴力①（接触）	34 (9.2)	30 (11.4)	4 (3.7)
一 般 単 回 群	16 (10.5)	14 (12.0)	2 (5.6)
一 般 反 復 群	18 (8.3)	16 (11.0)	2 (2.8)
性的暴力②（性交）	13 (6.1)	11 (9.9)	2 (2.0)
一 般 単 回 群	6 (5.5)	6 (9.4)	-
一 般 反 復 群	7 (6.7)	5 (10.6)	2 (3.5)

注 1 法務総合研究所の調査による。
2 ()内は、総数に対する比率である。
3 重複選択による。
4 無回答を除く。

問7「あなたは、その被害を受けたために非行に走るようになったと思いますか」

区 分	総 数			そう思う			そう思わない			わからない		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
恐 喝	1,345	1,295	50	289 (21.5)	275 (21.2)	14 (28.0)	882 (65.6)	856 (66.1)	26 (52.0)	174 (12.9)	164 (12.7)	10 (20.0)
一般単回群	486	472	14	65 (13.4)	62 (13.1)	3 (21.4)	371 (76.3)	364 (77.1)	7 (50.0)	50 (10.3)	46 (9.7)	4 (28.6)
一般反復群	859	823	36	224 (26.1)	213 (25.9)	11 (30.6)	511 (59.5)	492 (59.8)	19 (52.8)	124 (14.4)	118 (14.3)	6 (16.7)
身体的暴力①（軽度）	1,424	1,292	132	305 (21.4)	276 (21.4)	29 (22.0)	950 (66.7)	863 (66.8)	87 (65.9)	169 (11.9)	153 (11.8)	16 (12.1)
一般単回群	316	290	26	33 (10.4)	30 (10.3)	3 (11.5)	258 (81.6)	236 (81.4)	22 (84.6)	25 (7.9)	24 (8.3)	1 (3.8)
一般反復群	1,108	1,002	106	272 (24.5)	246 (24.6)	26 (24.5)	692 (62.5)	627 (62.6)	65 (61.3)	144 (13.0)	129 (12.9)	15 (14.2)
身体的暴力②（重度）	1,841	1,680	161	421 (22.9)	385 (22.9)	36 (22.4)	1,215 (66.0)	1,109 (66.0)	106 (65.8)	205 (11.1)	186 (11.1)	19 (11.8)
一般単回群	505	465	40	65 (12.9)	59 (12.7)	6 (15.0)	397 (78.6)	367 (78.9)	30 (75.0)	43 (8.5)	39 (8.4)	4 (10.0)
一般反復群	1,336	1,215	121	356 (26.6)	326 (26.8)	30 (24.8)	818 (61.2)	742 (61.1)	76 (62.8)	162 (12.1)	147 (12.1)	15 (12.4)
性的暴力①（接触）	511	358	153	47 (9.2)	18 (5.0)	29 (19.0)	423 (82.8)	316 (88.3)	107 (69.9)	41 (8.0)	24 (6.7)	17 (11.1)
一般単回群	204	156	48	12 (5.9)	5 (3.2)	7 (14.6)	176 (86.3)	141 (90.4)	35 (72.9)	16 (7.8)	10 (6.4)	6 (12.5)
一般反復群	307	202	105	35 (11.4)	13 (6.4)	22 (21.0)	247 (80.5)	175 (86.6)	72 (68.6)	25 (8.1)	14 (6.9)	11 (10.5)
性的暴力②（性交）	301	149	152	42 (14.0)	9 (6.0)	33 (21.7)	229 (76.1)	129 (86.6)	100 (65.8)	30 (10.0)	11 (7.4)	19 (12.5)
一般単回群	142	84	58	9 (6.3)	3 (3.6)	6 (10.3)	121 (85.2)	76 (90.5)	45 (77.6)	12 (8.5)	5 (6.0)	7 (12.1)
一般反復群	159	65	94	33 (20.8)	6 (9.2)	27 (28.7)	108 (67.9)	53 (81.5)	55 (58.5)	18 (11.3)	6 (9.2)	12 (12.8)

注 1 法務総合研究所の調査による。
2 () 内は、構成比である。
3 無回答を除く。